



製品を使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。



### フォーカスモードを変更するには

静止画、動画撮影時のピント合わせの方法を [シングルAF]、[プリセットフォーカス]、[マニュアルフォーカス] の3種類から選べます。



### 動画編集アプリ Movie Edit add-onをご使用になるには

Movie Edit add-onをスマートフォンにインストールして、撮影した動画を編集することができます。



### インターバル撮影

あらかじめ設定した撮影間隔と撮影回数で、静止画撮影を自動で繰り返し行います。



### DSC-RX0M2 : サポート情報

カメラ本体の基本情報や対応アクセサリーの情報、困ったときのQ&Aなどを説明しています。(別ウィンドウで開きます。)

## 各部の名称/画面表示

### [各部の名称](#)

#### 基本的な操作

- [上下左右ボタン/決定ボタンの使いかた](#)
- [MENUの使いかた](#)
- [Fn \(ファンクション\) ボタンの使いかた](#)

#### 画面表示

- [モニターに表示されるアイコン一覧](#)
- [画面表示を切り換える \(撮影/再生\)](#)
- [DISPボタン](#)

#### 準備

### [本体と付属品を確認する](#)

#### バッテリー (電池) を充電する

- [バッテリーを本機に入れる](#)
- [バッテリーを本機に入れて充電する](#)
- [パソコンに接続して充電する](#)
- [バッテリーの使用時間と撮影可能枚数](#)
- [外部電源で本機を使う](#)
- [バッテリーを本機から取り出す](#)
- [バッテリーについてのご注意](#)
- [充電についてのご注意](#)

#### メモリーカード (別売) を入れる

- [メモリーカードを本機に入れる](#)
- [メモリーカードを本機から取り出す](#)
- [使用できるメモリーカード](#)
- [メモリーカードについてのご注意](#)

### [日付と時刻を設定する](#)

#### 撮影

### [静止画撮影](#)

## [動画撮影](#)

### [スーパースローモーション撮影をする \(ハイフレームレート\)](#)

#### 撮影モードを変える

- [撮影モードを変える](#)
- [オート撮影の特徴](#)
- [おまかせオート \(静止画\)](#)
- [おまかせオート \(動画\)](#)
- [プレミアムおまかせオート \(静止画\)](#)
- [シーン認識について](#)
- [プログラムオート \(静止画/動画\)](#)
- [マニュアル露出 \(静止画/動画\)](#)
- [登録呼び出し \(撮影設定1/撮影設定2\)](#)
- [HFR \(ハイフレームレート\) : 露出モード](#)

#### [水中で撮る](#)

#### 静止画の画像サイズ/画質を選ぶ

- [ファイル形式 \(静止画\)](#)
- [JPEG画質 \(静止画\)](#)
- [JPEG画像サイズ \(静止画\)](#)
- [横縦比 \(静止画\)](#)

#### ピントを合わせる

- [フォーカスモード](#)
- [フォーカスエリア](#)
- [フォーカスエリア限定](#)
- [縦横フォーカスエリア切替 \(静止画\)](#)
- [●ボタン押しトラッキング](#)
- [顔/瞳AF設定](#)
- [フォーカスエリア自動消灯](#)
- [フォーカス位置の循環](#)
- [PF時のNEARモード](#)
- [フォーカスロック](#)

- [プリセットフォーカス](#)
- [ワンタッチAF](#)
- [マニュアルフォーカス](#)
- [MFアシスト](#)
- [ピーキング設定](#)
- [ピント拡大時間](#)
- [AF/MFコントロール](#)

## ズームする

- [ズームする](#)
- [ズーム倍率について](#)

## 明るさを調整する

- [シャッタースピード](#)
- [露出補正](#)
- [測光モード](#)
- [マルチ測光時の顔優先](#)
- [スポット測光位置](#)
- [AEロック](#)
- [シャッター半押しAEL \(静止画\)](#)
- [露出基準調整](#)
- [ゼブラ設定](#)

## ドライブ機能を使う (連写/セルフタイマー)

- [ドライブモード](#)
- [連続撮影](#)
- [速度優先連続撮影](#)
- [セルフタイマー](#)
- [セルフタイマー \(連続\)](#)
- [連続ブラケット](#)
- [1枚ブラケット](#)
- [ホワイトバランスブラケット](#)
- [DROブラケット](#)

[ブラケット撮影時の設定](#)

[ブラケット撮影時のインジケータ](#)

[インターバル撮影機能](#)

## ISO感度を選ぶ

[ISO感度設定：ISO感度](#)

[ISO感度設定：ISO感度範囲限定](#)

[ISO感度設定：ISO AUTO低速限界](#)

## 明るさ、コントラストを自動補正する

[Dレンジ最適マイザー \(DRO\)](#)

[オートHDR](#)

## ホワイトバランス

[ホワイトバランス](#)

[AWB時の優先設定](#)

[基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する \(カスタムホワイトバランス\)](#)

[シャッターAWBロック \(静止画\)](#)

## 画像の仕上がりを設定する

[クリエイティブスタイル](#)

[ピクチャーエフェクト](#)

[美肌効果 \(静止画\)](#)

## 動画の設定をする

[動画の記録フォーマットについて](#)

[記録方式 \(動画\)](#)

[記録設定 \(動画\)](#)

[プロキシー記録](#)

[マーカー表示 \(動画\)](#)

[マーカー設定 \(動画\)](#)

[記録中モニター消灯 \(動画\)](#)

[録画ランプ](#)

[音声記録](#)

[録音レベル](#)

[音声レベル表示](#)

[風音低減](#)

[手ブレ補正（動画）](#)

[オートスローシャッター（動画）](#)

[MOVIE\(動画\)ボタン](#)

[ピクチャープロフィール](#)

## 撮影機能を使いやすいようにカスタマイズする

[登録（撮影設定1/撮影設定2）](#)

[ファンクションメニュー設定](#)

[よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー）](#)

## MENUをカスタマイズする（マイメニュー）

[項目の追加](#)

[項目の並べ替え](#)

[項目の削除](#)

[ページの削除](#)

[全て削除](#)

## その他の撮影機能を使う

[個人顔登録（新規登録）](#)

[個人顔登録（優先順序変更）](#)

[個人顔登録（削除）](#)

[登録顔優先](#)

[自分撮りセルフタイマー](#)

[高感度NR（静止画）](#)

[電子音](#)

[日付書き込み（静止画）](#)

[色空間（静止画）](#)

[グリッドライン](#)

[オートレビュー](#)

[ライブビュー表示](#)

[メモリーカードなしリリース](#)

## 再生

### 静止画を見る

- [静止画再生](#)
- [再生画像を拡大する \(拡大\)](#)
- [一覧表示](#)
- [グループ表示](#)

### 動画を見る

- [動画再生](#)

### 削除

### プリント指定

### 再生に便利な機能を使う

- [ビューモード](#)
- [スライドショー](#)
- [画像を回転する \(回転\)](#)
- [記録画像を自動的に回転させる \(記録画像の回転表示\)](#)
- [拡大の初期位置](#)
- [プロテクト](#)
- [レーティング](#)
- [インターバル連続再生](#)
- [インターバル再生速度](#)

### HDMIケーブルを使ってテレビで見る

### 設定を変更する

#### [モニター明るさ](#)

#### [ガンマ表示アシスト](#)

#### [音量設定](#)

#### [タイトルメニュー](#)

#### [パワーセーブ開始時間](#)

#### [自動電源OFF温度](#)

#### [上下反転](#)

#### [デモモード](#)

[TC/UB設定](#)

[HDMI設定：HDMI解像度](#)

[HDMI設定：24p/60p出力切換（動画）](#)

[HDMI設定：HDMI情報表示](#)

[HDMI設定：TC出力（動画）](#)

[HDMI設定：レックコントロール（動画）](#)

[HDMI設定：HDMI機器制御](#)

[4K映像の出力先](#)

[USB接続](#)

[USB LUN設定](#)

[USB給電](#)

[PCリモート設定：静止画の保存先](#)

[PCリモート設定：RAW+J時のPC保存画像](#)

[日時設定](#)

[エリア設定](#)

[著作権情報](#)

[フォーマット](#)

[ファイル番号](#)

[ファイル名設定](#)

[記録フォルダー選択](#)

[フォルダー新規作成](#)

[フォルダー形式](#)

[管理ファイル修復](#)

[メディア残量表示](#)

[バージョン表示](#)

[認証マーク表示](#)

[設定リセット](#)

ネットワーク機能を使う

スマートフォンで本機を操作する

— [Imaging Edge Mobileについて](#)



[スマートフォン操作設定](#)

[Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）](#)

[Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)

[アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)

[Bluetooth機能でスマートフォンからカメラの電源を入/切する](#)

スマートフォンに画像を転送する

[スマートフォン転送機能：スマートフォン転送](#)

[スマートフォン転送機能：転送対象（プロキシー動画）](#)

スマートフォンから位置情報を取得する

[位置情報連動設定](#)

パソコンに画像を転送する

[パソコン保存](#)

テレビに画像を転送する

[テレビ鑑賞](#)

ネットワークの設定を変更する

[飛行機モード](#)

[Wi-Fi設定：アクセスポイント簡単登録](#)

[Wi-Fi設定：アクセスポイント手動登録](#)

[Wi-Fi設定：MACアドレス表示](#)

[Wi-Fi設定：SSID・PWリセット](#)

[Bluetooth設定](#)

[リモート電源設定](#)

[機器名称変更](#)

[ネットワーク設定リセット](#)

パソコンでできること

[パソコンの推奨環境](#)

[Mac用ソフトウェアについて](#)

パソコンへ画像を取り込んで活用する

[PlayMemories Homeでできること](#)

[PlayMemories Homeをインストールする](#)

[本機とパソコンを接続する](#)

[PlayMemories Homeを使わずに画像をパソコンに取り込む](#)

[パソコンとの接続を切断する](#)

RAW画像を現像する/リモート撮影する (Imaging Edge)

[Imaging Edgeについて](#)

動画のディスクを作成する

[作成するディスクを決める](#)

[ハイビジョン画質でブルーレイディスクを作成する](#)

[ハイビジョン画質でDVD \(AVCHD記録ディスク\) を作成する](#)

[標準画質でDVDを作成する](#)

[カメラコントロールボックスについて](#)

使用上のご注意/本機について

[使用上のご注意](#)

[防水/防じん・耐衝撃性能について](#)

[内蔵の充電式バックアップ電池について](#)

[お手入れについて](#)

[静止画の記録可能枚数](#)

[動画の記録可能時間](#)

[海外でACアダプター/バッテリーチャージャーを使う](#)

[AVCHD規格について](#)

[ライセンスについて](#)

[主な仕様](#)

[商標について](#)

故障かな?と思ったら

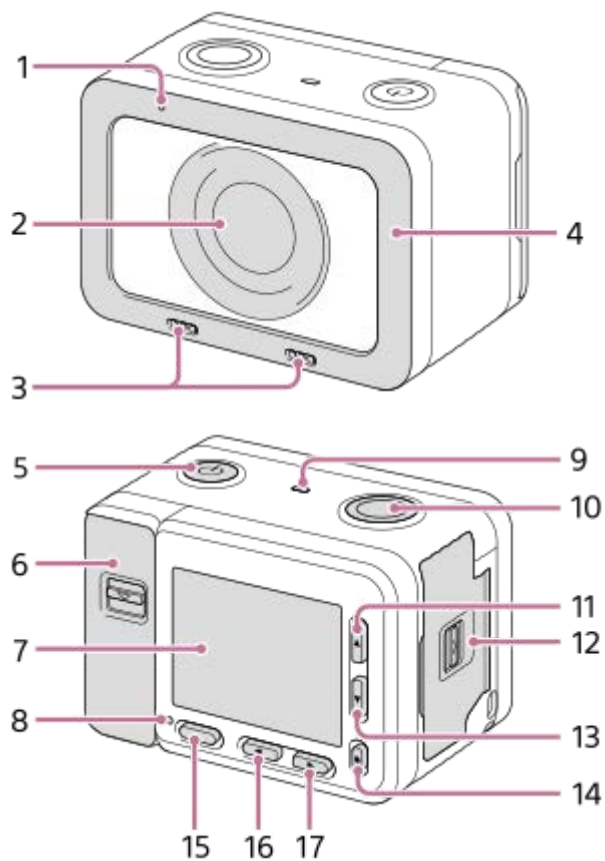
[困ったときにすること](#)

[自己診断表示](#)

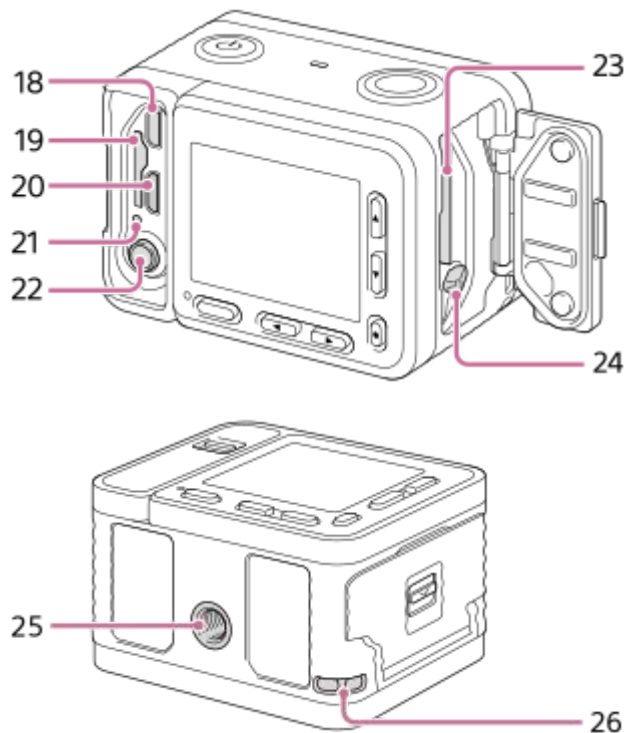
[警告表示](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 各部の名称



カバーが開いているとき



1. 録画ランプ
2. レンズ
3. 内蔵マイク

- 動画撮影時は手でふさがないようにしてください。ノイズや音量低下の原因になります。

#### 4. レンズプロテクター

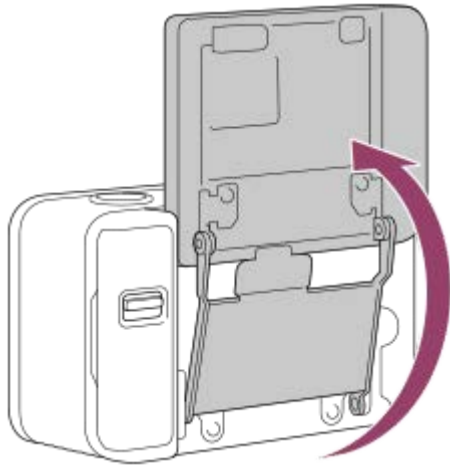
- 別売りのアクセサリーに交換することができます。

#### 5. (電源) ボタン

#### 6. メモリーカード/端子カバー

#### 7. モニター

- モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。



#### 8. 録画ランプ

#### 9. スピーカー

#### 10. SHUTTER/MOVIEボタン

#### 11. 上ボタン/DISP (画面表示切換) ボタン

#### 12. バッテリーカバー

#### 13. 下ボタン/ (再生) ボタン

#### 14. (決定) ボタン/カスタムキー

#### 15. MENUボタン

#### 16. 左ボタン/カスタムキー

#### 17. 右ボタン/Fn (ファンクション) ボタン

#### 18. HDMIマイクロ端子

#### 19. メモリーカード挿入口

#### 20. マルチ/マイクロUSB端子

- マルチ/マイクロUSB端子対応アクセサリーについては、専用サポートサイトでご確認ください。

<https://www.sony.jp/support/cyber-shot/>

#### 21. アクセスランプ/充電ランプ

#### 22. マイク端子

- 外部マイクを接続すると自動的に内蔵マイクから外部マイクに切り替わります。プラグインパワー対応の外部マイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

#### 23. バッテリー挿入口

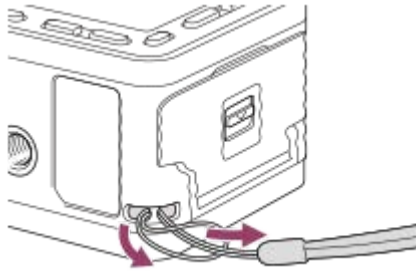
#### 24. バッテリーロックレバー

#### 25. 三脚用ネジ穴

- 対応する三脚のネジの長さは5.5mm以下になります。

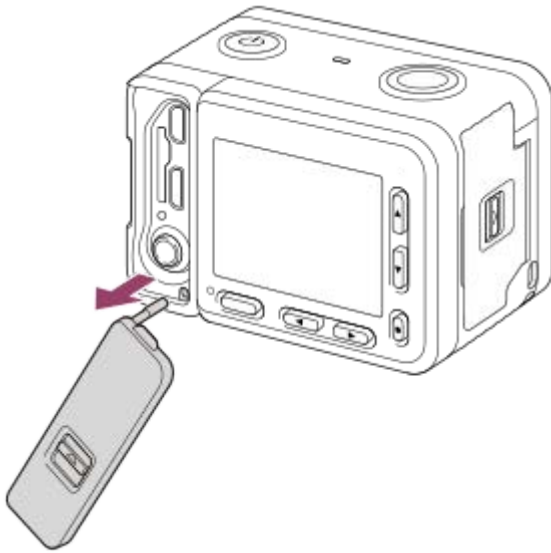
#### 26. ストラップ取り付け部

- 本機を手で持って撮影するときは、落下防止のため、リストストラップを取り付けて手を通してご使用ください。



### メモリーカード/端子カバーを取りはずして使う

メモリーカード/端子カバーは取りはずすことができます。本機にケーブルを差したまま使用する場合は、メモリーカード/端子カバーを取りはずしてください。



メモリーカード/端子カバーを再度取り付けるときは、本体にはめこんでください。

#### ご注意

- 取りはずしたメモリーカード/端子カバーは、紛失しないように保管してください。

### メモリーカードプロテクターについて

HDMIケーブルやマイクロUSBケーブル、または外部マイクを接続したまま本機を使用する場合は、メモリーカードプロテクターを取り付けてください。振動や衝撃などでメモリーカードが抜けることによるアクセスエラーを防止します。



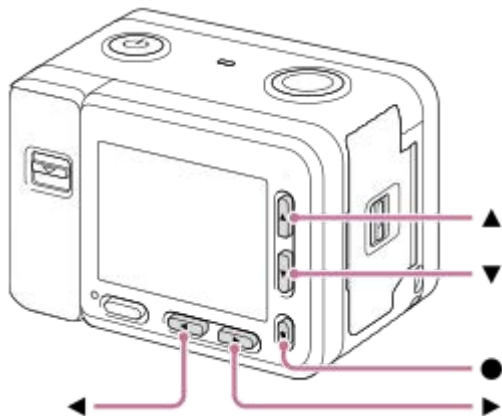
メモリーカードプロテクターを取りはずすには、メモリーカードプロテクター上部と下部のつまみを押しながら引き抜いてください。

4-748-164-01(1) Copyright 2019 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 上下左右ボタン/決定ボタンの使いかた

上下左右ボタンを押すと、選択枠を動かすことができます。選んだ項目は●（決定）ボタンを押すと決定されます。



- ▲ : 上ボタン
- ▼ : 下ボタン
- ◀ : 左ボタン
- ▶ : 右ボタン
- : 決定ボタン

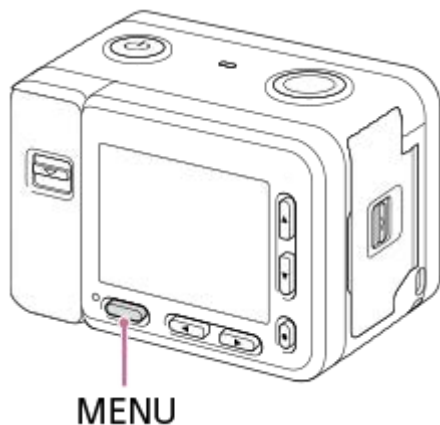
- 上ボタンにはDISP（画面表示切替）が割り当てられています。DISPボタンを押すたびに表示内容が切り換わります。
- 撮影時の下ボタンには▶（再生）が割り当てられています。▶（再生）ボタンを押すと、撮影モードから再生モードに切り替わります。グループ画像再生時に下ボタンを押すと、グループ内の画像が再生されます。
- 撮影時の右ボタンにはFn（ファンクション）が割り当てられています。
- 撮影時の左ボタンと●（決定）ボタンにはお好みの機能を割り当てることができます。
- 再生時に左/右ボタンを押すことで、前/次の画像を表示することができます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## MENUの使いかた

撮影、再生、操作方法など、カメラ全体に関する設定を変更したり、カメラの機能を実行します。

### 1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。



### 2 上/下/左/右ボタンで設定したい項目を選び、●（決定）ボタンを押す。

- 画面上部のアイコン (A) を選んで左/右ボタンを押すと、他のMENUタブへ移動できます。
- MENUボタンを押すと一つ前の画面へ戻ります。



### 3 設定値を選択して、●（決定）ボタンを押して決定する。

#### 関連項目

- [タイトルメニュー](#)
- [項目の追加](#)

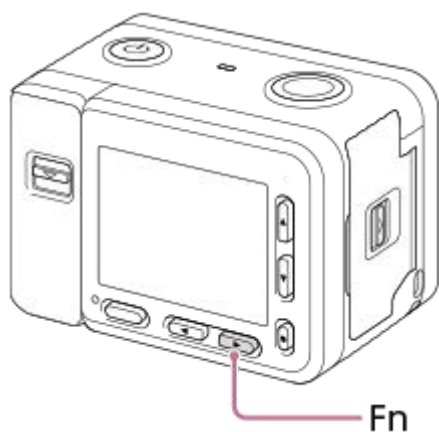


デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

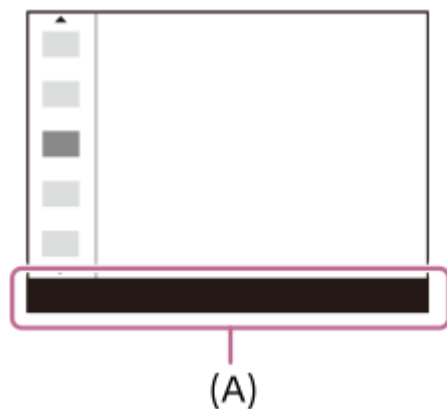
## Fn (ファンクション) ボタンの使いかた

撮影時にFn (ファンクション) ボタンを押して、あらかじめ登録したよく使う機能呼び出すことができます。呼び出す機能は12個まで登録できます。

- 1 撮影画面でFn (ファンクション) ボタンを押す。



- 2 上/下/左/右ボタンで希望の設定を選び、● (決定) ボタンを押す。
- 3 操作ガイド (A) に従って設定値を選択し、● (決定) ボタンを押す。



### 関連項目

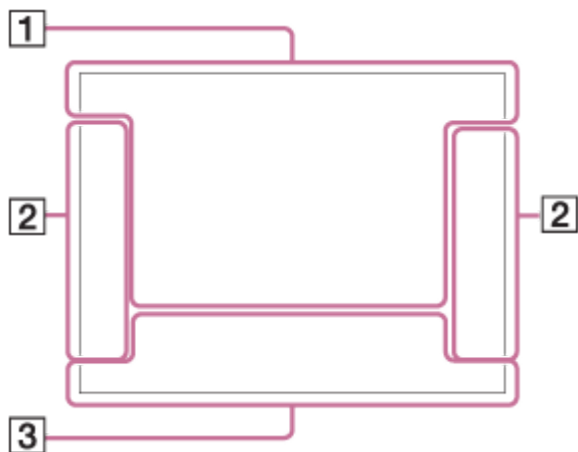
- [ファンクションメニュー設定](#)

## モニターに表示されるアイコン一覧

上段は、画面に表示されるアイコン、下段は、アイコンの意味を表します。

- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。
- 本機はモニターが小さいため、一部見えづらい文字やアイコンがあります。

### 撮影時



### 再生時



1. **i** **i+** **P** **M** **i** **P** **M** **HFR** **P** **HFR** **M**

撮影モード

**1** **2** **3** **M** **M** **M** **M**

登録呼び出し

**NO CARD**

メモリーカード

**🌙** **👤** **📷** **📷** **📷** **👤** **👤** **👤** **👤**

シーン認識マーク

**1h 30m**

撮影可能時間

**100**

撮影可能枚数

**||||3**

データ書き込み中/書き込み残り枚数

**3:2** **4:3** **16:9** **1:1**

静止画の画像横縦比

15M / 14M / 13M / 10M / 7.7M / 6.9M / 6.5M / 5.2M / 3.8M / 3.4M / 3.2M / 2.6M / VGA  
静止画の画像サイズ

**RAW**

RAW記録

**X.FINE FINE STD**

JPEG画質

**XAVC S 4K XAVC S HD AVCHD**

動画の記録方式

**100 60 50 25 16 FX FH**

動画の記録設定

**120p 60p 60i 30p 24p**

動画のフレームレート

**100p 60p 50p 25p 16p**

プロキシー記録

**240fps 480fps 960fps**

HFR撮影時のフレームレート

**VZA**

バッテリー容量



バッテリー残量警告



USB給電中



Bluetooth接続中/未接続



スマートフォン操作 (シングル/マルチ(グループオーナー)/マルチ(クライアント)) 接続中/未接続



位置情報取得中/位置情報取得無効



飛行機モード



重ね合わせ実行表示



動画音声記録オフ



風音低減オン

**VIEW**

設定効果反映Off



管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告



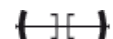
温度上昇警告



スマートズーム/ 全画素超解像ズーム/デジタルズーム



スポット測光サークル



水準器

**C:32:00**

自己診断表示



音声レベル表示



ビューモード



レーティング

3/7

画像番号/ビューモード内画像枚数

 プロテクト

**DPOF**  
DPOF (プリント) 指定

**-PC-**  
PCリモート

 著作権情報書き込みオン

 **HFR** 録画タイミング  
Assist  
S-Log2  
ガンマ表示アシスト


 グループ表示

**Px**  
プロキシ動画あり

**ワンタッチAF**  
ワンタッチAFオン

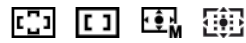
 手ブレ補正オフ/オン、手ブレ警告

2.  ドライブモード

 測光モード

**AF-S PF MF**  
フォーカスモード

**AWB**  **7500K A5 G5**  
ホワイトバランス (オート、プリセット、水中オート、カスタム、色温度、カラーフィルター)

 フォーカスエリア

**D-R DRO HDR**  
DRO/オートHDR

 **Std. Vivid Ntrl Clear Deep Light Port. Land. Sunset Night Autm B/W Sepia +3 +3 +3**  
クリエイティブスタイル / コントラスト、彩度、シャープネス

 **Pop Pos Pos Retro Strk key Parl R Parl G Parl B Parl Y HC BW Soft Mic Pmg Mic Rich BW Mini Wtrc Ilus Mic OFF**  
ピクチャーエフェクト

**PP1 - PP7**  
**PP OFF**  
ピクチャープロファイル

 ゼブラ

**Wi-Fi**  Wi-Fi  
Wi-Fi接続中/未接続

- 3. ● **トラッキング**
- **トラッキング解除**  
トラッキング用ガイド表示
- **フォーカス位置選択 入/切**  
フォーカスエリア設定用ガイド表示
- **NEARモードに設定:0.5-1m**
- **NEARモードを解除**  
プリセットフォーカス用ガイド表示
- **フォーカス設定**

マニュアルフォーカス用ガイド表示

● 撮影スタンバイ

● 撮影設定

HFR撮影用ガイド表示

**NEAR**

NEARモード

▼▼▼  
-4・3・2・1・0・1・2+  
ブラケットインジケータ

**STBY REC**

動画の録画スタンバイ/録画中

**1:00:12**

動画の撮影実時間（時：分：秒）

●

フォーカス

**1/250**

シャッタースピード

**F4.0**

絞り値（本機の絞り値はF4.0固定です）

**M.M ±0.0**

メーターマニュアル

**±0.0**

露出補正值

**ISO400**

**ISO AUTO**

**A ISO400**

ISO感度

**\* AWB**

AEロック/AWBロック

0.2 0.5 0.7 3 ∞  
m

フォーカス指標



ヒストグラム

**Pnt Mid Rich BW**

ピクチャーエフェクトエラー

**HDR !**

オートHDR画像警告

⊗

緯度・経度情報

**100-0003**

フォルダー番号-ファイル番号

**2019-1-1**

**10:37AM**

撮影日時

©

著作権情報あり

**REC STBY**

ロックコントロール



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 画面表示を切り換える（撮影/再生）

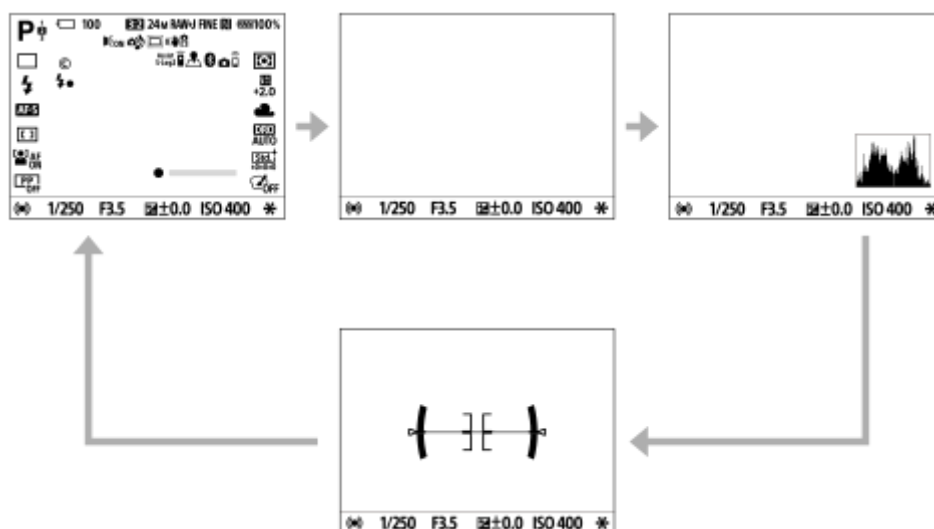
表示される画面表示を切り換えます。

### 1 DISP（画面表示切換）ボタンを押す。

- DISPボタンを押すたびに、画面表示が切り換わります。
- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

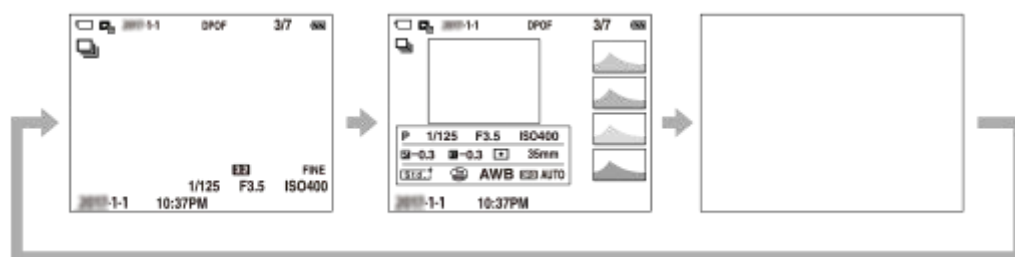
#### 撮影時

全情報表示 → 情報表示 なし → ヒストグラム → 水準器 → 全情報表示



#### 再生時

情報表示 あり → ヒストグラム → 情報表示 なし → 情報表示 あり



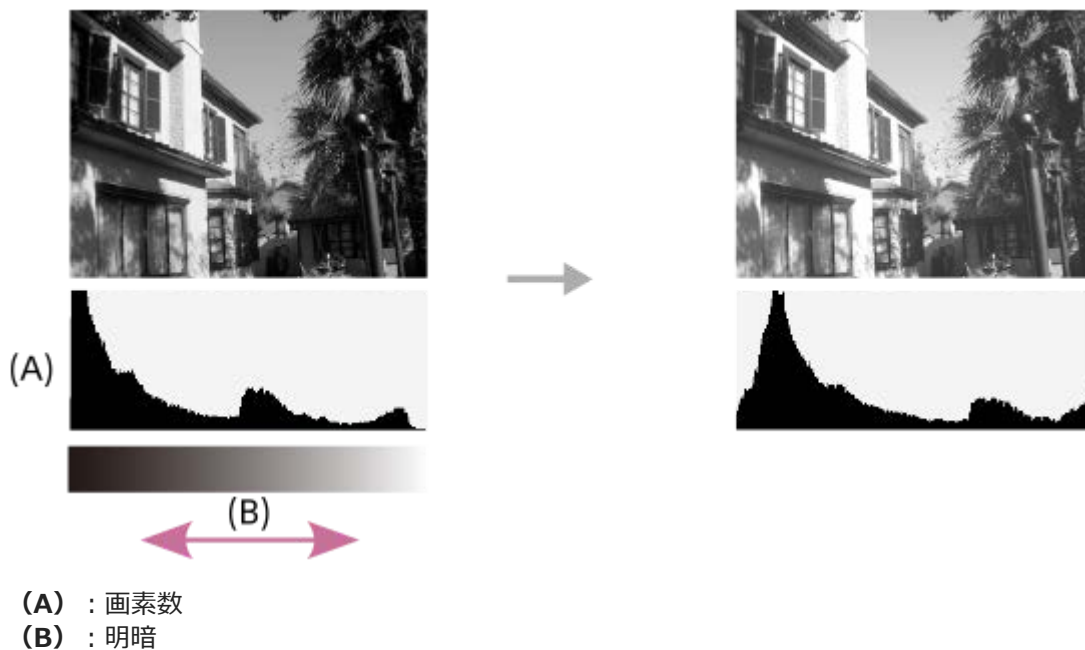
- 画像に白とびまたは黒つぶれの箇所がある場合、ヒストグラム画面の画像の該当箇所が点滅します（白とび黒つぶれ警告）。
- 再生時の設定は、[オートレビュー]でも反映されます。

#### ヒストグラム

ヒストグラムとは輝度分布のことで、どの明るさの画素がどれだけ存在するかを表します。左に行くほど暗く、右は明るいことを表しています。

露出補正をかけると、ヒストグラムもそれに応じて変化します。





ヒストグラムの左右両端のデータは、白とび/黒つぶれした部分があることを表しています。このような部分は、撮影後、画像をパソコンで補正しても再現することはできません。必要に応じて露出補正をしてから撮影してください。



### ご注意

- ヒストグラムは、撮影結果ではなく、画面で見ている画像のヒストグラムになります。
- 撮影時と再生時のヒストグラムは、夜景などの低輝度な被写体のとき大きく異なります。

### ヒント

- DISPボタンで表示できる内容を変更するときは、MENU →  (撮影設定2) → [DISPボタン] から設定を変更してください。
- グリッドラインはMENU →  (撮影設定2) → [グリッドライン] を [切] にすると消すことができます。
- 動画撮影時のマーカー表示はMENU →  (撮影設定2) → [ マーカー表示] を [切] にすると消すことができます。

### 関連項目

- [グリッドライン](#)
- [マーカー表示 \(動画\)](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## DISPボタン

撮影時に、DISP（画面表示切換）で選択できる画面表示モードを設定します。

① MENU →  2（撮影設定2） → [DISPボタン] → 希望の設定を選び、[実行] を選んで決定する。

✓ がついている項目が選択できるモードになる。

### メニュー項目の詳細

#### 全情報表示：

撮影情報を表示する。

#### 情報表示 なし：

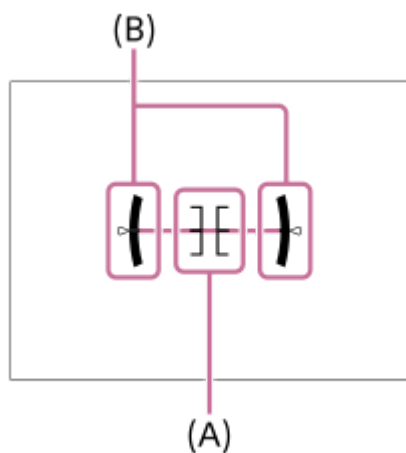
撮影情報を表示しない。

#### ヒストグラム：

画像の明暗をグラフ（ヒストグラム）で表示する。

#### 水準器：

カメラの前後方向（A）、水平方向（B）の傾きを指標で示す。水平、平衡状態のときは、表示が緑色になる。



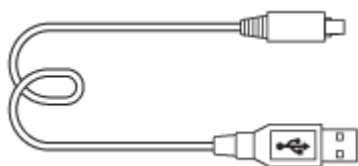
デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 本体と付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

( ) 内の数字は個数です。

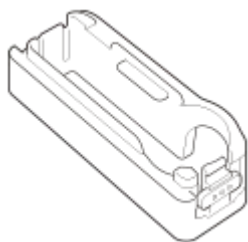
- カメラ (1)
- リチャージャブルバッテリーパックNP-BJ1 (1)
- マイクロUSBケーブル (1)



- ACアダプター (1)
- リストストラップ (1)



- メモリーカードプロテクター (1)



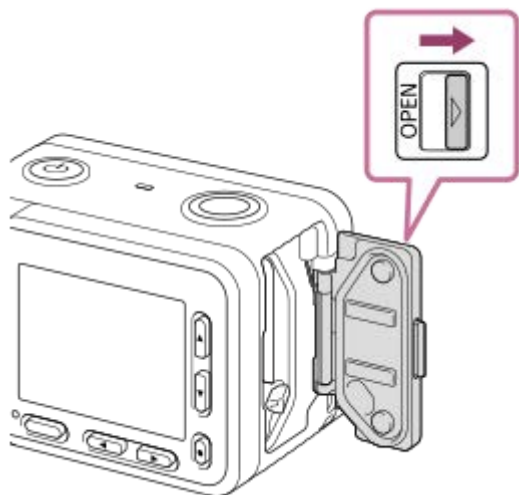
- スタートガイド (1)
- 保証書 (1)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

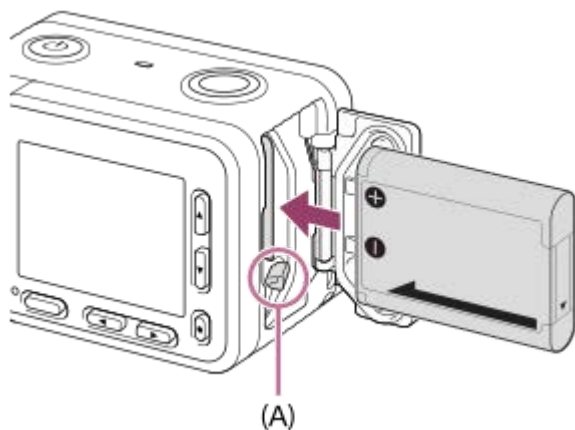
## バッテリーを本機に入れる

バッテリーを本機に入れる手順を説明します。

### 1 バッテリーカバーを開ける。



### 2 バッテリーの端でバッテリーロックレバー (A) を押しながら入れ、バッテリーがロックされるまで押し込む。



### 3 カバーを閉じる。

#### ご注意

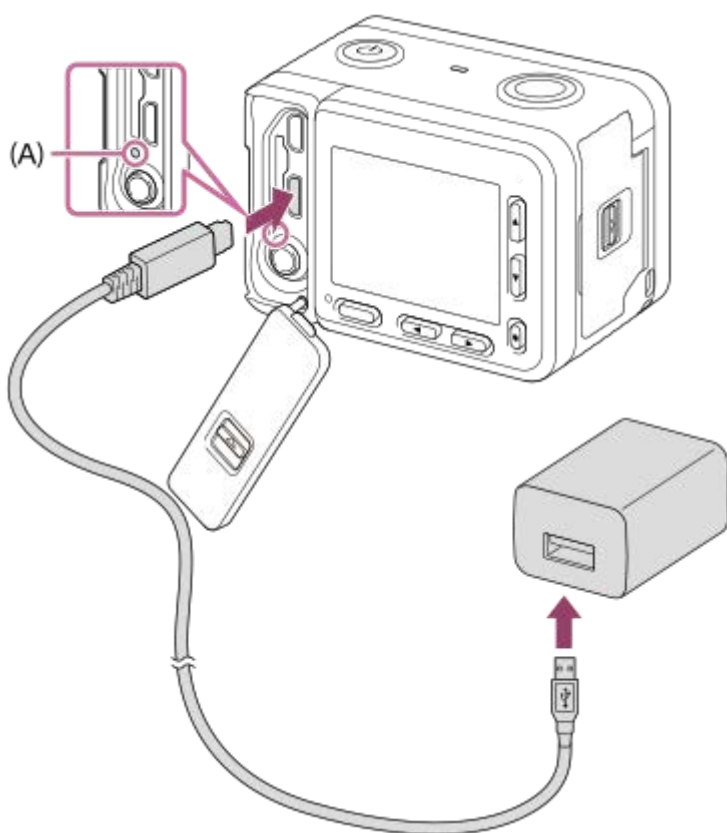
- バッテリーカバーを閉じるときは、カバーのつまみの黄色いマークが見えなくなるまでしっかりと閉じてください。また、カバー内に砂などの異物を挟み込むと、浸水の原因になります。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## バッテリーを本機に入れて充電する

初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

- 1 本機の電源を切る。
- 2 バッテリーを入れた本機とACアダプター（付属）をマイクロUSBケーブル（付属）でつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。



### A：充電ランプ

点灯（オレンジ色）：充電中

消灯：充電終了

点滅（オレンジ色）：充電エラー、または温度が適切な範囲にないための充電一時待機

- 充電ランプが点灯後すぐに消える場合は満充電です。

## 充電時間の目安（満充電）

充電にかかる時間は、付属のACアダプターで約135分です。

- バッテリーの残量や、充電環境によって、充電時間は異なります。
- 残量があるバッテリーも充電できます。
- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長かかります。

## ご注意

- 充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーやUSBケーブルを取りはずし、再度装着してください。
- ACアダプターをコンセントにつないでもカメラの充電ランプが点滅する場合は、充電に適した温度範囲外にあるため一時待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電可能です。バッテリーの充電は周囲の温度が10℃～30℃の環境で行ってください。
- ACアダプター/チャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。
- 充電中に本機の電源を入れると、コンセントから給電され本機を使用できますが、充電はされません。
- お買い上げ直後や長期間バッテリーを放置した場合、一度目の充電では充電ランプが速い点滅になる場合があります。その場合は一度バッテリーやUSBケーブルを取りはずし、再度充電してください。
- 充電終了直後またはそれに近い状態のバッテリーを未使用のまま、何度も充電を繰り返さないでください。バッテリーの性能に影響します。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマイクロUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。

---

## 関連項目

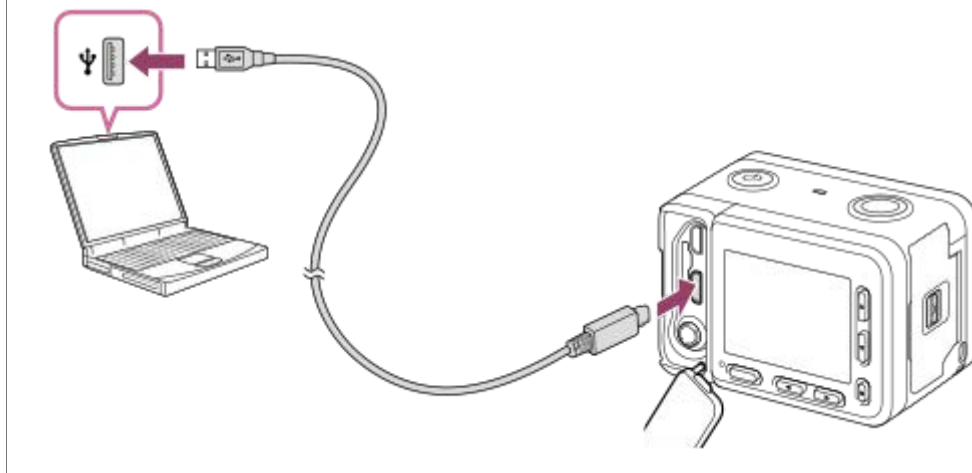
- [バッテリーについてのご注意](#)
- [充電についてのご注意](#)
- [海外でACアダプター/バッテリーチャージャーを使う](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。

- 1 本機の電源を切った状態で、パソコンのUSB端子と本機をつなぐ。



### ご注意

- パソコンから充電するときは、以下の点にもご注意ください。
  - 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間放置しないでください。
  - 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
  - すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
  - 自作のパソコンや改造したパソコン、ハブ経由での充電は保証できません。
  - 同時に使うUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。

### 関連項目

- [バッテリーについてのご注意](#)
- [充電についてのご注意](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## バッテリーの使用時間と撮影可能枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	—	約240枚
実動画撮影	約35分	—
連続動画撮影	約60分	—

### ご注意

- 使用時間や撮影枚数は満充電された状態での目安です。使用方法によって時間や枚数は減少する場合があります。
- 使用時間や撮影可能枚数は、お買い上げ時の設定で、以下の条件にて撮影した場合です。
  - 温度が25℃
  - 当社製のmicroSDXCメモリーカード UHS-Iスピードクラス3（別売）を使用
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。  
（CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
  - 動画画質：XAVC S HD 60p 50M
  - [自動電源OFF温度]：[高]
  - 実動画撮影：撮影、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返す。
- バッテリー残量が表示されない場合は、DISP（画面表示切換）を押して表示してください。



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 外部電源で本機を使う

付属のACアダプターを使うと、外部電源で撮影/再生ができます。

### 1 マイクロUSBケーブル（付属）とACアダプター（付属）で、本機とコンセントをつなぐ。

#### ご注意

- 外部電源で本機を使用して撮影/再生をする場合は、充電したバッテリーを本機に入れてください。
- 外部電源で本機を使用する場合は、USB給電中を表すアイコン（ / ）がモニターに表示されていることをご確認のうえ、本機をご使用ください。
- アクセスランプが点灯しているときはバッテリーやマイクロUSBケーブルを取りはずさないでください。メモリーカード内のデータが破損するおそれがあります。
- 電源を入れて使用している間は、ACアダプターと接続していてもバッテリーへの充電はされません。
- ACアダプターと接続して使用していても、ご使用の条件によっては、補助的にバッテリーの電源を使用する場合があります。
- USB給電中はマイクロUSBケーブルを抜かないでください。マイクロUSBケーブルを抜くときは、本機の電源を切ってから抜いてください。
- USB給電中は、本体内の温度上昇により連続動画撮影時間が短くなることがあります。
- 外部電源としてモバイルチャージャーをご使用する際には、満充電であることを確認してからお使いください。また、ご使用中はモバイルチャージャーの残量にご注意ください。

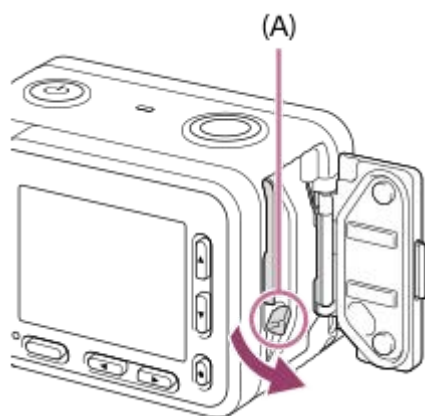


デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## バッテリーを本機から取り出す

バッテリーを本機から取り出す手順を説明します。

- 1 アクセスランプが点灯していないことを確認し、電源を切る。
- 2 バッテリーカバーを開ける。
- 3 バッテリーロックレバー (A) をずらして、バッテリーを引き出す。



- バッテリーが落下しないよう注意してください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## バッテリーについてのご注意

### バッテリー使用上のご注意

- 本機指定のバッテリーをご使用ください。
- 使用状況や環境によっては、残量表示は正しく表示されません。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

### バッテリーの充電について

- 初めてお使いになるときは、バッテリー（付属）を必ず充電してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。
- 本機指定外のバッテリーを充電しないでください。バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。
- 充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーやUSBケーブルを本機から取りはずし、再度装着してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。
- 電源に接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間充電しないでください。
- 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
- 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。
- 充電終了後はACアダプターをコンセントからはずす、もしくは本体からUSBケーブルを抜いてください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。

### バッテリーの残量について

- モニター上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。



**A** : 残量多い  
**B** : 残量なし

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- 電源を入れたまま一定時間操作しないと、自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。
- バッテリー残量が表示されない場合は、DISP（画面表示切換）を押して表示してください。

### 充電にかかる時間（満充電）

充電にかかる時間は、付属のACアダプターで約135分です。これはバッテリーを使い切ってから、温度25℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

### バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。ポケットの中に鍵などの金属物が入っている場合は、ショートしないようご注意ください。
- 連続撮影、電源の入り切りなどを頻繁にしたり、モニターを明るく設定すると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

## バッテリーの保管方法について

バッテリーを長持ちさせるためには、長時間使用しない場合でも、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

## バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命とされますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 充電についてのご注意

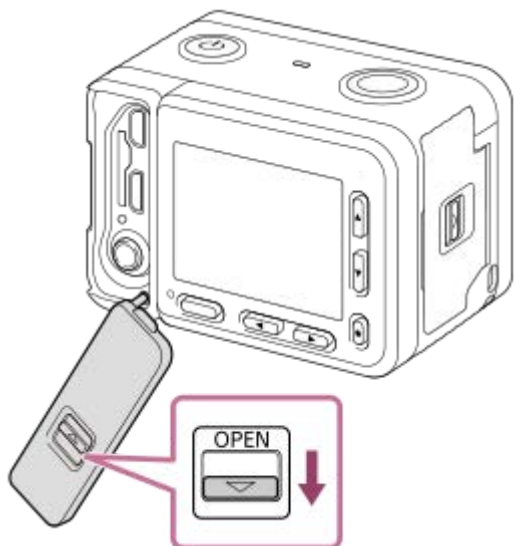
- 付属のACアダプターは本機専用です。故障のおそれがあるため、他の電子機器に接続して使用しないでください。
- 必ずソニー製純正のACアダプターを使用してください。
- 充電中に本機の充電ランプが点滅した場合はバッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを本機に入れてください。再びランプが点滅した場合はバッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入されている可能性があります。指定のバッテリーかどうか確認してください。  
指定のバッテリーを入れている場合は、バッテリーを取りはずし、新品のバッテリーなど別のバッテリーを挿入して充電が正常に行われるか確認してください。充電が正常に行われる場合は、バッテリーの異常が考えられます。
- ACアダプターを本機とコンセントに接続しても充電ランプが点滅する場合は、充電に適した温度範囲外にあるため、充電の一時待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電を再開しランプも点灯します。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行うことをおすすめします。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

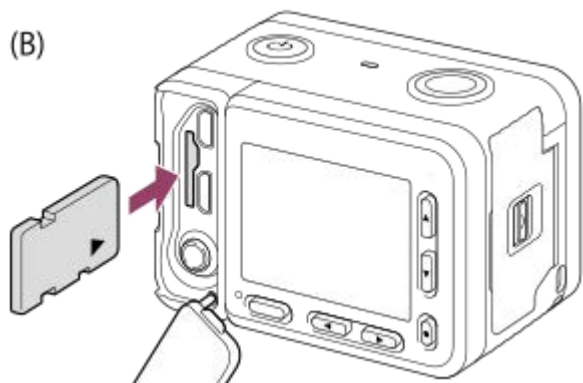
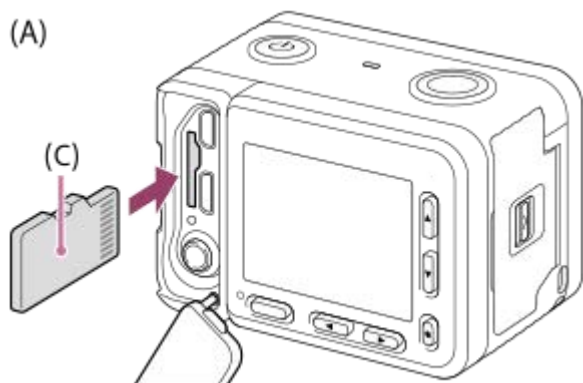
## メモリーカードを本機に入れる

メモリーカードを本機に入れる手順を説明します。

### 1 メモリーカード/端子カバーを開ける。



### 2 メモリーカードを入れる。



(C) : 端子面

- microSDカード/microSDHCカード/microSDXCカード : イラストの (A) の向きに、端子面を手前に向けてまっすぐ入れてください。

- メモリースティックマイクロ：イラストの **(B)** の向きに入れてください。

### 3 カバーを閉じる。

#### ヒント

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。

#### ご注意

- メモリーカード/端子カバーを閉じるときは、カバーのつまみの黄色いマークが見えなくなるまでしっかりと閉じてください。また、カバー内に砂などの異物を挟み込むと、浸水の原因になります。

---

#### 関連項目

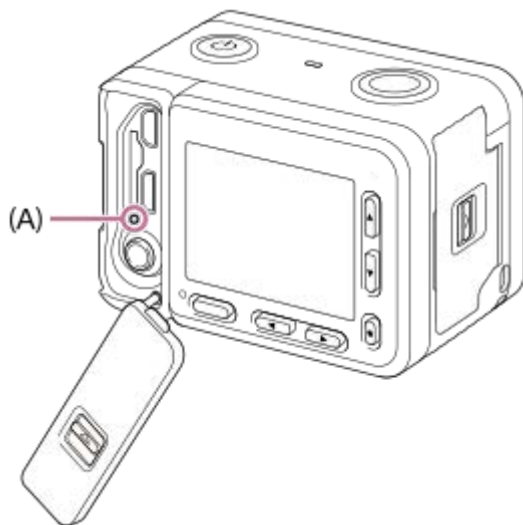
- [メモリーカードについてのご注意](#)
- [フォーマット](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

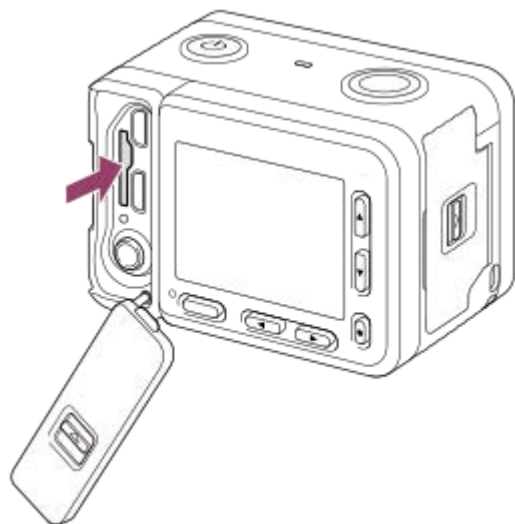
## メモリーカードを本機から取り出す

メモリーカードを本機から取り出す手順を説明します。

- 1 メモリーカード/端子カバーを開ける。
- 2 アクセスランプ (A) が点灯していないことを確認する。



- 3 メモリーカードを1度押して取り出す。



### 関連項目

- [メモリーカードについてのご注意](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 使用できるメモリーカード

### SDメモリーカード

記録方式		対応メモリーカード
静止画		microSD、microSDHC、microSDXCカード
AVCHD		microSD、microSDHC、microSDXCカード (Class4以上またはU1以上)
XAVC S	4K 60Mbps* HD 50Mbps以下* HD 60Mbps	microSDHC、microSDXCカード (Class10またはU1以上)
	4K 100Mbps* HD 100Mbps	microSDHC、microSDXCカード (U3)

\* プロキシ記録時を含む

### メモリースティック

記録方式		対応メモリーカード
静止画		メモリースティック マイクロ (Mark2)
AVCHD		
XAVC S	4K 60Mbps* HD 50Mbps以下* HD 60Mbps	—
	4K 100Mbps* HD 100Mbps	

\* プロキシ記録時を含む

#### ご注意

- microSDHCカードにXAVC Sで長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。PlayMemories Homeでパソコンに取り込むことで、1つのファイルとして扱うことができます。
- メモリーカード上の管理ファイルを修復する場合は、バッテリーを十分に充電をしてから実行してください。

#### 関連項目

- [メモリーカードについてのご注意](#)
- [静止画の記録可能枚数](#)
- [動画の記録可能時間](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## メモリーカードについてのご注意

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、本機で【フォーマット】を行ってください。
- アクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、USBケーブルを抜いたり、バッテリーを取りはずしたり、電源を切らないでください。メモリーカードのデータが壊れることがあります。
- データ保護のため必ずバックアップをお取りください。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- microSDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。

対応していない機器に接続した場合、フォーマット（初期化）を促す表示が出る場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。

（exFATは、microSDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。）

- 水にぬらさないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- 強い磁気のそばにメモリーカードを近づけたり、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、データが壊れることがあります。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 長時間使用した直後のメモリーカードは熱くなっています。ご注意ください。
- パソコンでフォーマットしたメモリーカードは、本機での動作を保証しません。本機でフォーマットしてください。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 使用可能なメモリーカードについての最新情報は、以下のページをご確認ください。

メモリースティック対応表

<https://www.sony.jp/rec-media/memorystick/compatibility/>

SDカード対応表

<https://www.sony.jp/rec-media/sd/compatibility/>

## メモリーカード/端子カバーについてのご注意

本機から取りはずしたメモリーカード/端子カバーは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。


デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 日付と時刻を設定する

初めて電源を入れたときや初期化を行ったあと、または内蔵の充電式バックアップ電池が消耗しているときには、日時設定の画面が表示されます。

- 1 **本機の電源を入れる。**  
日時設定を要求する画面になる。
- 2 **【エリア/日付/時刻を設定してください】と表示されるので、【実行】を選んで ● (決定) ボタンを押す。**
- 3 **【東京/ソウル】が選ばれていることを確認し、● (決定) ボタンを押す。**
- 4 **上/下ボタンを押して【日時】を選び、● (決定) ボタンを押す。**  
【サマータイム】：  
日本では、サマータイムは【切】にする。  
【表示形式】：  
日付表示順を選ぶ。
- 5 **上/下/左/右ボタンで希望の設定を選び、● (決定) ボタンを押す。**
  - 【日時】を設定する場合、真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなります。
  - 【日時】を設定するときは、上/下ボタンを押して数値を変更してください。
- 6 **手順5ですべて設定し、【実行】を選んで ● (決定) ボタンを押す。**

### ヒント

- 日時設定を完了したあとに日時やエリアを合わせ直したい場合は、MENU→ (セットアップ) →【日時設定】または【エリア設定】で設定してください。

### ご注意

- 日時設定をキャンセルした場合は電源を入れると毎回日時設定画面が表示されます。

### 関連項目

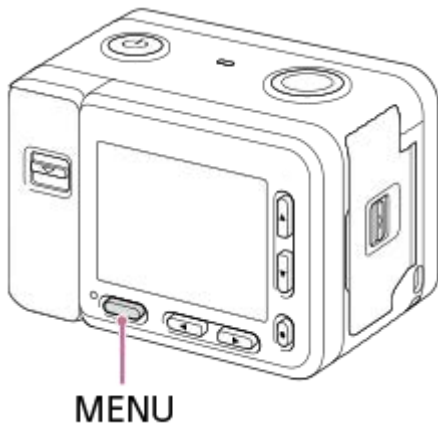
- [日時設定](#)
- [エリア設定](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 静止画撮影

静止画を撮影します。

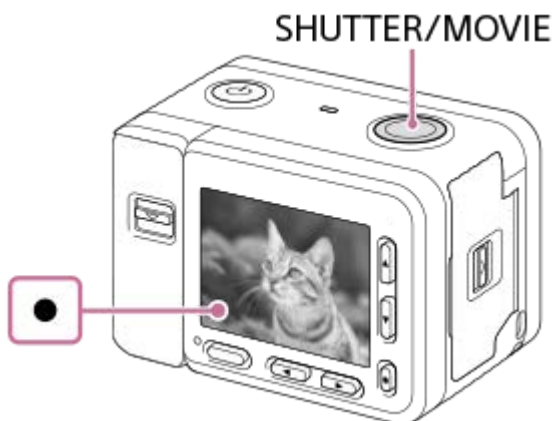
- ① MENU →  1 (撮影設定1) → [撮影モード] → [おまかせオート] を選ぶ。



- ② 被写体にカメラを向ける。

- ③ SHUTTER/MOVIEボタンを半押しして、ピントを合わせる。

- ピントが合うと「ピピッ」という音がして、フォーカス表示 (●) が点灯します。



- ピントが合う最短距離はレンズ先端から約20cmです。

- ④ SHUTTER/MOVIEボタンを深く押し込む。

### フォーカス表示

● 点灯：

ピントが合って固定されている。

● 点滅：

ピントが合っていない。

### ヒント

- 自動でピントを合わせられない場合は、フォーカス表示が点滅し、「ピピッ」と電子音が鳴りません。構図を変えたり、フォーカス設定を変えるなどしてください。
- 以下のとき、ピントが合いにくい場合があります。
  - 被写体が遠くて暗い
  - 被写体のコントラストが弱い
  - ガラス越しの被写体
  - 高速で移動する被写体
  - 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
  - 点滅する被写体
  - 逆光になっている被写体
  - フォーカスエリアの中に距離の異なるものが混じっているとき

---

## 関連項目

- [オート撮影の特徴](#)
- [シーン認識について](#)
- [水中で撮る](#)
- [静止画再生](#)

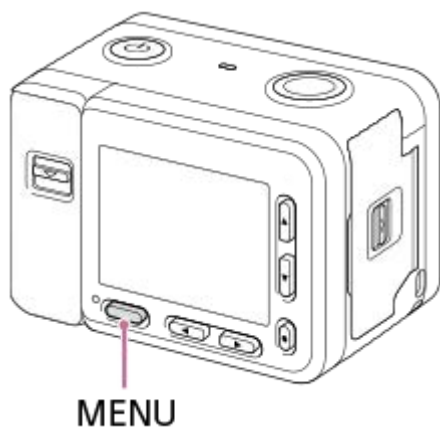
デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 動画撮影

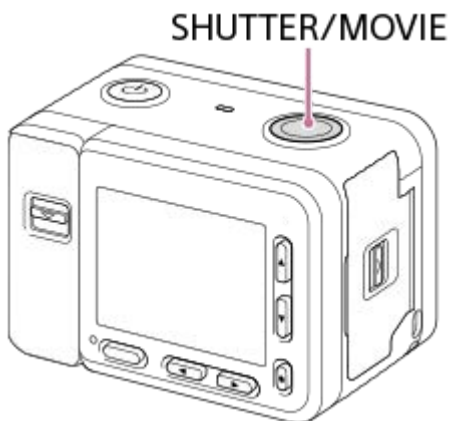
動画を撮影します。

① MENU→1 (撮影設定1) → [撮影モード] →  (おまかせオート) を選ぶ。

- 動画撮影時のピント合わせの方法は、[シングルAF]、[プリセットフォーカス]または[マニュアルフォーカス]から選択できます。







② SHUTTER/MOVIEボタンを押して、撮影を開始する。



③ もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押して、終了する。

### ヒント

- 動画撮影開始/停止機能をお好みのボタンに割り当てることができます。MENU→2 (撮影設定2) → [カスタムキー] → 希望のボタンに [MOVIE(動画)] を設定してください。
- ピントを合わせるエリアを指定したいときは、[フォーカスエリア] で設定します。
- 顔にピントを合わせ続けたい場合は、フォーカス枠と顔検出枠が重なるように構図を工夫します。または [フォーカスエリア] を [ワイド] に設定します。
- シャッタースピードを希望の値に設定したいときは、MENU→1 (撮影設定1) → [撮影モード] を [ マニュアル露出] にしてください。

- 撮影後、データ書き込み中を示すアイコンがモニターに表示されます。アイコンが表示されている間に、メモリーカードを抜かないでください。
- 以下の設定は、静止画撮影のときの設定値をそのまま使用できます。
  - ホワイトバランス
  - クリエイティブスタイル
  - 測光モード
  - 顔/瞳AF設定
  - マルチ測光時の顔優先
  - Dレンジオブティマイザー
- ISO感度、露出補正、フォーカスエリアは動画撮影中に設定を変更できます。
- [HDMI情報表示] を [なし] にすると、動画記録中でも撮影情報表示なしで記録画像を出力できます。

## ご注意

- 記録中は、何も操作せずに約1分経過するとモニターが消灯します（お買い上げ時の設定）。MENUボタン、上/下/左/右ボタン、●（決定）ボタンのいずれかを押しと再度モニターを点灯できます。また、MENU→2（撮影設定2）→記録中モニター消灯を [切] に設定すると、記録中もモニターは消灯しなくなります。
- 動画記録中には、カメラの動作音や操作音が記録されます。また、動画撮影終了時、SHUTTER/MOVIEボタンの操作音が記録されることがあります。
- 撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります。
- MENU→2（撮影設定2）→ [音声記録] → [切] にすると、音声を記録しないようにできます。
- 連続して撮影している場合は、本機の温度が上昇しやすく、温かく感じる場合がありますが故障ではありません。また、[しばらく使用できません カメラの温度が下がるまで お待ちください] という表示が出る場合があります。その場合は、本機の電源を切って、本機の温度が下がるのを待ってから撮影してください。
- が表示された場合は、本機の温度が上がっています。本機の電源を切り、温度が下がるのを待ってから撮影してください。
- 連続撮影可能時間は「[動画の記録可能時間](#)」をご覧ください。本体やバッテリーの温度によっては、機器保護のため撮影を停止する場合があります。
- 動画の [ プログラムオート] モードでは、シャッタースピードは自動で設定され変更できません。よって明るい環境下で高速シャッターとなり、被写体の動きが滑らかに写らない場合があります。 [ マニュアル露出] にして、シャッタースピードを調整することで、より滑らかに撮影できる場合があります。
- 動画撮影時のISO感度はISO125～ISO12800の範囲で選べます。ISO125よりも小さい設定値の状態では動画撮影を始めると、ISO125に切り替わります。動画撮影を終えると元のISO値に戻ります。
- ISO感度を [マルチショットNR] に設定しているときは、一時的に [ISO AUTO] になります。
- 動画撮影時、以下の [ピクチャーエフェクト] は設定できません。動画撮影が開始されると一時的に [切] になります。
  - ソフトフォーカス
  - 絵画調HDR
  - リッチトーンモノクロ
  - ミニチュア
  - 水彩画調
  - イラスト調
- 低感度の動画撮影時、極端に強い光源にカメラを向けると、画面内の高輝度部分が黒っぽく撮影されることがあります。
- XAVC S動画やAVCHD動画をパソコンに取り込むときは、PlayMemories Homeを使用してください。

## 関連項目

- [おまかせオート（動画）](#)
- [フォーカスモード](#)
- [プリセットフォーカス](#)
- [マニュアルフォーカス](#)
- [記録方式（動画）](#)
- [MOVIE\(動画\)ボタン](#)


- 動画の記録可能時間
- よく使う機能をボタンに割り当てる (カスタムキー)

4-748-164-01(1) Copyright 2019 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## スーパースローモーション撮影をする（ハイフレームレート）

記録フォーマットより高いフレームレートで撮影することによって、なめらかなスーパースローモーション映像を記録できます。

- 1 MENU →  1（撮影設定1） → [撮影モード] → [ハイフレームレート] を選び、希望の露出モードを選ぶ。  
撮影設定画面が表示される。



- 2 MENU →  2（撮影設定2） → [HFR ハイフレームレート設定] を選び、[HFR 記録設定]、[HFR フレームレート]、[HFR 優先設定]、[HFR 録画タイミング] を希望の設定にする。

- 3 被写体にカメラを向け、ピントなどを合わせる。

- フォーカスモード、ISO感度など、そのほかの撮影設定も変更することができます。

- 4 ●（決定）ボタンを押す。

撮影スタンバイ画面が表示される。

- 撮影スタンバイ中は、画面の中央に [撮影スタンバイ] が表示されます。[撮影スタンバイ] が表示されている間は、露出の調整、フォーカスの調整、ズーム操作などはできません。変更したい場合は、もう一度 ●（決定）ボタンを押して撮影設定画面に戻ってください。



- 5 SHUTTER/MOVIEボタンを押す。

[HFR 録画タイミング] が [スタートトリガー] のとき：

取り込み（撮影）がスタートする。再度SHUTTER/MOVIEボタンを押すか、録画可能時間を過ぎたときに取り込みが終了し、メモリーカードへ記録される。

[HFR 録画タイミング] が [エンドトリガー] / [エンドトリガー ハーフ] のとき：

取り込みが終了し、メモリーカードへ記録される。



## メニュー項目の詳細

### **HFR** 記録設定 :

記録する動画のフレームレートを [60p 50M]、[30p 50M]、[24p 50M] から選ぶ。

### **HFR** フレームレート :

撮影時のフレームレートを [240fps]、[480fps]、[960fps] から選ぶ。

- この設定で、1コマあたりのシャッタースピードの下限が決まります。

### **HFR** 優先設定 :

画質を優先する [画質優先] か、撮影時間が長くなる [撮影時間優先] かを選ぶ。

### **HFR** 録画タイミング :

SHUTTER/MOVIEボタンを押してからある一定の時間を記録するか ([スタートトリガー])、SHUTTER/MOVIEボタンを押すまでのある一定の時間を記録するか ([エンドトリガー]、[エンドトリガー ハーフ]) を選ぶ。

## フレームレートについて

スーパースローモーション撮影では、1秒間の撮影コマ数以上のシャッタースピードで撮影します。例えば、[ **HFR** フレームレート] を [960fps] に設定した場合、1秒間で960コマ撮影するため、1コマのシャッタースピードは約1/1000秒より高速になります。このシャッタースピードを確保するために撮影時には十分な明るさが必要になります。明るさが不足する場合はISO感度が上がるため、ノイズが目立ちやすくなります。

## 最短撮影距離について

マクロ撮影などで被写体に近づきすぎるとピントが合いません。

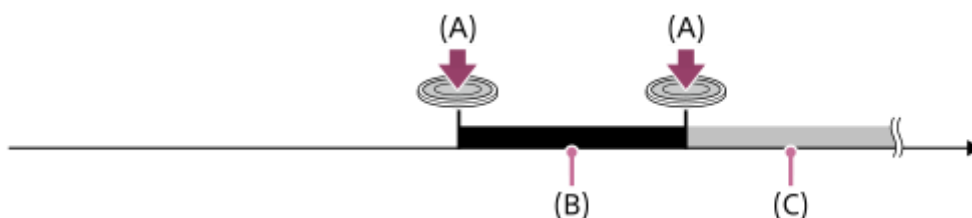
カメラを最短撮影距離 (レンズ先端から約20cm) より離して撮影してください。

## 録画のタイミングについて

[ **HFR** 録画タイミング] の設定により、SHUTTER/MOVIEボタンを押すタイミングと録画される動画の時間の関係は以下ようになります。

### [スタートトリガー]

SHUTTER/MOVIEボタンを押したタイミングで取り込み (撮影) を開始します。SHUTTER/MOVIEボタンをもう一度押すか最大録画可能時間が経過すると、取り込みが終了しメモリーカードへの記録が開始されます。



(A) : SHUTTER/MOVIEボタンを押すタイミング

(B) : 録画される部分

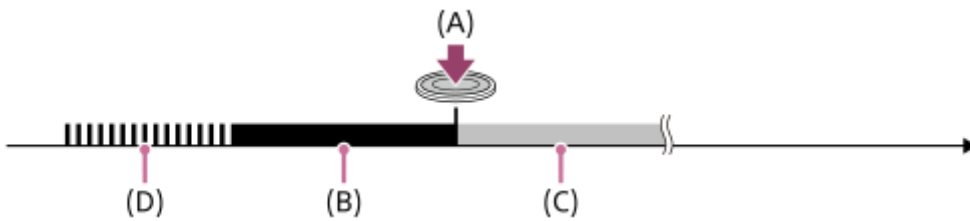
(C) : メモリーカードに記録中 (次の撮影は行えません)

### [エンドトリガー] / [エンドトリガー ハーフ]

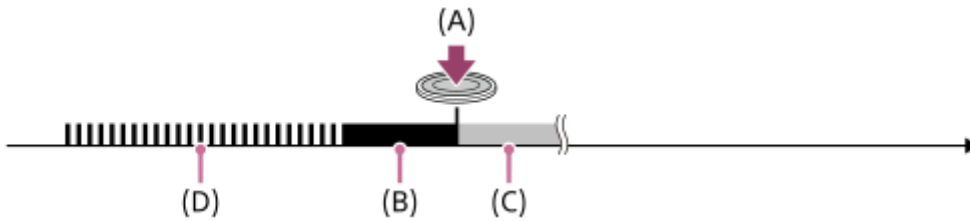
撮影スタンバイ画面になった時点からバッファリング (動画を一時的にカメラ内部に撮りためておくこと) を開始します。撮影データがバッファリング容量いっぱいになると、古いデータから順に上書きされます。SHUTTER/MOVIEボタンを押すと、その時点から遡って最大録画可能時間分の動画がメモリーカードに記録されます。

- [エンドトリガー] のときは最大録画可能時間分の動画が、[エンドトリガー ハーフ] のときは最大録画可能時間の半分の時間分の動画が記録されます。[エンドトリガー ハーフ] は、メモリーカードへの記録にかかる時間も [エンドトリガー] に比べて短くなります。

### [エンドトリガー]



[エンドトリガー ハーフ]



- (A) : SHUTTER/MOVIEボタンを押すタイミング
- (B) : 録画される部分
- (C) : メモリーカードに記録中（次の撮影は行えません）
- (D) : バッファリング中

### 撮影をやり直したいときは

記録中の画面で [キャンセル] を選ぶと、記録を中止できます。ただし、中止したところまでの動画は保存されます。

### 再生速度について

[HFR フレームレート] と [HFR 記録設定] の設定によって、再生速度は以下のようになります。

HFR フレームレート	HFR 記録設定		
	24p 50M	30p 50M	60p 50M
240fps	10倍スロー	8倍スロー	4倍スロー
480fps	20倍スロー	16倍スロー	8倍スロー
960fps	40倍スロー	32倍スロー	16倍スロー

### [HFR 優先設定] と撮影時間について

HFR 優先設定	HFR フレームレート	イメージセンサー読み出し有効画素数	撮影時間
画質優先	240fps	1676×942	約2秒
	480fps	1676×566	
	960fps	1136×384	
撮影時間優先	240fps	1676×566	約4秒
	480fps	1136×384	
	960fps	800×270	

### 再生時間について

例えば、[HFR 記録設定] を [24p 50M]、[HFR フレームレート] を [960fps]、[HFR 優先設定] を [撮影時間優先] に設定し、約4秒間撮影した場合、再生速度は40倍スローとなることから、再生時間は約160秒（約2分40秒）になります。

**ご注意**

- 音声は記録されません。
- 記録される動画はXAVC S HDフォーマットになります。
- SHUTTER/MOVIEボタンを押してから記録が終わるまでに時間がかかる場合があります。撮影スタンバイ画面に切り替わるまで待って、次の撮影を行ってください。

---

#### 関連項目


- [動画の記録フォーマットについて](#)
- [使用できるメモリーカード](#)
- [HFR（ハイフレームレート）：露出モード](#)

4-748-164-01(1) Copyright 2019 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 撮影モードを変える

撮りたい被写体や、操作したい機能に合わせて、撮影モードを設定します。

1 MENU →  1 (撮影設定1) → [撮影モード] → 希望の設定を選ぶ。

- お買い上げ時の設定では、左ボタンを押しても撮影モードを変更できません。

### メニュー項目の詳細

**i**  (おまかせオート) :

カメラまかせでシーン認識をして撮影する。

**i** + (プレミアムおまかせオート) :

カメラまかせでシーン認識をして撮影する。特に暗いシーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影できる。

**P** (プログラムオート) :

露出(シャッタースピード)は自動設定される。Fn(ファンクション)やMENUで多彩な機能を設定できる。

**M** (マニュアル露出) :

シャッタースピードを手動で設定して撮影する。

**MR** (登録呼び出し) :

あらかじめ登録しておいた、よく使うモードやカメラの設定を呼び出して撮影できる。

**i**  (  おまかせオート) :

カメラまかせで動画をオート撮影する。

**i**  **P** (  プログラムオート) :

本機が自動設定した露出(シャッタースピード)で動画を撮影する。Fn(ファンクション)やMENUで多彩な機能を設定できる。

**i**  **M** (  マニュアル露出) :

シャッタースピードを手動で設定して動画を撮影する。

**HFR** プログラムオート :

カメラまかせでハイフレームレート動画をオート撮影する。

**HFR** マニュアル露出

シャッタースピードを手動で設定してハイフレームレート動画を撮影する。

### 関連項目

- [おまかせオート\(静止画\)](#)
- [プレミアムおまかせオート\(静止画\)](#)
- [プログラムオート\(静止画/動画\)](#)
- [マニュアル露出\(静止画/動画\)](#)
- [登録呼び出し\(撮影設定1/撮影設定2\)](#)
- [おまかせオート\(動画\)](#)
- [スーパースローモーション撮影をする\(ハイフレームレート\)](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## オート撮影の特徴

本機には「おまかせオート」、「プレミアムおまかせオート」および「プログラムオート」の3つのオート撮影機能が搭載されています。

### **i** (おまかせオート) :

カメラまかせでシーン認識をして撮影したいときに使います。



### **i+** (プレミアムおまかせオート) :

カメラまかせでシーン認識をして撮影したいとき、特に暗いシーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影したいときに使います。

### **P** (プログラムオート) :

ホワイトバランスやISOなど多彩な撮影機能を自分で調整して撮影したいときに使います。シャッタースピードはカメラが自動で設定します。

### ご注意

- 「プレミアムおまかせオート」では、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。このとき、 (重ね合わせアイコン) が表示され、シャッター音が複数回聞こえることがありますが、記録される画像は1枚です。
- 「プレミアムおまかせオート」で  (重ね合わせアイコン) が表示されているときは、複数枚の撮影が終わるまでカメラを動かさないようにしてください。
- 「おまかせオート」、「プレミアムおまかせオート」の場合、多くの機能が自動設定となり、自分で変更できません。

### 関連項目

- [おまかせオート \(静止画\)](#)
- [プレミアムおまかせオート \(静止画\)](#)
- [プログラムオート \(静止画/動画\)](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## おまかせオート（静止画）

カメラまかせでシーン認識をして、静止画を撮影します。

① MENU→1（撮影設定1）→ [撮影モード] → [おまかせオート] を選ぶ。

② 被写体にカメラを向ける。

シーンを認識すると、シーン認識マークが表示される。



③ SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてピントを合わせてから、SHUTTER/MOVIEボタンを深く押し込んで撮影する。

### ご注意

- 状況により、シーンはうまく認識されない場合があります。
- [おまかせオート] の場合、多くの機能が自動設定となり、自分で変更できません。

### 関連項目



- [オート撮影の特徴](#)
- [シーン認識について](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## おまかせオート（動画）

---

カメラまかせで動画をオート撮影できます。

- 1 MENU →  1（撮影設定1） → [撮影モード] → （おまかせオート）を選ぶ。
  - 2 SHUTTER/MOVIEボタンを押して、撮影を開始する。
  - 3 もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押して、終了する。
- 

### 関連項目


- [動画撮影](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2


## プレミアムおまかせオート（静止画）

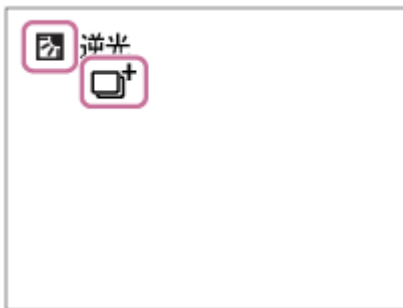
カメラまかせでシーン認識をして静止画を撮影します。特に暗いシーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影します。

暗いシーンや逆光のシーンでは、必要に応じて複数枚撮影し重ね合わせ処理をすることにより、おまかせオートよりも高画質に仕上げます。

1 MENU →  1（撮影設定1） → [撮影モード] → [プレミアムおまかせオート] を選ぶ。


2 被写体にカメラを向ける。

シーンを認識すると、シーン認識マークが表示される。必要に応じて （重ね合わせ）が表示される。



3 SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてピントを合わせてから、SHUTTER/MOVIEボタンを深く押し込んで撮影する。

### ご注意

- 重ね合わせ撮影をするときは、通常よりも記録処理に時間がかかります。
- （重ね合わせアイコン）が表示されているときは、複数枚の撮影が終わるまでカメラを動かさないようにしてください。
- 状況によっては、シーンはうまく認識されない場合があります。
- [ファイル形式] が [RAW] または [RAW+JPEG] のときは重ね合わせ撮影は行われません。
- [プレミアムおまかせオート] の場合、多くの機能が自動設定となり、自分で変更できません。

### 関連項目

- [オート撮影の特徴](#)
- [シーン認識について](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## シーン認識について










---

[おまかせオート] や、[プレミアムおまかせオート] では、シーン認識が働きます。

これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。

### シーン認識

シーンを認識すると上段に下記のマークとガイドが表示されます。

-  (人物)
-  (赤ちゃん)
-  (夜景&人物)
-  (夜景)
-  (逆光&人物)
-  (逆光)
-  (風景)
-  (スポットライト)
-  (低照度)

---

### 関連項目

- [おまかせオート \(静止画\)](#)
- [プレミアムおまかせオート \(静止画\)](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## プログラムオート（静止画/動画）

---

露出（シャッタースピード）は本機が自動設定します。

[ISO感度]などの撮影機能を好みの設定に変更できます。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→ [撮影モード] → [プログラムオート] または [ プログラムオート] を選ぶ。
- 2 撮影機能を希望の設定にする。
- 3 SHUTTER/MOVIEボタンを押して撮影する。
  - 動画の撮影を終了するには、もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押します。

---

### 関連項目


- [オート撮影の特徴](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## マニュアル露出（静止画/動画）

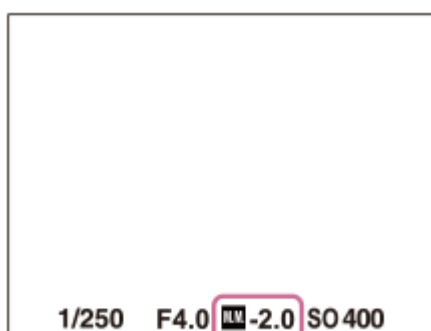
シャッタースピードを調節して、自分の好みの露出で撮影できます。動画撮影中もシャッタースピードを変更できます。

1 MENU→ 1（撮影設定1）→ [撮影モード] → [マニュアル露出] または [ マニュアル露出] を選ぶ。

2 MENU→ 1（撮影設定1）→ [シャッタースピード] を選ぶ。

3 左/右ボタンで設定値を選び、（決定）ボタンを押す。

[ISO感度] が [ISO AUTO] 以外の場合、「M.M.」（メータードマニュアル）で露出値を確認する。



+側：明るく写る。

-側：暗めに写る。

0：本機が判断した適正露出。

4 SHUTTER/MOVIEボタンを押して撮影する。

- 動画の撮影を終了するには、もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押します。

### ご注意

- 本機の絞り値はF4.0固定です。
- [ISO感度] を [ISO AUTO] に設定したときには、設定したシャッタースピードで適正露出になるようにISO感度が変化します。設定した値で適正露出にならないと本機が判断した場合は、ISO感度の表示が点滅します。
- [ISO感度] を [ISO AUTO] にしたときは、メータードマニュアルは表示されません。
- メータードマニュアルの測光範囲を超えている場合は、メータードマニュアルの値が点滅します。
- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

### 関連項目






- [シャッタースピード](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 登録呼び出し（撮影設定1/撮影設定2）





よく使うモードやカメラの設定の組み合わせを [ 1/ 2 の登録 ] であらかじめ登録しておき、呼び出して使うことができます。

- 1 MENU → 1（撮影設定1） → [ 撮影モード ] → [ 登録呼び出し ] を選ぶ。
- 2 左/右ボタンで希望の番号を選び、 （決定）ボタンで決定する。
  - MENU → 1（撮影設定1） → [ 1/ 2 の呼び出し ] で呼び出すこともできます。

### ヒント

- メモリーカードに登録された設定を呼び出すには、 [  1/ 2 の呼び出し ] を選んで、左/右ボタンで好みの番号を選択してください。
- 他の同型名の機種でメモリーカードに登録された設定を、本機で呼び出すこともできます。

### ご注意

- 撮影に関する設定を行ったあとで [ 1/ 2 の呼び出し ] を行うと、呼び出された [ 1/ 2 の登録 ] の値が優先され、最初に行った設定が無効になる場合があります。モニターで設定値を確認してから撮影してください。

### 関連項目

- [登録（撮影設定1/撮影設定2）](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## HFR（ハイフレームレート）：露出モード

---


撮りたい被写体や効果に合わせて、HFR撮影時の露出モードを選んで撮影します。

① MENU →  2（撮影設定2） → [  露出モード ] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

 プログラムオート：

露出（シャッタースピード）は本機が自動設定する。

 マニュアル露出：

露出（シャッタースピード）を手動設定する。

---

### 関連項目

- [スーパースローモーション撮影をする（ハイフレームレート）](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 水中で撮る

本機は水中でも使用できます。水中は、明るさやホワイトバランスが通常の撮影環境とは異なります。本機を使って水中で撮影を行うときは、以下のように設定して撮影することをおすすめします。

### シャッタースピードを速くする（静止画）

水中は、屋外であっても通常の撮影環境よりも被写体が暗くなります。水中撮影では、手ブレや被写体ブレが起こりやすくなるため、シャッタースピードを速くしてください。

- [撮影モード] が [プログラムオート] のときは、[ISO AUTO低速限界] を [より高速] に設定するか、[ISO感度] を高くすると、シャッタースピードが速くなります。
- [撮影モード] が [マニュアル露出] のときは、[シャッタースピード] を速い数値に設定してください。

ISO感度が低いと、シャッタースピードが遅くなります。

- シャッタースピードを速くするために、[ISO AUTO] 時は [ISO AUTO 上限] をより高感度に設定してください。

### [ホワイトバランス] の設定を変更する（静止画/動画）

水中では、通常の撮影環境とホワイトバランスが異なります。

- [ホワイトバランス] を [水中オート] に設定してください。

#### ご注意

- 本書に記載された光学に関する数値は、空気中での値です。水中ではピントが合う最短の撮影距離が約1.3倍に伸び、画角が約3割狭くなります。
- 水中ではワイヤレス機能は使えません。

#### 関連項目

- [ISO感度設定 : ISO感度](#)
- [ISO感度設定 : ISO AUTO低速限界](#)
- [シャッタースピード](#)
- [ホワイトバランス](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ファイル形式（静止画）

静止画を記録するときのファイル形式を設定します。

① MENU →  1（撮影設定1） → [ ファイル形式] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### RAW :

現像処理前のデータが記録される。専門的な用途に合わせて、パソコンで加工するときを選ぶ。

#### RAW+JPEG :

RAW画像とJPEG画像が同時に記録される。閲覧用にはJPEG画像、編集用にはRAW画像を使うなど、両方の画像を記録したい場合に便利。

#### JPEG :

画像がJPEG形式で記録される。

### RAWについて

- 本機で撮影したRAW画像を開くにはImaging Edgeが必要です。このソフトウェアを使えば、RAW画像を開いたあと、JPEGやTIFFのような一般的なフォーマットに変換したり、ホワイトバランス、彩度、コントラストなどを再調整することができます。
- RAW形式の画像には、[オートHDR]、[ピクチャーエフェクト]を設定できません。
- 本機で撮影するRAW画像は圧縮RAW形式で記録されます。

#### ご注意

- パソコンでの加工を予定していない場合は、JPEG形式で記録することをおすすめします。
- RAW画像には、DPOF（プリント予約）指定できません。

### 関連項目

- [JPEG画質（静止画）](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## JPEG画質（静止画）

[ファイル形式] で [RAW+JPEG] または [JPEG] を選んだときの、JPEG画像の画質を設定します。

① MENU →  1（撮影設定1） → [ JPEG画質] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### エクストラファイン/ファイン/スタンダード：

[エクストラファイン]、[ファイン]、[スタンダード] の順に圧縮率が高くなるため、データ量が小さくなる。1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は劣化する。

### 関連項目

- [ファイル形式（静止画）](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## JPEG画像サイズ（静止画）

画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも精細にプリントできます。小さくすると、たくさん撮影できます。

① MENU →  1（撮影設定1） → [ JPEG画像サイズ] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

[ 横縦比] が [3:2] のとき

L: 15M : 4800×3200画素

M: 7.7M : 3408×2272画素

S: 3.8M : 2400×1600画素

[ 横縦比] が [4:3] のとき

L: 14M : 4272×3200画素

M: 6.9M : 3024×2272画素

S: 3.4M : 2128×1600画素

VGA : 640×480画素

[ 横縦比] が [16:9] のとき

L: 13M : 4800×2704画素

M: 6.5M : 3408×1920画素

S: 3.2M : 2400×1352画素

[ 横縦比] が [1:1] のとき

L: 10M : 3200×3200画素

M: 5.2M : 2272×2272画素

S: 2.6M : 1600×1600画素

### ご注意

- [ ファイル形式] が [RAW]、[RAW+JPEG] のとき、RAW画像の画像サイズはL相当となります。



### 関連項目

- [横縦比（静止画）](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 横縦比（静止画）

静止画の横縦比を設定します。

① MENU →  1（撮影設定1） → [ 横縦比] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

**3:2 :**

35mm判フィルムと同じ横縦比。

**4:3 :**

ハイビジョン非対応のテレビでの観賞に適した横縦比。

**16:9 :**

ハイビジョンテレビでの鑑賞に適した横縦比。

**1:1 :**

横と縦の比率が同じ。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## フォーカスモード

静止画/動画に応じてピント合わせの方法を選べます。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [フォーカスモード] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### **AF-S** (シングルAF) :

SHUTTER/MOVIEボタンを半押しして、自動でピントを合わせる。SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししている間は、ピントが固定される。動画モードで撮影開始前に[シングルAF]でピントを合わせたあと、撮影中はこのピント位置で固定されます。

#### **PF** (プリセットフォーカス) :

広い範囲で良好な解像度が得られるピント位置で固定される。細かなフォーカス操作をせずに動画を撮影できます。被写体までの距離が近い場合は、NEARモードを使います。動画撮影時のみ選択できます。

#### **MF** (マニュアルフォーカス) :

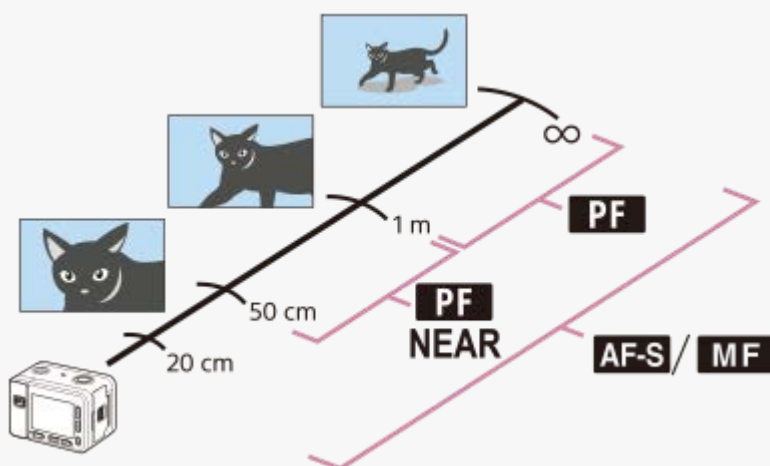
ピント合わせを手動で行う。

以下のURLもあわせてご覧ください。

<https://support.d-imaging.sony.co.jp/support/dsc/products/dscrx0m2/focus/l/index.php>

### ご注意

- 被写体までの距離が短い場合、レンズに付着したごみや指紋が写り込むことがあります。柔らかい布などを使って、レンズを拭いてください。
- 静止画撮影時は[プリセットフォーカス]を選択できません。
- [プリセットフォーカス]のNEARモードにした場合、最短撮影距離は50cmです。20~50cmで撮影したい場合は、[シングルAF]もしくは[マニュアルフォーカス]を選んでください。



### 関連項目

- [プリセットフォーカス](#)
- [マニュアルフォーカス](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## フォーカスエリア

ピント合わせの位置を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [フォーカスエリア] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### ワイド：

モニター全体を基準に、自動ピント合わせをする。SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししたときには、ピントが合ったエリアに緑色の枠が表示される。

#### 中央：

モニター中央付近の被写体に自動ピント合わせをする。フォーカスロックと併用して好きな構図で撮影が可能。



#### フレキシブルスポット：

モニター上の好きなところにフォーカス枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。

#### 拡張フレキシブルスポット：

フレキシブルスポットの周囲のフォーカスエリアをピント合わせの第2優先エリアとして、選んだ1点でピントが合わせられない場合に、この周囲のフォーカスエリアを使ってピントを合わせる。

### ヒント

- [フォーカスエリア] が [フレキシブルスポット] または [拡張フレキシブルスポット] のときに、[フォーカススタンダード] を割り当てた  (決定) ボタンを押すと、上/下/左/右ボタンでフォーカス枠の位置を変更しながら撮影できます。上/下/左/右ボタンを使って撮影設定などを変更する場合は、 (決定) ボタンを押してください。
- [ワイド] で被写体にピントが合わない場合は、[中央] にしてピントを合わせたい被写体にフォーカス枠を合わせ、SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてピントを固定してください。そのまま撮りたい構図に戻して撮影してください(フォーカスロック)。

### ご注意

- フォーカス枠の移動中は、上/下/左/右ボタンに割り当てられた機能を実行できません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2


## フォーカスエリア限定

使用するフォーカスエリアの種類をあらかじめ限定することで、[フォーカスエリア] 選択時に目的の設定をすばやく選択できます。

1 MENU →  1 (撮影設定1) → [フォーカスエリア限定] → 使用するフォーカスエリアにチェックマークを入れ、[OK] を選ぶ。

✓ がついている項目が選択できるフォーカスエリアになる。

### ご注意

- チェックマークを外したフォーカスエリアは、MENUやFn (ファンクション) メニューから選択できなくなります。選択するには、再度 [フォーカスエリア限定] でチェックマークをつけてください。
- [ 縦横フォーカスエリア切換] で登録されているフォーカスエリアのチェックマークを外した場合は、登録内容が変更されます。

### 関連項目

- [フォーカスエリア](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 縦横フォーカスエリア切換（静止画）

カメラのポジション（横位置/縦位置）ごとに、[フォーカスエリア]とフォーカス枠の位置を使い分けるかどうかを設定することができます。人物のポートレートやスポーツシーンの撮影時など、カメラのポジションを頻繁に変えながら撮影したい場合に便利です。

① MENU →  1（撮影設定1） → [ 縦横フォーカスエリア切換] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

しない：

横位置撮影時と縦位置撮影時で、[フォーカスエリア]の設定とフォーカス枠の位置を使い分けない。

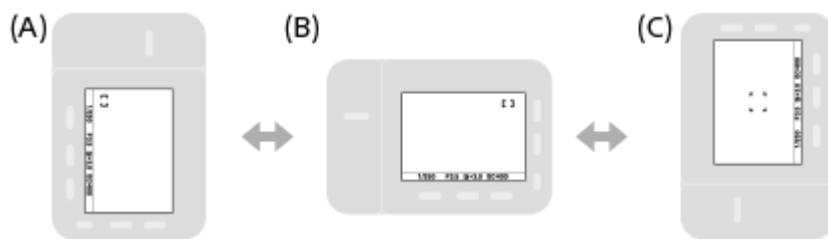
フォーカス位置のみ：

横位置撮影時と縦位置撮影時で、フォーカス枠の位置を使い分ける。[フォーカスエリア]の設定は使い分けない。

フォーカス位置+フォーカスエリア：

横位置撮影時と縦位置撮影時で、[フォーカスエリア]の設定とフォーカス枠の位置を使い分ける。

### [フォーカス位置+フォーカスエリア]の例








(A) 縦位置：[フレキシブルスポット]（左上）

(B) 横位置：[フレキシブルスポット]（右上）

(C) 縦位置：[中央]

- カメラのポジションは、横位置、縦位置（SHUTTER/MOVIEボタン側が上）、縦位置（SHUTTER/MOVIEボタン側が下）の3通りで区別されます。

### ご注意

- [ 縦横フォーカスエリア切換]の設定を変えると、ポジションごとの設定は引き継がれません。
- [ 縦横フォーカスエリア切換]を[フォーカス位置+フォーカスエリア]または[フォーカス位置のみ]に設定していても、下記の場合は、[フォーカスエリア]とフォーカス枠の位置はポジションごとに変更されません。
  - 撮影モードが[おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]、[ おまかせオート]、[ プログラムオート]、[ マニュアル露出]、[ハイフレームレート]
  - SHUTTER/MOVIEボタン半押し中
  - 動画撮影中
  - デジタルズーム使用中
  - オートフォーカス動作中
  - 連続撮影中
  - セルフタイマーのカウントダウン中
- カメラを縦位置に構えたまま電源を入れ、直後に撮影すると、最初の1枚のみ横位置のフォーカス設定、または前回のフォーカス設定で撮影されます。
- レンズが上や下を向いている状態では、カメラは縦横を判別しません。

---

## 関連項目

- [フォーカスエリア](#)

4-748-164-01(1) Copyright 2019 Sony Corporation



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

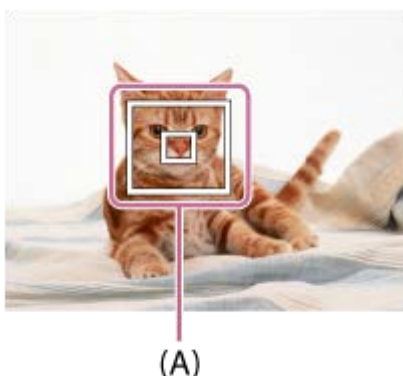
## ● ボタン押しトラッキング

● (決定) ボタンを押すことで画面中央にある被写体を検出し、その被写体を追尾し続けます。

1 MENU →  1 (撮影設定1) → [ ● ボタン押しトラッキング ] → [入] を選ぶ。

2 ターゲット枠 (A) を被写体に合わせて、● (決定) ボタンを押す。  
追尾を解除する場合は、もう一度 ● (決定) ボタンを押す。

- 被写体を見失っても、再度被写体が見れると発見し復帰することができます。



3 SHUTTER/MOVIEボタンを押し込み撮影する。

### ヒント

- カスタムキー機能を使って、● (決定) ボタンに [フォーカススタンダード] の機能を割り当てておくと、[フォーカスエリア] が [ワイド] または [中央] のときに ● (決定) ボタンを押すことで、[ ● ボタン押しトラッキング ] を起動したり被写体の検出をやり直したりできます。

### ご注意

- 以下のときは、[ ● ボタン押しトラッキング ] 機能がうまく働かないことがあります。
  - 動きが速すぎる被写体
  - 小さすぎる、または大きすぎる被写体
  - 被写体と背景のコントラストが弱い場合
  - 暗いシーン
  - 明るさが変わるシーン
- 以下のときは、[ ● ボタン押しトラッキング ] 機能は働きません。
  - マニュアルフォーカス時
  - ズーム中
  - 動画撮影時
  - ハイフレームレート撮影時
- 追尾している被写体を見失って一定時間経過後は復帰できないことがあります。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 顔/瞳AF設定

人の顔や瞳を優先してピントを合わせるかどうかなどを設定するとき使用する機能です。

1 MENU→1 (撮影設定1) → [顔/瞳AF設定] →希望の設定項目を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### AF時の顔優先：

オートフォーカスのときに、フォーカスエリア内にある人の顔を検出して瞳にピントを合わせる（瞳AF）かどうかを設定する。（[入] / [切]）

#### 右目/左目選択：

検出する瞳を選択する。[右目] または [左目] に設定した場合は、選択した方の瞳のみ検出されます。

[オート]：カメラが自動で検出する。

[右目]：被写体の右目（撮影者側から見て左側の目）を検出する。

[左目]：被写体の左目（撮影者側から見て右側の目）を検出する。

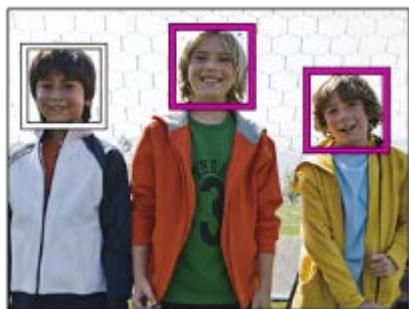
#### 顔検出枠表示：

[AF時の顔優先] が [入] のときに、顔検出枠を表示するかどうかを設定する。（[入] / [切]）

### 顔検出枠について

顔を検出すると、灰色の顔検出枠が表示され、オートフォーカス可能と判断されると枠が白色になります。

[個人顔登録] で優先順位を設定している場合、被写体の中で一番優先順位が高い顔が自動で選択され顔検出枠が白色になります。それ以外の登録されている顔の検出枠は赤紫色になります。





### 瞳検出枠について

瞳を検出し、オートフォーカス可能と判断されると、設定によっては白色の瞳検出枠が表示されます。

### カスタムキーの [瞳AF]

カスタムキー機能を使って、●（決定）ボタンに [瞳AF] を割り当てて使用することもできます。ボタンを押している間だけ人の瞳にピントを合わせることができます。[フォーカスエリア] の設定にかかわらず、一時的に画面全体で瞳AFを使用したいときに便利です。

例えば [フォーカスエリア] が [フレキシブルスポット] で、フォーカス枠外の瞳にピントを合わせたいとき、カスタムキーの瞳AFを使えば、[フォーカスエリア] を変更することなく瞳AFを使用できます。

1. MENU→2 (撮影設定2) → [ カスタムキー] → ●（決定）ボタンに [瞳AF] の機能を設定する。
2. 人物の顔に本機を向け、●（決定）ボタンを押す。
3. ●（決定）ボタンを押したままSHUTTER/MOVIEボタンを押す。

## カスタムキーの [右目/左目切換]

[右目/左目選択] が [右目] または [左目] のとき、[右目/左目切換] を割り当てたカスタムキーを押すたびに検出する瞳の左右を切り換えることができます。

[右目/左目選択] が [オート] のときは、[右目/左目切換] を割り当てたカスタムキーで一時的に検出する瞳の左右を切り換えることができます。

以下の操作などを行うと、一時的な左右の選択は解除され、カメラが自動的に瞳を検出する状態に戻ります。

- SHUTTER/MOVIEボタンの半押しをやめる
- [瞳AF] を割り当てた ● (決定) ボタンを押すのをやめる
- Fnボタン、MENUボタンを押す

### ヒント

- [右目/左目選択] で [オート] 以外を設定しているとき、またはカスタムキーで [右目/左目切換] を実行したときは、瞳検出枠が表示されます。
- 顔や瞳にピントが合ったあと、一定時間で顔検出枠や瞳検出枠を非表示にしたいときは、[フォーカスエリア自動消灯] を [入] に設定します。

### ご注意

- 以下のときは、[瞳AF] がうまく働かないことがあります。
  - メガネ (サングラス) をかけた状態
  - 前髪がかかった状態
  - 低照度、逆光時
  - 目を閉じた状態
  - 影がかかった状態
  - ピントが大きくずれた状態
  - 被写体の動きが大きいとき
- 被写体の動きが大きいときは、瞳検出枠の表示がずれることがあります。
- 状況によっては、瞳にピントを合わせられない場合があります。瞳にピントを合わせられないときは、顔を検出して顔にピントを合わせます。人物の顔を検出できない場合、瞳AFは使用できません。
- 状況によっては、顔が検出できなかつたり、顔以外を誤検出することがあります。
- 動画撮影モードやハイフレームレートモードのときは、[瞳AF] は使用できません。
- 以下のときは、顔検出/瞳検出機能は使えません。
  - ズーム
  - [ピクチャーエフェクト] が [ポストリゼーション]
  - ハイフレームレート撮影時
- 以下のときは、顔検出機能は使えません。
  - 動画撮影時で [記録設定] が [120p] のとき
- 最大8人の顔を検出できます。
- [顔検出枠表示] を [切] にしていても、ピントが合った顔には緑色のフォーカス枠が表示されます。
- 撮影モードが [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート] の場合、[AF時の顔優先] は [入] になります。

### 関連項目

- [フォーカスモード](#)
- [フォーカスエリア](#)
- [フォーカスエリア自動消灯](#)


- よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー）

4-748-164-01(1) Copyright 2019 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## フォーカスエリア自動消灯

フォーカスエリア表示を常に表示するか、ピントが合ったあと一定時間経過後に非表示にするかを設定します。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [フォーカスエリア自動消灯] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

入：

ピントが合ったあと一定時間経過後にフォーカスエリア表示を非表示にする。

切：

フォーカスエリア表示を常に表示する。

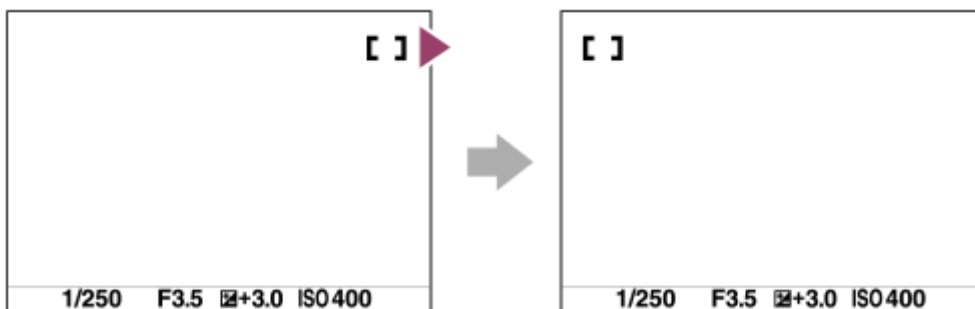
デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## フォーカス位置の循環

【フォーカスエリア】が【フレキシブルスポット】または【拡張フレキシブルスポット】でフォーカス位置を選択するときに、一番端のフォーカス位置から反対側のフォーカス位置に循環して移動できるようにするかどうかを設定します。フォーカス位置を端から端にすばやく移動させたい場合に便利です。

1 MENU →  1 (撮影設定1) → 【フォーカス位置の循環】 → 希望の設定を選ぶ。

【循環する】の場合：



### メニュー項目の詳細

#### 循環しない：

フォーカス位置選択時に、一番端のフォーカス位置でさらにカーソルを動かしてもカーソルは移動しない。

#### 循環する：

フォーカス位置選択時に、一番端のフォーカス位置でさらにカーソルを動かすと反対側の端に移動する。

### 関連項目

- [フォーカスエリア](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## PF時のNEARモード

---

[プリセットフォーカス] 時のNEARモードを設定します。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [PF時のNEARモード] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細


切：

カメラからの距離が約1m以上の被写体を撮るときに使う。

入：

カメラからの距離が約50cmから1mの被写体を撮るときに使う。

#### ヒント

- [  カスタムキー ] で ● (決定) ボタンに [フォーカススタンダード] が割り当てられているときは、[プリセットフォーカス] 時に ● (決定) ボタンを押すことでも [入] と [切] を切り換えることができます。

---


### 関連項目

- [プリセットフォーカス](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## フォーカスロック

オートフォーカス時に、希望の被写体にピントを固定して撮影します。

- 1 MENU→1 (撮影設定1) → [フォーカスモード] → [シングルAF] を選ぶ。
- 2 ピントを合わせたい被写体にフォーカスエリアを合わせ、SHUTTER/MOVIEボタンを半押しする。  
ピントが固定されます。
- 3 SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に戻す。
- 4 SHUTTER/MOVIEボタンを押し込んで撮影する。



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## プリセットフォーカス

広い範囲で良好な解像度が得られるピント位置で固定されます。細かなフォーカス操作をせずに動画を撮影できます。

① MENU→1 (撮影設定1) → [フォーカスモード] → [プリセットフォーカス] を選ぶ。

カメラからの距離が約1m以上の被写体にピントが合う。

- カメラからの距離が約50cmから1mの被写体を撮るときは、[PF時のNEARモード]を[入]に設定してください。

### ご注意

- [プリセットフォーカス]は動画撮影時のみ選択できます。




### 関連項目

- [PF時のNEARモード](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ワンプッシュAF


【ワンプッシュAF】機能を割り当てたカスタムキーを押すと、オートフォーカスによるピント合わせを行います。マニュアルフォーカス時に迅速にフォーカスを合わせたいときに使用します。

1 MENU→2 (撮影設定2) → [カスタムキー] または [カスタムキー] →希望のキーに【ワンプッシュAF】の機能を設定する。

2 【ワンプッシュAF】を割り当てたキーを押す。

【フォーカスエリア】の設定によって表示されるフォーカス枠が変わります。

### ヒント


- 【フォーカスモード】が【マニュアルフォーカス】のときに【ワンプッシュAF】を実行できます。
- 【ワンプッシュAF】は、【左ボタン】、【ボタン】に割り当てることができます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## マニュアルフォーカス

オートフォーカスでピントが合いにくいときに、手動でピントを合わせることができます。

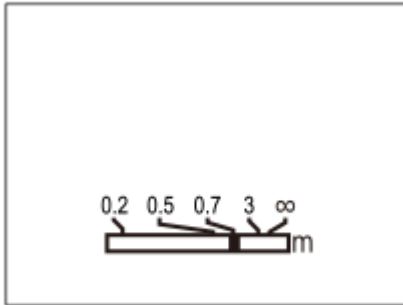
① MENU→1 (撮影設定1) → [フォーカスモード] → [マニュアルフォーカス] を選ぶ。

② MENU→1 (撮影設定1) → [フォーカス設定] を選ぶ。

マニュアルフォーカスの画面になる。

- [  カスタムキー ] または [  カスタムキー ] で ● (決定) ボタンに [フォーカススタンダード] が割り当てられているときは、● (決定) ボタンを押すことでもマニュアルフォーカスの画面になります。

③ 上/下/左/右ボタンを押してピントを調整する。



上/下ボタンを押すと、フォーカスが0.2m ↔ 0.5m ↔ 0.7m ↔ 3m ↔ ∞の位置に移動する。  
左/右ボタンで、フォーカスを微調整できる。

- さまざまな条件下で良好なピント合わせが行えるように、フォーカス位置は無限遠を越えて移動できるようになっています。無限遠撮影時でもフォーカス指標の端まで動かさず、上ボタンを押して止まる∞の位置を目安として、モニターなどを見ながらピント合わせを行ってください。
- ● (決定) ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

### ヒント

- [MFアシスト] を使うと、マニュアルフォーカスのピントの調整時に、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくします。
- [ピーキング設定] を使うと、マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定した色で強調します。ピントを確認しやすくなります。

### ご注意

- [フォーカスモード] を選び直すと、手動で設定したフォーカスの距離は解除されます。

### 関連項目



- MFアシスト
- ピーキング設定




デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## MFアシスト

マニュアルフォーカス撮影でピント合わせをするときに、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくします。

- 1 MENU→1 (撮影設定1) → [MFアシスト] → [入] を選ぶ。
- 2 MENU→1 (撮影設定1) → [フォーカス設定] を選び、上/下/左/右ボタンでピントを調整する。

### ヒント

- 拡大表示する時間は、MENU→1 (撮影設定1) → [ピント拡大時間] で設定できます。

### ご注意

- 拡大倍率は変更できません。

### 関連項目

- [マニュアルフォーカス](#)
- [ピント拡大時間](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ピーキング設定

マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を強調するピーキングの設定をします。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [ピーキング設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### ピーキング表示：

ピーキング表示をするかどうかを設定する。

#### ピーキングレベル：

ピントが合った部分の輪郭を強調するレベルを設定する。

#### ピーキング色：

ピントが合った部分の輪郭を強調する色を選ぶ。

#### ヒント

- ピーキング機能は、[MFアシスト] と併用することをおすすめします。

#### ご注意

- 画像のシャープな部分をピントが合ったと判断するため、被写体によって強調表示効果が異なります。
- HDMI接続時は、接続先の機器にはピーキングが表示されません。

### 関連項目

- [マニュアルフォーカス](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ピント拡大時間

[MFアシスト] 機能で拡大表示する時間を設定します。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [ピント拡大時間] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 2秒：

拡大表示を2秒間行う。

#### 5秒：

拡大表示を5秒間行う。

#### 無制限：

拡大時間を無制限にします。SHUTTER/MOVIEボタンの操作で解除されます。



### 関連項目

- [マニュアルフォーカス](#)
- [MFアシスト](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## AF/MFコントロール

静止画撮影時にオートフォーカスとマニュアルフォーカスを簡単に切り換えることができます。

- 1 MENU→2 (撮影設定2) → [カスタムキー] →希望のボタン→ [押す間AF/MFコントロール] または [再押しAF/MFコントロール] を選ぶ。
- 2 静止画撮影時に、 [押す間AF/MFコントロール] または [再押しAF/MFコントロール] の機能を割り当てたボタンを押す。  
オートフォーカス/マニュアルフォーカスが切り替わる。

### メニュー項目の詳細

#### 押す間AF/MFコントロール：

ボタンを押し続けている間、フォーカスが切り替わる。

#### 再押しAF/MFコントロール：

ボタンを再度押すまで、フォーカスが切り替わる。

#### ご注意






- 動画撮影時は使用できません。
- [左ボタン] には、 [押す間AF/MFコントロール] を設定できません。



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2


## ズームする

画像を拡大して撮影します。

- 1 MENU →  2 (撮影設定2) → [ズーム設定] → 希望の設定を選ぶ。
- 2 MENU →  2 (撮影設定2) → [ズーム] を選ぶ。
  - [  カスタムキー ] または [  カスタムキー ] で好みのボタンに [ズーム] が割り当てられているときは、そのボタンを押すことでもズームを行う画面になります。
- 3 左/右ボタンまたは上/下ボタンを押して希望の倍率を選び、  (決定) ボタンを押す。
  - 左/右ボタンを使うとなめらかにズームし、上/下ボタンを使うと一定の画角で段階的に倍率が変化します。
  - ズームを解除するにはMENUボタンを押します。
- 4 撮影する。

### メニュー項目の詳細

#### スマートズームのみ：

画像を部分的に切り出して、画質を劣化させずに拡大します。[  JPEG画像サイズ ] をM、SまたはVGAにするとスマートズームを使用できます。

#### 全画素超解像ズーム：

全画素超解像ズーム範囲まで使用する場合はこの設定を選びます。スマートズーム範囲を超えても、画質がほとんど劣化しません。




#### デジタルズーム：

全画素超解像ズーム倍率を超えた場合に、画質は劣化するが、最大倍率が大きいズームを行えます。

### 本機で使用できるズームについて

本機では、いくつかのズームを組み合わせることで、高倍率のズームができます。ズームの種類によってモニターに表示されるアイコンが変わります。





1. スマートズーム範囲 (  )  
画像を部分的に切り出して、画質を劣化させずに拡大する。(画像サイズがM、S、VGAのときのみ。)
2. 全画素超解像ズーム範囲 (  )  
画質劣化の少ない画像処理により拡大する。[ズーム設定] を [全画素超解像ズーム] または [デジタルズーム] にすると使用できます。
3. デジタルズーム範囲 (  )  
画像処理により拡大する。[ズーム設定] を [デジタルズーム] にすると使用できます。

### ヒント

- 別売のシューティンググリップ (VCT-SGR1) のズームボタンを押してズーム操作を開始することもできます。

## ご注意

- 以下の場合、ズームは使えません。
  - [ファイル形式] が [RAW] または [RAW+JPEG]
  - [記録設定] が [120p]
- 画質が劣化しない範囲でのみズームしたい場合は、[スマートズームのみ] に設定してください。

---

## 関連項目


- [ズーム倍率について](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー\)](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ズーム倍率について

画像サイズによって、ズーム倍率は変わります。

### 〔横縦比〕が〔3:2〕の場合

 JPEG画像サイズ	ズーム設定		
	スマートズームのみ	全画素超解像ズーム	デジタルズーム
L : 15M	-	約2倍	約4倍
M : 7.7M	約1.4倍	約2.8倍	約5.6倍
S : 3.8M	約2倍	約4倍	約8倍

### 関連項目

- [ズームする](#)
- [JPEG画像サイズ \(静止画\)](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## シャッタースピード

---

マニュアル露出時にシャッタースピードを設定します。

- 1 MENU →  1 (撮影設定1) → [シャッタースピード] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 1/4～1/32000

- 動画撮影時は、1/4秒～1/12800秒の範囲で設定できます。
- 


### 関連項目

- [マニュアル露出 \(静止画/動画\)](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 露出補正

自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると画像全体を明るく、-側に補正すると画像全体を暗くできます（露出補正）。通常は、露出が自動的に設定されます（自動露出）。

1 MENU →  1（撮影設定1） → [露出補正] → 希望の設定を選ぶ。

- 露出補正は-3.0EV～+3.0EVの範囲で設定できます。


### ご注意

- 動画撮影時は-2.0EVから+2.0EVの範囲で調整できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いときは、十分な効果が得られないことがあります。
- [マニュアル露出]時は、[ISO感度]が[ISO AUTO]のときのみ露出補正できます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 測光モード

本機が自動で露出を決めるとき、モニターのどの部分で光を測るか（測光）を設定します。

① MENU →  1（撮影設定1） → [測光モード] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### マルチ：

複数に分割したモニターを各エリアごとに測光し、画面全体の最適な露出を決定する（マルチパターン測光）。

#### 中央重点：

モニターの中央部に重点をおきながら、全体の明るさを測光する（中央重点測光）。

#### スポット：

スポット測光サークル内のみで測光する。画面内の特定の場所を部分的に測光したいときに適している。測光サークルの大きさを [スポット: 標準] と [スポット: 大] から選択できる。測光サークルの位置は [スポット測光位置] の設定によって異なる。

#### 画面全体平均：

画面全体を平均的に測光する。構図や被写体の位置によって露出が変化しにくい。

#### ハイライト重点：

画面内のハイライト部分を重点的に測光する。被写体の白とびを抑えて撮影したいときに適している。

### ヒント

- [スポット] を選んでいる場合、[フォーカスエリア] を [フレキシブルスポット] または [拡張フレキシブルスポット] にして、[スポット測光位置] を [フォーカス位置連動] にすると、スポット測光位置をフォーカスエリアに連動させることができます。
- [マルチ] を選んでいる場合、[マルチ測光時の顔優先] を [入] にすると、カメラが検出した人物の顔の情報を基準に測光を行います。
- [測光モード] を [ハイライト重点] に設定して [Dレンジオブティマイザー] や [オートHDR] を使用すると、明暗の差を細かな領域に分けて分析し、明るさやコントラストが自動補正されます。撮影状況に合わせてご使用ください。

### ご注意

- 以下の撮影モードのときは、[マルチ] に固定されます。
  - [おまかせオート]
  - [プレミアムおまかせオート]
  - ズーム中
- [ハイライト重点] を選択しているとき、撮りたい被写体よりも明るい物が画面内にあると、被写体が暗く写ることがあります。

### 関連項目

- [スポット測光位置](#)
- [マルチ測光時の顔優先](#)
- [Dレンジオブティマイザー（DRO）](#)
- [オートHDR](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## マルチ測光時の顔優先

[測光モード] を [マルチ] に設定しているときに、カメラが検出した人物の顔を基準に測光するかどうかを設定します。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [マルチ測光時の顔優先] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

入：

カメラが検出した顔情報を基準に測光を行う。

切：

顔検出は行わずに [マルチ] で測光を行う。

#### ご注意

- 撮影モードが [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート] の場合、[マルチ測光時の顔優先] は [入] になります。

### 関連項目

- [測光モード](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## スポット測光位置

〔フォーカスエリア〕が〔フレキシブルスポット〕または〔拡張フレキシブルスポット〕のときに、スポット測光位置をフォーカスエリアに連動させるかどうかを設定します。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [スポット測光位置] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 中央：

スポット測光位置がフォーカスエリアに連動せず、常に中央で測光する。

#### フォーカス位置連動：

スポット測光位置がフォーカスエリアに連動する。

#### ご注意

- [フォーカスエリア] が [フレキシブルスポット] または [拡張フレキシブルスポット] 以外の場合は、スポット測光位置は中央に固定されます。





### 関連項目

- [フォーカスエリア](#)
- [測光モード](#)





デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## AEロック

逆光や窓際などでの撮影で、背景と被写体に大きな明暗の差がある場合は、被写体が適正な明るさになる箇所で測光し、露出を固定して撮影します。被写体の明るさを抑えたいときは被写体よりも明るい箇所で測光し、被写体をより明るくしたいときは被写体よりも暗い箇所で測光し、画面全体の露出を固定します。

- 1 MENU→2 (撮影設定2) → [カスタムキー] または [カスタムキー] →希望のボタンに[再押しAEL] を割り当てる。
- 2 露出を合わせる箇所にピントを合わせる。
- 3 [再押しAEL] を割り当てたボタンを押す。  
露出が固定され、 (AEロックマーク) が表示される。
- 4 撮影したい被写体にピントを合わせ直し、撮影する。
  - 露出固定を解除するときは、もう一度[再押しAEL] を設定したボタンを押す。

### ヒント

- 2 (撮影設定2) → [カスタムキー] または [カスタムキー] で  (決定) ボタンに[押し間AEL] を設定すると、ボタンを押している間だけ露出を固定することができます。

### ご注意

- [左ボタン] には、[押し間AEL] を設定できません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## シャッター半押しAEL（静止画）

SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししたときに露出固定を行うかどうかを設定します。  
ピント合わせと露出固定を別々に行いたいときに有効です。

1 MENU →  1（撮影設定1） → [ シャッター半押しAEL] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### オート：

［フォーカスモード］を［シングルAF］にしているとき、SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてオートフォーカス後、露出固定を行う。

#### 入：


SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししたときに、露出固定を行う。

#### 切：

SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししたときに、露出固定を行わない。ピント合わせと露出固定を別々に行いたいときに使う。

［連続撮影］、［速度優先連続撮影］中も露出を合わせ続けます。


#### ご注意

- [ カスタムキー] で [再押しAEL] が割り当てられている場合は、[再押しAEL] を割り当てたボタンによる操作が優先されます。


デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 露出基準調整

カメラの適正露出値の基準を、測光モードごとに調整することができます。


- 1 MENU→ 1 (撮影設定1) → [露出基準調整] → 設定したい測光モードを選ぶ。
- 2 希望の基準値を選ぶ。
  - -1段～+1段の範囲で、1/6段の設定幅で選べます。

## 測光モード

各モードについて設定した基準値は、MENU→ 1 (撮影設定1) → [測光モード] で同じモードを選択したときの自動露出に反映される。

 マルチ /  中央重点 /  スポット /  画面全体平均 /  ハイライト重点

### ご注意

- [露出基準調整] を変更しても、露出補正の設定値は変更されません。
- スポットAEL実行時は、 [ スポット] の露出基準を使用して露出値が固定されます。
- M.M. (メーターマニュアル) の明るさ基準レベルも、[露出基準調整] の設定に合わせて変わります。
- 画像のExif情報には、[露出基準調整] の値が露出補正值とは別に記録されます。露出基準の変更分は、露出補正值に加算されません。
- ブラケット撮影の途中で [露出基準調整] を行うと、ブラケット撮影の枚数カウントはリセットされます。

## 関連項目

- [測光モード](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ゼブラ設定

画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル（IRE）部分に表示するしま模様（ゼブラ）の設定を行います。ゼブラは、明るさを調節するときの目安にすると便利です。

① MENU →  ②（撮影設定2） → [ゼブラ設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### ゼブラ表示：

ゼブラを表示するかどうかを設定する。

#### ゼブラレベル：

ゼブラの輝度レベルを設定する。

#### ヒント

- [ゼブラレベル] の設定値には、輝度レベルを表す数値以外に、露出確認用と白とび確認用の設定を登録することができます。お買い上げ時には [カスタム1] には露出確認用、 [カスタム2] には白とび確認用の設定が登録されています。
- 露出確認用として使用する場合は、ゼブラ表示する輝度レベルの基準値と、その範囲数値を指定します。指定された範囲の輝度部分がゼブラ表示されます。
- 白とび確認用として使用する場合は、ゼブラ表示する輝度レベルの下限値を指定します。指定した数値以上の輝度部分がゼブラ表示されます。

#### ご注意

- HDMI接続時は、接続先の機器にはゼブラが表示されません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ドライブモード

連写やセルフタイマーなど、いろいろな撮影方法を設定できます。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 1枚撮影 :

1枚撮影する。通常の撮影方法。

#### 連続撮影 :

SHUTTER/MOVIEボタンを押している間、連続撮影する。

#### 速度優先連続撮影 :

SHUTTER/MOVIEボタンを押している間、高速で連続撮影する。

#### セルフタイマー :

SHUTTER/MOVIEボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影する。

#### セルフタイマー (連続) :

SHUTTER/MOVIEボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで指定枚数を連続撮影する。

#### 連続ブラケット :

SHUTTER/MOVIEボタンを押し続けることで、露出を段階的にずらして画像を撮影する。

#### 1枚ブラケット :

露出を段階的にずらして、指定した枚数の画像を1枚ずつ撮影する。

#### ホワイトバランスブラケット :

選択されているホワイトバランス・色温度/カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

#### DROブラケット :

Dレンジオプティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

### ご注意

- 以下のときは、連続撮影、ブラケット撮影ができません。
  - [ピクチャーエフェクト] が [ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
  - [DRO/オートHDR] が [オートHDR]
  - [ISO感度] が [マルチショットNR]

### 関連項目

- [連続撮影](#)
- [速度優先連続撮影](#)
- [セルフタイマー](#)
- [セルフタイマー \(連続\)](#)
- [連続ブラケット](#)
- [1枚ブラケット](#)
- [ホワイトバランスブラケット](#)
- [DROブラケット](#)




デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 連続撮影

SHUTTER/MOVIEボタンを押している間、連続して撮影します。

① MENU→1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [連続撮影] を選ぶ。

### ヒント

- 連続撮影中に露出を合わせ続けるには、[シャッター半押しAEL] を [切] にしてください。

### ご注意

- 以下のときは、連続撮影ができません。
  - [ピクチャーエフェクト] が [ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
  - [DRO/オートHDR] が [オートHDR]
  - [ISO感度] を [マルチショットNR] に設定しているとき



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 速度優先連続撮影

SHUTTER/MOVIEボタンを押している間、連続して撮影します。[連続撮影] より高速で連写できます。

- 1 MENU →  1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [速度優先連続撮影] を選ぶ。

### ヒント

- 露出は1枚目で固定されます。
- [速度優先連続撮影] 中に露出を合わせ続けるには、[ シャッター半押しAEL] を [切] に設定してください。

### ご注意

- 連写のコマ間には、撮影された直後の画像が表示されます。
- 以下のときは、連続撮影ができません。
  - [ピクチャーエフェクト] が [ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
  - [DRO/オートHDR] が [オートHDR]
  - [ISO感度] を [マルチショットNR] に設定しているとき

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## セルフタイマー

SHUTTER/MOVIEボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影します。5秒/10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に写るときに、2秒セルフタイマーはSHUTTER/MOVIEボタンを押したときのブレを軽減するときに使います。

1 MENU →  1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [セルフタイマー] を選ぶ。

2 左/右ボタンで希望のモードを選ぶ。

3 ピントを合わせてSHUTTER/MOVIEボタンを押す。

電子音が鳴り、指定の秒数後に撮影が開始される。

### メニュー項目の詳細



SHUTTER/MOVIEボタンを押してから撮影されるまでの秒数を設定する。

 10 セルフタイマー: 10秒

 5 セルフタイマー: 5秒

 2 セルフタイマー: 2秒

#### ヒント

- セルフタイマーのカウントを中止するには、もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押します。
- セルフタイマーを解除するには、MENU →  1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [1枚撮影] を選びます。
- ブラケットモードでセルフタイマー撮影するには、ドライブモードでブラケットを選択したうえで、MENU →  1 (撮影設定1) → [ブラケット設定] → [ブラケット時のセルフタイマー] を選んでください。

### 関連項目

- [電子音](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## セルフタイマー（連続）

SHUTTER/MOVIEボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで指定枚数を連続撮影します。設定した枚数の中からお気に入りの1枚を選べます。

1 MENU →  1（撮影設定1） → [ドライブモード] → [セルフタイマー（連続）] を選ぶ。


2 左/右ボタンで希望のモードを選ぶ。


3 ピントを合わせてSHUTTER/MOVIEボタンを押す。


電子音が鳴り、指定の秒数後に撮影が開始される。指定した枚数が連続撮影される。


### メニュー項目の詳細


例えば、[セルフタイマー(連続): 10秒後 3枚] を選択すると、SHUTTER/MOVIEボタンを押して10秒後に、3枚連写する。


 <sup>G</sup><sub>10s</sub> セルフタイマー(連続): 10秒後 3枚

 <sup>G</sup><sub>10s</sub> セルフタイマー(連続): 10秒後 5枚


 <sup>G</sup><sub>5s</sub> セルフタイマー(連続): 5秒後 3枚

 <sup>G</sup><sub>5s</sub> セルフタイマー(連続): 5秒後 5枚

 <sup>G</sup><sub>2s</sub> セルフタイマー(連続): 2秒後 3枚

 <sup>G</sup><sub>2s</sub> セルフタイマー(連続): 2秒後 5枚

### ヒント

- セルフタイマーのカウントを中止するには、もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押します。
- セルフタイマーを解除するには、MENU →  1（撮影設定1） → [ドライブモード] → [1枚撮影] を選びます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 連続ブラケット

露出を自動的に標準/暗い/明るいの順でずらして撮影します。  
撮影した後に、イメージにあった明るさの画像を選ぶことができます。

1 MENU →  1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [連続ブラケット] を選ぶ。

2 左/右ボタンで希望のモードを選ぶ。

3 ピントを合わせて撮影する。

- 基準の露出は1枚目で設定されます。
- 撮影が終わるまでSHUTTER/MOVIEボタンを押し続けます。

### メニュー項目の詳細

例えば、[連続ブラケット: 0.3EV 3枚] を選択すると、0.3EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして3枚ブラケット撮影する。

#### ご注意

- オートレビューには最後の1枚が表示されます。
- [マニュアル露出] で [ISO AUTO] のときはISO感度を変えて露出値をずらします。[ISO AUTO] 以外の設定ではシャッタースピードを変えて露出値をずらします。
- 露出値を補正しているときは、補正された露出値を基準に露出をずらします。
- 以下の場合、ブラケット撮影できません。
  - 撮影モードが [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]

### 関連項目

- [ブラケット撮影時の設定](#)
- [ブラケット撮影時のインジケータ](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 1枚ブラケット

露出を自動的に標準/暗い/明るいの順でずらして撮影します。撮影した後に、イメージにあった明るさの画像を選ぶことができます。

1枚ずつSHUTTER/MOVIEボタンを押して撮影するので、撮影ごとにピントや構図を合わせたいときなどに便利です。

1 MENU→1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [1枚ブラケット] を選ぶ。

2 左/右ボタンで希望のモードを選ぶ。

3 ピントを合わせて撮影する。

- 1枚ずつSHUTTER/MOVIEボタンを押して撮影します。

### メニュー項目の詳細

例えば、[1枚ブラケット: 0.3EV 3枚] を選択すると、0.3EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ3枚ブラケット撮影する。

#### ご注意

- [マニュアル露出] で [ISO AUTO] のときはISO感度を変えて露出値をずらします。[ISO AUTO] 以外の設定ではシャッタースピードを変えて露出値をずらします。
- 露出値を補正しているときは、補正された露出値を基準に露出をずらします。
- 以下の場合は、ブラケット撮影できません。
  - 撮影モードが [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]


### 関連項目

- [ブラケット撮影時の設定](#)
- [ブラケット撮影時のインジケータ](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ホワイトバランスブラケット

選択されているホワイトバランス・色温度/カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録します。

- 1 MENU →  1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [ホワイトバランスブラケット] を選ぶ。
- 2 左/右ボタンで希望のモードを選ぶ。
- 3 ピントを合わせて撮影する。

### メニュー項目の詳細

 ホワイトバランスブラケット: Lo :

ホワイトバランスの変化が小さい (10MK<sup>-1</sup>\* の幅で) 3枚の画像を記録する。

 ホワイトバランスブラケット: Hi :

ホワイトバランスの変化が大きい (20MK<sup>-1</sup>\* の幅で) 3枚の画像を記録する。

\* MK<sup>-1</sup> : 色温度変換フィルターの色温度変換能力を示すために用いられる単位 (ミレッドと同じ値) 。

#### ご注意

- オートレビューには最後の1枚が表示されます。


### 関連項目

- [ブラケット撮影時の設定](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## DROブラケット

Dレンジオプティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

- 1 MENU→1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [DROブラケット] を選ぶ。
- 2 左/右ボタンで希望のモードを選ぶ。

### メニュー項目の詳細

 DROブラケット: Lo :

Dレンジオプティマイザーの値の変化が小さい3枚の画像を記録する。

 DROブラケット: Hi :

Dレンジオプティマイザーの値の変化が大きい3枚の画像を記録する。

#### ご注意

- オートレビューには最後の1枚が表示されます。

### 関連項目

- [ブラケット撮影時の設定](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ブラケット撮影時の設定

ブラケットモード時のセルフタイマー撮影や、露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定する。

① MENU→1 (撮影設定1) → [ドライブモード] →ブラケットを選ぶ。

② MENU→1 (撮影設定1) → [ブラケット設定] →希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### ブラケット時のセルフタイマー :

ブラケット撮影時にセルフタイマー撮影を行うかどうか設定する。撮影を行う場合、撮影までの秒数を設定する。  
(OFF/2秒/5秒/10秒)

#### ブラケット順序 :

露出ブラケット、ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定する。  
(0→-→+/-→0→+)

### 関連項目

- [連続ブラケット](#)
- [1枚ブラケット](#)
- [ホワイトバランスブラケット](#)
- [DROブラケット](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ブラケット撮影時のインジケータ

ブラケット撮影時は、モニターにブラケットインジケータが表示されます。

### ブラケットインジケータの表示例

定常光\*ブラケットでブラケット幅が0.3EV、ブラケット枚数が3枚のとき、ブラケットインジケータは以下のように表示されます。

\* 定常光：自然光や電球・蛍光灯など、フラッシュ光以外の総称。フラッシュ光が一瞬だけ光るのに対し、常に一定して存在する光なのでこう呼ばれます。

#### 露出補正が±0.0EVの場合



#### M.M. (メータードマニュアル) が-1.0EVの場合



- ブラケット撮影時には、ブラケット撮影枚数分の指標がブラケットインジケータに表示されます。
- ブラケット撮影を開始すると、撮影済みの指標が順に消えていきます。





#### ご注意

- M.M. (メータードマニュアル) はM (マニュアル露出) モードで、[ISO感度] が [ISO AUTO] 以外のときのみ表示されます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## インターバル撮影機能

あらかじめ設定した撮影間隔と撮影回数で、静止画撮影を自動で繰り返し行います（インターバル撮影）。パソコン用ソフトウェアImaging Edgeを使うと、インターバル撮影で撮影した静止画から動画を作成することができます。本機では静止画から動画を作成することはできません。

- 1 MENU→ 1（撮影設定1）→ [ インターバル撮影機能] → [インターバル撮影] → [入] を選ぶ。
- 2 MENU→ 1（撮影設定1）→ [ インターバル撮影機能] → 設定したい項目を選択し、希望の設定を選ぶ。
- 3 SHUTTER/MOVIEボタンを押す。  
[撮影開始時間] で設定した時間が経過すると、撮影が始まる。
  - [撮影回数] で設定した回数の撮影が終わると、インターバル撮影の撮影待機画面に戻ります。

### メニュー項目の詳細

#### インターバル撮影：

インターバル撮影を行うかどうかを設定する。（[入] / [切]）

#### 撮影開始時間：

SHUTTER/MOVIEボタンを押してからインターバル撮影を開始するまでの時間を設定する。（1秒～99分59秒）

#### 撮影間隔：

インターバル撮影の撮影間隔（露光開始から次の撮影の露光開始までの時間）を設定する。（1秒～60秒）



#### 撮影回数：

インターバル撮影の撮影回数を設定する。（1回～9999回）

#### AE追従感度：

インターバル撮影中の明るさの変化に対する自動露出の追従感度を設定する。[低] に設定すると、インターバル撮影中の露出の変化がなめらかになります。（[高] / [中] / [低]）

### ヒント

- インターバル撮影中にSHUTTER/MOVIEボタンを押すと、インターバル撮影が終了しインターバル撮影の撮影待機画面に戻ります。
- 通常撮影に戻るには、MENU→ 1（撮影設定1）→ [ インターバル撮影機能] → [インターバル撮影] → [切] を選んでください。
- 撮影開始時点で以下の機能が割り当てられたボタンが押されている場合、インターバル撮影中はボタンを押し続けなくても機能が維持されます。
  - [押す間AEL]
  - [押す間スポットAEL]
  - [押す間AF/MFコントロール]
  - [押す間AWBロック]
- インターバル撮影で撮影した静止画は、再生画面でグループ表示されます。
- インターバル撮影で撮影した静止画を、本機で連続再生できます。動画を作成する場合の完成イメージを確認することができます。
- パソコン用ソフトウェアImaging Edgeを使うと、インターバル撮影で撮影した静止画から動画を作成することができます。詳しくは、以下のURLをご覧ください。  
[https://support.d-imaging.sony.co.jp/app/imagingedge/l/instruction/2\\_3\\_timelapse/index.php](https://support.d-imaging.sony.co.jp/app/imagingedge/l/instruction/2_3_timelapse/index.php)

## ご注意

- バッテリーとメディアの残量によっては、設定した枚数を撮影できない場合があります。USB給電をしながら撮影したり、十分な空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
- インターバル撮影中（SHUTTER/MOVIEボタンを押してから撮影開始時間が経過するまでの間も含む）はMENU操作は行えませんが、カスタムキーに割り当てたシャッタースピード・露出補正・ISO感度の操作は行えます。SHUTTER/MOVIEボタンを押すまではMENU操作も行えます。
- インターバル撮影中は、オートレビューは表示されません。
- [インターバル撮影] が [入] のとき、Wi-Fi接続が無効になります。
- 以下の撮影モードのときは、インターバル撮影ができません。
  - － [おまかせオート]
  - － [プレミアムおまかせオート]

---

## 関連項目

- [Imaging Edgeについて](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ISO感度設定 : ISO感度

光に対する感度は、ISO感度（推奨露光指数）で表します。数値が大きいほど高感度になります。

① MENU →  1（撮影設定1） → [ISO感度設定] → [ISO感度] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### マルチショットNR :

連続撮影により写真を重ね合わせ、ノイズの少ない画像を撮影する。右ボタンを押して設定画面を表示させ、上/下ボタンで希望の数値を選ぶ。

ISO AUTO、ISO 200～ISO 25600の中から希望の数値を選ぶ。


#### ISO AUTO :

カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。

#### ISO 80～ISO 12800 :

お好みの感度をマニュアルで設定する。数値が大きいほど高感度になる。

### ご注意

- [  ファイル形式 ] が [RAW]、[RAW+JPEG] のとき、[マルチショットNR] は設定できません。
- [マルチショットNR] を選んでいるとき、[Dレンジオブティマイザー]、[オートHDR] は使用できません。
- [ピクチャープロフィール] が [切] 以外するとき、[マルチショットNR] は設定できません。
- [ピクチャーエフェクト] が [切] 以外するとき、[マルチショットNR] は設定できません。
- 以下のときは、[ISO AUTO] に設定されます。
  - － [おまかせオート]
  - － [プレミアムおまかせオート]
- ISO125未満の領域は、記録できる被写体輝度の範囲（ダイナミックレンジ）が少し狭くなります。
- ISO感度が高くなるほど、ノイズが増えます。
- 静止画撮影時、動画撮影時、またはHFR撮影時で、選べる設定が異なります。
- 動画撮影時はISO125～ISO12800の範囲で選べます。ISO125よりも小さい設定値の状態では動画撮影を始めると、ISO125に切り替わります。動画撮影を終えると元の設定値に戻ります。
- [マルチショットNR] を使用すると、重ね合わせ処理のため、記録処理に時間がかかります。

### ヒント

- [ISO AUTO] 時に自動設定されるISO感度の範囲を変更できます。[ISO AUTO] を選択したときに、右ボタンを押して、[ISO AUTO 上限] / [ISO AUTO 下限] を選んで希望の数値を設定してください。この設定は [マルチショットNR] の [ISO AUTO] 時にも反映されます。

### 関連項目


- [ISO感度設定 : ISO AUTO低速限界](#)
- [ISO感度設定 : ISO感度範囲限定](#)




デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ISO感度設定 : ISO感度範囲限定

ISO感度をマニュアルで設定するときのISO感度の範囲を限定します。

- 1 MENU→1 (撮影設定1) → [ISO感度設定] → [ISO感度範囲限定] → [下限] または [上限] で希望の数値を選ぶ。

### [ISO AUTO] 時の範囲を設定するには

[ISO AUTO] 時に自動設定されるISO感度の範囲を設定したいときは、MENU→1 (撮影設定1) → [ISO感度設定] → [ISO感度] → [ISO AUTO] を選択して、右ボタンを押して [ISO AUTO 上限] / [ISO AUTO 下限] を選んでください。

#### ご注意

- 設定範囲外のISO感度は選択できなくなります。選択するには、再度 [ISO感度範囲限定] を設定してください。
- [ピクチャープロファイル] の [ガンマ] の設定によって、設定できるISO感度の範囲が変わります。

#### 関連項目

- [ISO感度設定 : ISO感度](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ISO感度設定 : ISO AUTO低速限界

撮影モードがP (プログラムオート) で [ISO AUTO] または [マルチショットNR] の [ISO AUTO] を選択したときに、ISO感度が変わり始めるシャッタースピードを設定できます。

この機能は、動いている被写体を撮影するときに効果的です。手ブレを抑えながら、被写体ブレも軽減することができます。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [ISO感度設定] → [ISO AUTO低速限界] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### FASTER (より高速) /FAST (高速) :

[標準] よりも速いシャッタースピードでISO感度が変わり始めるため、手ブレや被写体ブレを抑えることができる。

#### STD (標準) :

カメラが自動で設定する。

#### SLOW (低速) /SLOWER (より低速) :

[標準] よりも遅いシャッタースピードでISO感度が変わり始めるため、ノイズの少ない写真を撮影できる。

#### 1/32000 ~ 1/4 :

設定したシャッタースピードでISO感度が変わり始める。

### ヒント

- [より高速]、[高速]、[標準]、[低速]、[より低速] でISO感度が変わり始めるシャッタースピードの差は、それぞれ1段分です。

### ご注意

- ISO感度を、[ISO AUTO] 時に設定した [ISO AUTO 上限] まで上げても露出不足になる場合は、適正露出で撮影するために [ISO AUTO低速限界] で設定したシャッタースピードよりも低速になります。


### 関連項目

- [プログラムオート \(静止画/動画\)](#)
- [ISO感度設定 : ISO感度](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## Dレンジオートマイザー (DRO)

被写体や背景の明暗の差を細かな領域に分けて分析し、最適な明るさと階調の画像にします。


① MENU →  1 (撮影設定1) → [DRO/オートHDR] → [Dレンジオートマイザー] を選ぶ。

② 左/右ボタンを押して、希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

 Dレンジオートマイザー: オート:

本機が自動で調整する。

 Dレンジオートマイザー: Lv1 ~ Dレンジオートマイザー: Lv5:

撮影画像の階調を画像の領域ごとに最適化する。Lv1 (弱) ~ Lv5 (強) で最適化レベルを選ぶ。

#### ご注意


- 以下の場合は、[Dレンジオートマイザー] を設定できません。
  - [マルチショットNR] のとき
  - [ピクチャーエフェクト] が [切] 以外のとき
  - [ピクチャープロファイル] が [切] 以外のとき
- [Dレンジオートマイザー] 動作時は、ノイズが目立つ場合があります。特に補正効果を強めるときは、撮影後の画像を確認しながらレベルを選んでください。



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## オートHDR

明るい部分から暗い部分までを表現する範囲（階調）が広がり、適切な明るさで撮ることができます（HDR : High Dynamic Range）。適正露出画像と合成された画像の2枚が記録されます。

- 1 MENU →  1（撮影設定1） → [DRO/オートHDR] → [オートHDR] を選ぶ。
- 2 左/右ボタンを押して、希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

 オートHDR: 露出差オート :

本機が自動で調整する。

 オートHDR: 露出差1.0EV ~ オートHDR: 露出差6.0EV :




被写体の明暗差に応じて露出差を設定する。1.0EV（弱）～6.0EV（強）で最適化レベルを選ぶ。

例：2.0EVでは、-1.0EVの画像、適正露出の画像、+1.0EVの画像の3枚が合成される。

### ヒント

- 一度の撮影で3回シャッターが切られるため、以下に注意してください。
  - 動きや点滅発光などが無い被写体のときに設定する。
  - 構図が変わらないように撮影する。

### ご注意

- [  ファイル形式 ] が、[RAW] または [RAW+JPEG] のときは設定できません。
- 撮影モードが以下のときは、[オートHDR] を設定できません。
  - [おまかせオート]
  - [プレミアムおまかせオート]
- 以下の場合、[オートHDR] を設定できません。
  - [マルチショットNR] のとき
  - [ピクチャーエフェクト] が [切] 以外のとき
  - [ピクチャープロファイル] が [切] 以外のとき
- 撮影後、処理が終わるまで次の撮影はできません。
- 被写体の輝度差の状況や撮影環境によっては思い通りの効果を得られないことがあります。
- コントラストが低いシーンや、大きな手ブレ、被写体ブレが発生した場合は、良好なHDR画像が撮影できていないことがあります。カメラがブレを検出した場合は、再生画像に   を表示してお知らせします。必要に応じて、構図を変えたり、ブレに注意して撮影し直してください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ホワイトバランス

撮影環境での光の色の影響を補正して、白いものを白く写すための機能です。画像の色合いが思った通りにならないときや、色合いを変化させて雰囲気表現したいときに使います。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [ホワイトバランス] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

AWB  AWB  オート /  太陽光 /  日陰 /  曇天 /  電球 /  -1 蛍光灯: 温白色 /  0 蛍光灯: 白色 /  +1 蛍光灯: 昼白色 /  +2 蛍光灯: 昼光色 /  水中オート:

被写体を照らしている光源を選ぶと、選んだ光源に適した色合いになる(プリセットホワイトバランス)。「オート」を選ぶと本機が光源を自動判別し、適した色合いに調整する。



 色温度・カラーフィルター:

光源の色に合わせて設定する(色温度)。写真用のCC(色補正)フィルターと同等の効果が得られる(カラーフィルター)。

 カスタム 1/カスタム 2/カスタム 3:

撮影する光源下で基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する。

### ヒント

- 右ボタンで、微調整画面が表示され、必要に応じて色合いを微調整できます。
- [色温度・カラーフィルター] のときは、右ボタンで色温度の設定画面が表示され、設定できます。もう一度右ボタンを押すと微調整画面が表示され、必要に応じて色合いを微調整できます。
- 選んだ設定で思い通りの色にならないときは、ホワイトバランスブラケット撮影を行います。
- AWB 、AWB  は [AWB時の優先設定] を [雰囲気優先] または [ホワイト優先] に設定したときのみ表示されます。

### ご注意

- 以下のときは、[ホワイトバランス] は [オート] に固定されます。
  - [おまかせオート]
  - [プレミアムおまかせオート]
- 水銀灯やナトリウムランプのみが光源の場合、光の特性上、正確なホワイトバランスが得られません。[カスタム 1] ~ [カスタム 3] のご使用をおすすめします。

### 関連項目

- [基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する \(カスタムホワイトバランス\)](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## AWB時の優先設定

[ホワイトバランス] が [オート] のとき、白熱電球などの光源下で優先する色味を設定します。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [AWB時の優先設定] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

AWB  
STD 標準 :

通常のオートホワイトバランスで撮影する。自然な色合いになるように自動調整する。

AWB  
Ambi 雰囲気優先 :

光源の色味を優先する。暖かみのある雰囲気を出したいときに適している。

AWB  
White ホワイト優先 :

光源の色温度が低いとき、白色の再現を優先する。






### 関連項目

- [ホワイトバランス](#)


デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する（カスタムホワイトバランス）

複数の種類の光源で被写体が照らされている場合などに、より正確な色合いを表現したいときは、カスタムホワイトバランスの使用をおすすめします。3つの設定を登録できます。

- 1 MENU →  1（撮影設定1） → [ホワイトバランス] → [カスタム 1] ~ [カスタム 3] を選び、右ボタンを押す。
- 2  SET を選んで （決定）ボタンを押す。
- 3 白く写したいものが画面中央のサークルを覆うようにカメラを構えて、（決定）ボタンを押す。  
取り込んだ値（色温度とカラーフィルター）が表示される。
  - 右ボタンを押すと微調整画面が表示され、必要に応じて色合いを微調整できます。
- 4 （決定）ボタンを押す。  
登録したカスタムホワイトバランス値が設定された状態で、撮影情報画面に戻る。
  - この操作で登録したカスタムホワイトバランス値は、次に別の値が登録されるまで保持されます。

### ご注意

- [カスタムWBの取り込みに失敗しました] というメッセージが表示されたときは、値が想定外であることを表しています（鮮やかな色の被写体に向けた場合など）。そのまま登録することは可能ですが、設定し直すことをおすすめします。カスタムWB設定エラーとなっている場合、撮影情報画面の  表示がオレンジ色になります（正しく登録された場合は白色になります）。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## シャッターAWBロック（静止画）

〔ホワイトバランス〕が〔オート〕または〔水中オート〕のときに、SHUTTER/MOVIEボタンを押している間ホワイトバランスを固定するかどうかを設定します。

SHUTTER/MOVIEボタン半押し時や連続撮影時に、意図せずホワイトバランスが変わることを防ぐことができます。

① MENU→1（撮影設定1）→〔シャッターAWBロック〕→希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### シャッター半押し：

オートホワイトバランス時でも、SHUTTER/MOVIEボタンを半押し中はホワイトバランスを固定する。連続撮影中も固定される。



#### 連写中：

オートホワイトバランス時でも、連続撮影中はホワイトバランスを1枚目で固定する。

#### 切：



通常のオートホワイトバランス。

### 〔押し間AWBロック〕と〔再押しAWBロック〕について

カスタムキーに〔押し間AWBロック〕または〔再押しAWBロック〕を割り当てることでも、オートホワイトバランス時にホワイトバランスを固定できます。MENU→2（撮影設定2）→〔カスタムキー〕に〔押し間AWBロック〕または〔再押しAWBロック〕を割り当ててください。撮影画面で割り当てたキーを押すと、ホワイトバランスが固定されます。

〔押し間AWBロック〕は、キーを押している間だけオートホワイトバランスの追従を停止しホワイトバランスを固定します。

〔再押しAWBロック〕は、一度キーを押すとオートホワイトバランスの追従を停止しホワイトバランスを固定します。もう一度キーを押すとAWBロックを解除します。

- オートホワイトバランスでの動画撮影時にホワイトバランスを固定したい場合は、MENU→2（撮影設定2）→〔カスタムキー〕に〔押し間AWBロック〕または〔再押しAWBロック〕を割り当ててください。

### 関連項目

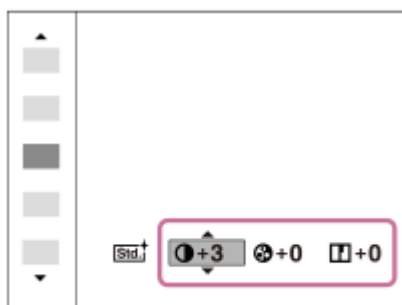
- [ホワイトバランス](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー）](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

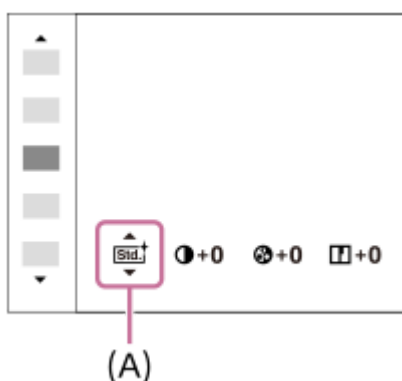
## クリエイティブスタイル

画像の仕上がりを設定でき、各画像スタイルごとにコントラスト、彩度、シャープネスを微調整できます。露出（シャッタースピード）などを好みに応じて調整できます。

- 1 MENU → 1 (撮影設定1) → [クリエイティブスタイル] を選ぶ。
- 2 上/下ボタンで希望のクリエイティブスタイルまたはスタイルボックスを選ぶ。
- 3 (コントラスト)、 (彩度)、 (シャープネス) を調整したいときは、左/右ボタンで希望の項目を選び、上/下ボタンで値を選ぶ。



- 4 スタイルボックスを選んだときは、右ボタンで右側に移動し、希望のクリエイティブスタイルを選ぶ。
  - スタイルボックスを使えば、同じスタイルでも微妙に設定を変えて呼び出すことができます。



(A) : スタイルボックスを選んでいるときのみ表示

### メニュー項目の詳細

#### スタANDARD :

さまざまなシーンを豊かな階調と美しい色彩で表現する。

#### ビビッド :

彩度とコントラストが高めになり、花、新緑、青空、海など色彩豊かなシーンをより印象的に表現する。

#### ニュートラル :

彩度・シャープネスが低くなり、落ち着いた雰囲気表現する。パソコンでの画像加工を目的とした撮影にも適している。

#### クリア :

ハイライト部分の抜けがよく、透明感のある雰囲気に表示する。光の煌めき感などの表現に適している。

**Deep** † **ディープ** :

濃く深みのある色再現にする。重厚感、存在感など、重みのある表現に適している。

**Light** † **ライト** :

明るく、すっきりとした色再現にする。爽快感、軽快感など明るい雰囲気の影響に表現に適している。

**Port** † **ポートレート** :

肌をより柔らかくに再現する。人物の撮影に適している。

**Land** † **風景** :

彩度、コントラスト、シャープネスがより高くなり、鮮やかでメリハリのある風景に再現する。遠くの風景もよりくっきりする。

**Sunset** † **夕景** :

夕焼けの赤さを美しく表現する。

**Night** † **夜景** :

コントラストがやや低くなり、見た目の印象により近い夜景に再現する。

**Autm** † **紅葉** :

紅葉の赤、黄をより鮮やかに表現する。

**B/W** † **白黒** :

白黒のモノトーンで表現する。

**Sepia** † **セピア** :

セピア色のモノトーンで表現する。

**1Std** † **お好みの設定を登録する (スタイルボックス)** :

任意の内容を登録できる6つのスタイルボックス ( **1Std** † のように左側に数字が入っているもの ) を選んで、右ボタンで、希望の設定を選んで登録できる。

スタイルボックスを使えば、同じスタイルでも微妙に設定を変えて呼び出せる。

## 【コントラスト】、【彩度】、【シャープネス】の設定

【コントラスト】、【彩度】、【シャープネス】は、【スタンダード】や【風景】などのプリセットの画像スタイルや、お好みの設定を登録できる【スタイルボックス】ごとに調整できます。

左/右ボタンを押して項目を選び、上/下ボタンで値を設定します。

**1** **コントラスト** :

+側に設定するほど明暗差が強調され、インパクトのある仕上がりになる。

**2** **彩度** :

+側にするほど色が鮮やかになる。-側に設定すれば控えめで落ち着いた色に再現される。

**3** **シャープネス** :

解像感を調整できる。+側に設定すれば輪郭がよりくっきりし、-側に設定すれば柔らかな表現になる。

### ご注意

- 以下のときは、【クリエイティブスタイル】は【スタンダード】に固定されます。
  - 【おまかせオート】
  - 【プレミアムおまかせオート】
  - 【ピクチャーエフェクト】が【切】以外
  - 【ピクチャープロファイル】が【切】以外
- 【白黒】、【セピア】を選択しているときは、【彩度】の調整はできません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ピクチャーエフェクト

好みの効果を選んで、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影できます。

① MENU →  1 (撮影設定1) → [ピクチャーエフェクト] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

 切：

[ピクチャーエフェクト] を使わない。

 ポップカラー：

色合いを強調してポップで生き生きとした仕上がりになる。

 ポスタリゼーション：


原色のみまたは白黒で再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。

 レトロフォト：

古びた写真のようにセピア色でコントラストが落ちた仕上がりになる。

 ソフトハイキー：

明るく、透明感や軽さ、優しさ、柔らかさを持ったような仕上がりになる。

 パートカラー：

1色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。

 ハイコントラストモノクロ：


明暗を強調することで緊張感のあるモノクロに仕上がる。

 ソフトフォーカス：


柔らかな光につつまれたような雰囲気仕上がりになる。

 絵画調HDR：

絵画のように色彩やディテールが強調された仕上がりになる。

 リッチトーンモノクロ：

階調が豊かでディテールも再現されたモノクロに仕上がる。

 ミニチュア：

ミニチュア模型を撮影したように鮮やかでボケの大きな仕上がりになる。

 水彩画調：

にじみやぼかしを加えて水彩画のような効果をつける。

 イラスト調：

輪郭を強調するなどしてイラストのような効果をつける。

### ヒント



- 以下の設定は左/右ボタンで詳細な設定ができます。
  - [ポスタリゼーション]
  - [パートカラー]
  - [ソフトフォーカス]
  - [絵画調HDR]
  - [ミニチュア]
  - [イラスト調]


### ご注意

- [パートカラー] のとき、被写体や撮影条件によっては設定した色が残らないことがあります。
- 以下のときは撮影後に画像処理を行うため、撮影画面で効果を確認できません。撮影後、処理が終わるまで次の撮影はできません。また、動画には適用されません。
  - [ソフトフォーカス]



- [絵画調HDR]
  - [リッチトーンモノクロ]
  - [ミニチュア]
  - [水彩画調]
  - [イラスト調]
- [絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ] のときは、1度の撮影で3回シャッターが切られるため、以下に注意してください。
    - 動きや点滅発光などがない被写体のときに設定する
    - 構図が変わらないように撮影する



またコントラストが低いシーンや、大きな手ブレ、被写体ブレが発生した場合は、良好な結果が得られない場合があります。カメラがブレを検出した場合は、再生画像に  /  を表示してお知らせします。必要に応じて、構図を変えたり、ブレに注意して撮影し直してください。

- 撮影モードが [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート] のときは設定できません。
- [ ファイル形式] が [RAW]、[RAW+JPEG] のときは設定できません。


デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2


## 美肌効果（静止画）

顔検出時、被写体の肌をなめらかに撮影する効果を設定します。

① MENU →  1（撮影設定1） → [ 美肌効果] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細




 切：  
美肌効果を使わない。

 入：  
美肌効果をかけて撮影する。

### ヒント

- [入] を選ぶと、美肌効果をかける度合いを選ぶことができます。左/右ボタンで度合いを設定してください。

### ご注意

- [ ファイル形式] が [RAW] のときは設定できません。
- [ ファイル形式] が [RAW+JPEG] のとき、RAW画像には [ 美肌効果] は働きません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 動画の記録フォーマットについて

---

本機で選べる動画の記録フォーマットについて説明します。

### XAVC Sとは

4Kなどの高解像度の映像を、MPEG-4 AVC/H.264で高圧縮してMP4ファイル形式で記録するフォーマットです。データの容量を一定レベルに抑えながら高画質化することができます。

### XAVC S/AVCHD記録フォーマットとその特長

#### XAVC S 4K :

ビットレート：約100 Mbpsまたは約60 Mbps  
4K解像度（3840×2160）で記録できます。

#### XAVC S HD :

ビットレート：約100 Mbps、約60 Mbps、約50 Mbps、約25 Mbps、または約16 Mbps  
AVCHDと比べると情報量が多くなるため、より鮮明な画像を記録できます。

#### AVCHD :

ビットレート：約24 Mbps（最大）または約17 Mbps（平均）  
パソコン以外の保存機器との互換性に優れています。

- ビットレートとは、一定時間あたりの記録データ量です。


---



### 関連項目

- [記録方式（動画）](#)
- [記録設定（動画）](#)
- [AVCHD規格について](#)


デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 記録方式（動画）



動画を記録するときの記録方式を設定します。Wi-Fi接続時は、[  記録方式 ] で [XAVC S 4K] を選ぶことができません。

1 MENU →  2（撮影設定2） → [  記録方式 ] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細


 記録方式	特徴	
XAVC S 4K	4K解像度（3840×2160）で記録できます。	ソフトウェアPlayMemories Homeでパソコンに保存できます。
XAVC S HD	AVCHDと比べると情報量が多くなるため、より鮮明な画像を記録できます。	
AVCHD	パソコン以外の保存機器との互換性に優れています。	ソフトウェアPlayMemories Homeでパソコンに保存または対応メディアを作成できます。



### ご注意

- [  記録方式 ] が [AVCHD] の場合は、1つの動画ファイルは約2GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約2GBになると、自動的に新しいファイルが作成されます。
- [  記録方式 ] を [XAVC S 4K] に設定し、本機をHDMI機器に接続しながら動画を撮影すると、カメラのモニターには画像が表示されません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 記録設定（動画）


動画撮影時のフレームレートとビットレートを設定します。Wi-Fi接続時は、[  記録設定 ] で [120p] を選ぶことができません。

1 MENU →  2（撮影設定2） → [  記録設定 ] → 希望の設定を選ぶ。


- ビットレートが高いほど高画質で撮影できます。

### メニュー項目の詳細


#### [ 記録方式 ] が [XAVC S 4K] のとき

 記録設定	ビットレート	説明
30p 100M	約100 Mbps	3840×2160（30p）で撮影する。
30p 60M	約60 Mbps	3840×2160（30p）で撮影する。
24p 100M	約100 Mbps	3840×2160（24p）で撮影する。
24p 60M	約60 Mbps	3840×2160（24p）で撮影する。

#### [ 記録方式 ] が [XAVC S HD] のとき

 記録設定	ビットレート	説明
60p 50M	約50 Mbps	1920×1080（60p）で撮影する。
60p 25M	約25 Mbps	1920×1080（60p）で撮影する。
30p 50M	約50 Mbps	1920×1080（30p）で撮影する。
30p 16M	約16 Mbps	1920×1080（30p）で撮影する。
24p 50M	約50 Mbps	1920×1080（24p）で撮影する。
120p 100M	約100 Mbps	1920×1080（120p）のハイスピード記録を行う。120 fpsの動画を記録できる。 ● 対応する編集機器を使って、よりなめらかなスローモーション映像を作ることができます。
120p 60M	約60 Mbps	1920×1080（120p）のハイスピード記録を行う。120 fpsの動画を記録できる。 ● 対応する編集機器を使って、よりなめらかなスローモーション映像を作ることができます。

#### [ 記録方式 ] が [AVCHD] のとき

 記録設定	ビットレート	説明
60i 24M(FX)	最大24 Mbps	1920×1080（60i）で撮影する。

記録設定	ビットレート	説明
60i 17M(FH)	平均約17 Mbps	1920×1080 (60i) で撮影する。

### ご注意

- [記録設定] を [60i 24M(FX)] にして撮影した動画からAVCHD記録ディスクを作成すると、画質が変換されるため、ディスク作成に時間がかかります。画質を変換せずに保存したい場合は、ブルーレイディスクをお使いください。
- 以下のとき、[120p] は選べません。
  - － [おまかせオート]
  - － [プレミアムおまかせオート]

---

### 関連項目

- [スーパースローモーション撮影をする \(ハイフレームレート\)](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## プロキシ記録

XAVC S動画を記録するとき、低ビットレートのプロキシ動画を同時に記録するかどうかを設定します。プロキシ動画はファイルサイズが小さいため、スマートフォンへの転送やWebサイトへのアップロードに適しています。

1 MENU →  2 (撮影設定2) → [ プロキシ記録] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細


入：

プロキシ動画を同時に記録する。




切：

プロキシ動画を同時に記録しない。

#### ヒント

- プロキシ動画は、XAVC S HDフォーマット（1280×720）9Mbpsで記録されます。プロキシ動画のフレームレートはオリジナル動画と同じになります。
- 再生画面（1枚再生画面または一覧表示画面）には、プロキシ動画は表示されません。プロキシ動画が同時に記録された動画には、 が表示されます。

#### ご注意


- プロキシ動画は本機では再生できません。
- 下記の場合はプロキシ記録はできません。
  - [ 記録方式] が [AVCHD] のとき
  - [ 記録方式] が [XAVC S HD] で、 [ 記録設定] が [120p] のとき
- プロキシ動画がある動画を削除/プロテクトすると、オリジナル動画とプロキシ動画の両方が削除/プロテクトされます。オリジナル動画だけ、またはプロキシ動画だけを削除/プロテクトすることはできません。
- 本機では動画の編集はできません。


### 関連項目

- [スマートフォン転送機能：転送対象（プロキシ動画）](#)
- [動画の記録フォーマットについて](#)
- [一覧表示](#)
- [使用できるメモリーカード](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## マーカー表示（動画）

動画撮影時に、 [マーカー設定] で設定したマーカーをモニターに表示するかを設定します。

① MENU →  2（撮影設定2） →  [マーカー表示] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

入：

マーカーを表示する。マーカーは記録されない。

切：

マーカーを表示しない。

#### ご注意

- マーカー表示は、動画モード時または動画記録中に表示されます。
- マーカー表示は、モニターのみに表示されます。（外部に出力することはできません。）

### 関連項目



- [マーカー設定（動画）](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## マーカー設定 (動画)

動画撮影時に表示されるマーカーを設定します。

① MENU →  ② (撮影設定2) → [  マーカー設定 ] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### センター :

撮影画面の中心にセンターマーカーを表示するかどうかを設定する。

[切] / [入]

#### アスペクト :

アスペクトマーカー表示の設定をする。

[切] / [4:3] / [13:9] / [14:9] / [15:9] / [1.66:1] / [1.85:1] / [2.35:1]

#### セーフティゾーン :

セーフティゾーン表示の設定をする。一般的な家庭用テレビで受像できる範囲の目安になる。

[切] / [80%] / [90%]

#### ガイドフレーム :

ガイドフレームを表示するかどうかを設定する。被写体が水平/垂直になっているかを確認できる。

[切] / [入]

#### ヒント

- 複数のマーカーを同時に表示できます。
- [ガイドフレーム] の交点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

### 関連項目

- [マーカー表示 \(動画\)](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 記録中モニター消灯（動画）

動画の撮影中、何も操作せずに約1分経過したときに自動的に画面を消灯するかどうかを設定します。

① MENU →  2（撮影設定2） → [  記録中モニター消灯 ] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

**入：**  
自動的に画面を消灯する。

**切：**  
画面を消灯しない。モニターを常に点灯したい場合は [切] に設定する。


#### ヒント

- 消灯中にMENUボタン、上/下/左/右ボタン、●（決定）ボタンのいずれかを押しと再度モニターを点灯できます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 録画ランプ

録画時、被写体に録画ランプの光が映りこむことを防ぐために、録画ランプを消灯させることができます。

① MENU →  ② (撮影設定2) → [録画ランプ] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 全て点灯：

すべての録画ランプを点灯する。

#### 背面のランプのみ点灯：

背面の録画ランプのみ点灯する。

#### 全て消灯：

すべての録画ランプを点灯しない。


### ヒント

- カメラの撮影方向に、ガラスなど光が反射するものがある場合は、点灯するランプの設定を変更してください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 音声記録

動画撮影時に音声を記録するかどうかを設定します。撮影中のカメラの動作音などが記録されるのを防ぎたい場合は「切」を選びます。

**1** MENU →  **2** (撮影設定2) → [音声記録] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

**入：**

撮影時に音声を記録する（ステレオ）。


**切：**

撮影時に音声を記録しない。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 録音レベル

レベルメーターを見ながら録音レベルを調整できます。

① MENU →  2 (撮影設定2) → [録音レベル] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

**+側：**

録音レベルが上がる。

**-側：**

録音レベルが下がる。


**リセット：**

録音レベルを初期値に戻す。

### ヒント

- 大きな音の動画を録画する場合は、[録音レベル] を低めに設定すると臨場感のある音声記録できます。小さな音の動画を録画する場合は、[録音レベル] を高めに設定することで聞きやすい音声で記録できます。


### ご注意

- [録音レベル] の設定値にかかわらず、リミッターは常に作動しています。
- [録音レベル] は撮影モードが動画のときのみ選べます。
- ハイフレームレート撮影時は[録音レベル] は選べません。
- [録音レベル] の調整は、内蔵マイクと  (マイク) 端子入力に対して有効です。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 音声レベル表示

音声レベルを画面に表示するかどうかを設定します。

① MENU →  ② (撮影設定2) → [音声レベル表示] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

**入：**  
音声レベルを表示する。

**切：**  
音声レベルを表示しない。


#### ご注意

- 以下の場合には音声レベルが表示されません。
  - － [音声記録] が [切] のとき
  - － 画面表示が [情報表示 なし] になっているとき
  - － ハイフレームレート撮影時
- 動画モード時のみ、記録前にも音声レベルの表示ができます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 風音低減

内蔵マイクからの入力音声の低域音をカットして、風音を低減できます。

① MENU →  2 (撮影設定2) → [風音低減] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

**入：**  
風音低減する。

**切：**  
風音低減しない。

#### ご注意

- 風が強く吹いていない場所で [入] にすると、風以外の音も小さく記録される場合があります。
- 別売のマイク使用時は、[入] にしていても風音低減は行われません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 手ブレ補正（動画）

動画撮影時の手ブレ補正の設定をします。三脚（別売）を利用するときは、[切] にすると自然な画像になります。




① MENU →  2（撮影設定2） → [ 手ブレ補正] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

入：  
手ブレ補正を行う。

切：  
手ブレ補正を行わない。

#### ご注意

- [ 手ブレ補正] の設定を変更すると、画角が変わります。
- 以下の場合、 [ 手ブレ補正] は [切] に固定されます。
  - PCリモート撮影中
  - ハイフレームレート撮影時
  - [ 記録設定] が [120p]



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## オートスローシャッター（動画）

動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定します。

① MENU →  ②（撮影設定2） → [ オートスローシャッター] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細



**入：**

オートスローシャッターを使う。暗い場所での撮影時、自動的にシャッタースピードが遅くなる。シャッタースピードを遅くすることで、暗い場所を撮影する際に発生する映像のノイズ感を改善することができる。

**切：**



オートスローシャッターを使わない。[入] のときよりも画像が暗くなるが、被写体のブレが少なく、動きがよりなめらかに撮影できる。

#### ご注意

- 以下のときは、 [ オートスローシャッター] は働きません。
  - ハイフレームレート撮影時
  - [ マニュアル露出]
  - [ISO感度] が [ISO AUTO] 以外するとき

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## MOVIE(動画)ボタン

[ カスタムキー] で  (決定) ボタンまたは左ボタンに [MOVIE(動画)] を割り当てているときに、MOVIEボタンとして有効になるモードを設定します。

1 MENU →  2 (撮影設定2) → [MOVIE(動画)ボタン] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 常に有効：

どの状態からでも、ボタンを押すと動画撮影が開始される。

#### 動画モードのみ有効：

動画モード時のみ、ボタンを押すと動画撮影が開始される。

### 関連項目

- よく使う機能をボタンに割り当てる (カスタムキー)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2



## ピクチャープロフィール

撮影する画像の発色、階調などの設定を変更できます。[ピクチャープロフィール]の各項目についてさらに詳しい使いかたは、以下のURLをご覧ください。


<http://helpguide.sony.net/di/pp/v1/ja/index.html>

### ピクチャープロフィールの内容を変更する

[ガンマ]や[ディテール]などを調節して好みの画質設定を作れます。設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

- 1 MENU→1 (撮影設定1) → [ピクチャープロフィール] → 変更したいプロフィールを選ぶ。
- 2 右ボタンを押して、項目一覧に移動する。
- 3 上/下ボタンで、変更したい項目を選ぶ。
- 4 上/下ボタンで希望の設定値を選び、 (決定) ボタンを押す。

### ピクチャープロフィールのプリセットを使う

本機は [PP1] ~ [PP7] に撮影条件に合わせた動画用設定値をあらかじめ登録しています。MENU→1 (撮影設定1) → [ピクチャープロフィール] → 希望の設定を選ぶ。

#### PP1 :

[Movie] ガンマを用いた設定例

#### PP2 :

[Still] ガンマを用いた設定例

#### PP3 :

[ITU709] ガンマを用いた自然な色合いの設定例

#### PP4 :

ITU709規格に忠実な色合いの設定例

#### PP5 :

[Cine1] ガンマを用いた設定例

#### PP6 :

[Cine2] ガンマを用いた設定例

#### PP7 :

[S-Log2] ガンマを用いた設定例

### ピクチャープロフィールの項目について

#### ブラックレベル

黒レベルを設定する。(-15 ~ +15)

#### ガンマ

ガンマカーブを選ぶ。

Movie: 動画用の標準ガンマカーブ

Still: 静止画用の標準ガンマカーブ

Cine1: 暗部のコントラストをなだらかにし、かつ明部の階調変化をはっきりさせて、落ち着いた調子の映像にする (HG4609G33相当)。

Cine2: [Cine1] とほぼ同様の効果が得られるが、編集などにおいてビデオ信号100%以内で扱いたいときは、こちらを選択する（HG4600G30相当）。

ITU709: ITU709相当のガンマカーブ。

ITU709(800%): [S-Log2] 撮影前提のシーン確認用ガンマカーブ。

S-Log2: [S-Log2] のガンマカーブ。撮影後の映像処理を前提とした設定。

## ブラックガンマ

低輝度ガンマ補正をする。

範囲: 補正範囲を選ぶ。（広 / 中 / 狭）

レベル: 補正の強さを設定する。（-7（ブラックコンプレス最大）～ +7（ブラックストレッチ最大））

## ニー

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白飛びを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

[ガンマ] で [Still]、[Cine1]、[Cine2]、[ITU709(800%)]、[S-Log2] を選択しているときは、[モード] を [オート] にしていると [ニー] は無効になる。[モード] を [マニュアル] にすると [ニー] の機能を使用できる。

モード: 自動/手動設定を選ぶ。

- オート: ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。
- マニュアル: ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。

オート設定: [モード] で [オート] を選択した場合の設定。

- マックスポイント: ニーポイントの最大値を設定する。（90% ～ 100%）
- 感度: 感度を設定する。（高 / 中 / 低）

マニュアル設定: [モード] で [マニュアル] を選択した場合の設定。

- ポイント: ニーポイントを設定する。（75% ～ 105%）
- スロープ: ニースロープの傾きを設定する。（-5（傾きが小さい）～ +5（傾きが大きい））

## カラーモード

色の特性を変更する。

Movie: [ガンマ] が [Movie] のときに適した色合い。

Still: [ガンマ] が [Still] のときに適した色合い。

Cinema: [ガンマ] が [Cine1] または [Cine2] のときに適した色合い。

Pro: ソニーの業務用カメラの標準画質に近い色合い（ITU709ガンマと組み合わせた場合）。

ITU709マトリックス: ITU709規格に忠実な色合い（ITU709ガンマと組み合わせた場合）。

白黒: 彩度を0にし、白黒で撮影する。

S-Gamut: [ガンマ] が [S-Log2] のときに使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。

## 彩度

色の鮮やかさを設定する。（-32 ～ +32）

## 色相

色相を設定する。（-7 ～ +7）

## 色の深さ

色相別に輝度を変更する。濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がない。+側にすると暗くなり、色が深く見える。-側にすると明るくなり、色が浅く見える。[カラーモード] を [白黒] にしたときにも有効です。

R（赤）: -7 ～ +7

G（緑）: -7 ～ +7

B（青）: -7 ～ +7

C（シアン）: -7 ～ +7

M（マゼンタ）: -7 ～ +7

Y（黄）: -7 ～ +7

## ディテール

[ディテール] を設定する。

レベル: [ディテール] の強さを設定する。 (-7 ~ +7)

調整: 以下の設定値を手動で選ぶ。

- モード: 自動/手動設定を選ぶ。(オート(自動最適化を行う) / マニュアル(手動詳細設定を行う))
- V/Hバランス: 垂直 (V) / 水平 (H) のバランスを設定する。 (-2 (垂直 (V) が強い) ~ +2 (水平 (H) が強い))
- B/Wバランス: 下側 (B) / 上側 (W) のバランスを選ぶ。(タイプ1 (下側 (B) が強い) ~ タイプ5 (上側 (W) が強い))
- リミット: [ディテール] のリミットレベルを設定する。(0 (リミットレベルが低い (リミットされやすい)) ~ 7 (リミットレベルが高い (リミットされにくい)) )
- クリスポニング: クリスポニングレベルを設定する。(0 (クリスポニングレベルが浅い) ~ 7 (クリスポニングレベルが深い))
- 高輝度ディテール: 高輝度部分の [ディテール] レベルを設定する。(0 ~ 4)


## ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーできます。

MENU →  1 (撮影設定1) → [ピクチャープロファイル] → [コピー] を選ぶ。

## お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

MENU →  1 (撮影設定1) → [ピクチャープロファイル] → [リセット] を選ぶ。

### ご注意

- 動画と静止画で設定値が共通のため、撮影モードを変更した場合は設定値を調節してください。
- RAW画像を「撮影時の設定」で現像した場合、下記の設定は反映されません。
  - ブラックレベル
  - ブラックガンマ
  - ニー
  - 色の深さ
- [ガンマ] を変えると、設定できるISOの範囲が変わります。
- S-Log2ガンマ使用時は他のガンマに比べてノイズが目立ちやすくなります。撮影後映像処理の後でも気になる場合は、明るめに撮影することでノイズを軽減できる場合があります。ただし、明るく撮影した場合にはその分だけダイナミックレンジは狭くなります。S-Log2を使用する場合は事前のテストで画質を確認することを強くおすすめします。
- [ITU709(800%)] または [S-Log2] に設定すると、ホワイトバランスのカスタムセットがエラーになることがあります。このようなときは、一度 [ITU709(800%)] または [S-Log2] 以外のガンマでカスタムセットしてください。そのあと、[ITU709(800%)] または [S-Log2] ガンマに戻してください。
- [ITU709(800%)] または [S-Log2] に設定すると、[ブラックレベル] の設定が無効になります。
- [ニー] の [マニュアル設定] で [スロープ] を +5 に設定すると、[ニー] は無効になります。
- S-Gamutはフィルムカメラに匹敵する広色域を持ったソニー独自のカラースペースですが、本機のS-Gamut設定はS-Gamutの全色域に対応しているわけではなく、S-Gamut相当の色再現を実現するための設定です。




## 関連項目

- [ガンマ表示アシスト](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 登録（撮影設定1/撮影設定2）

よく使うモードやカメラの設定を、本機に3つまで、メモリーカードには4つ（M1～M4）まで登録でき、[撮影モード]の[登録呼び出し]から呼び出せます。

- 1 本機を登録したい設定にする。
- 2 MENU→1（撮影設定1）→ [1/ 2の登録] →希望の番号を選ぶ。

### 登録できる項目

- 撮影に関する様々な機能を登録できます。登録可能な項目は、手順2で確認できます。
- マニュアルフォーカスの設定は登録できません。

### 登録した内容を変更するには

希望する設定に変更し、同じ番号に再登録してください。

#### ご注意

- M1～M4は本機にメモリーカードが挿入されている場合のみ選択できます。

### 関連項目

- [登録呼び出し（撮影設定1/撮影設定2）](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2







## ファンクションメニュー設定

Fn (ファンクション) ボタンを押したときに設定できる機能を選びます。

- 1 MENU →  2 (撮影設定2) → [ファンクションメニュー設定] → 希望の場所に機能を設定する。

### ファンクションメニューの機能を変更するには (ファンクションメニュー設定)

ここでは、ファンクションメニューの [ドライブモード] を [グリッドライン] に変更する手順を説明します。

1. MENU →  2 (撮影設定2) → [ファンクションメニュー設定] を選ぶ。
2. 上/下/右/左ボタンで12個のファンクションメニューのうちの   (ドライブモード) を選び、● (決定) ボタンを押す。
3. 左/右ボタンで [グリッドライン] が表示される画面へ移動し、 [グリッドライン] を選んで ● (決定) ボタンを押す。
  - ファンクションメニューで   (ドライブモード) が設定されていた場所に、  (グリッドライン) が表示されるようになります。



### 関連項目

- [Fn \(ファンクション\) ボタンの使いかた](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## よく使う機能をボタンに割り当てる (カスタムキー)

カスタムキー機能を使って、よく使う機能を自分が操作しやすいボタンに割り当てると便利です。MENUから機能を選択する手順が省略できるため、すばやく機能呼び出すことができます。

カスタムキーには、静止画撮影時の機能 (  カスタムキー)、動画撮影時の機能 (  カスタムキー) をそれぞれ別々に割り当てることができます。

- ボタンによって割り当てられる機能が異なります。

### ヒント

- カスタムキーのほかに、Fnボタンから各機能をダイレクトに設定できるファンクションメニューもあわせてお使いいただくと、さらに効率良く機能呼び出すことができます。このページの最後に記載している「関連項目」から関連機能に移動できます。

ここでは、● (決定) ボタンに [瞳AF] 機能を割り当てる手順を説明します。

#### 1 MENU → 2 (撮影設定2) → [ カスタムキー ] を選ぶ。




- 動画撮影時に呼び出したい機能を設定する場合は [  カスタムキー ] を選びます。

#### 2 [ ● ボタン ] を選んで ● (決定) ボタンを押す。

#### 3 左/右ボタンで [瞳AF] が表示される画面へ移動し、[瞳AF] を選んで ● (決定) ボタンを押す。

- 静止画撮影時に ● (決定) ボタンを押すと、瞳が検出された場合は [瞳AF] が働き、瞳にピントが合いません。● (決定) ボタンを押したままの状態でも撮影をしてください。

### ご注意

- [  カスタムキー ] で [カスタム(  )に従う] が割り当てられているボタンを動画撮影時に押しても、動画撮影時に使用できない機能 ( [  JPEG画質 ] など) が割り当てられている場合は、その機能は使えません。

### 関連項目

- [Fn \(ファンクション\) ボタンの使いかた](#)
- [ファンクションメニュー設定](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 項目の追加


MENUの★（マイメニュー）に、お好みのメニュー項目を登録することができます。

- 1 MENU → ★（マイメニュー） → [項目の追加] を選ぶ。
- 2 上/下/左/右ボタンで、★（マイメニュー）に追加したい項目を選ぶ。
- 3 上/下/左/右ボタンで、追加する位置を選ぶ。

### ヒント

- ★（マイメニュー）には最大30個の項目を追加することができます。

### ご注意

- ★（マイメニュー）には、以下の項目は追加できません。
  - MENU → （再生）内のすべての項目
  - [テレビ鑑賞]

### 関連項目

- [項目の並べ替え](#)
- [項目の削除](#)
- [MENUの使いかた](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 項目の並べ替え

---

MENUの★（マイメニュー）に登録したメニュー項目を並べ替えます。

- 1 MENU → ★（マイメニュー） → [項目の並べ替え] を選ぶ。
  - 2 上/下/左/右ボタンで、並べ替えたい項目を選ぶ。
  - 3 上/下/左/右ボタンで、並べ替え先を選ぶ。
- 

### 関連項目

- [項目の追加](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 項目の削除

MENUの★（マイメニュー）に登録したメニュー項目を削除します。

- 1 MENU → ★（マイメニュー） → [項目の削除] を選ぶ。
- 2 上/下/左/右ボタンで削除したい項目を選び、●（決定）ボタンを押して削除する。

### ヒント

- ページ内のすべての項目を一括で削除するには、MENU → ★（マイメニュー） → [ページの削除] を選びます。
- MENU → ★（マイメニュー） → [全て削除] を選ぶと、登録したすべてのマイメニュー設定が削除されます。

### 関連項目

- [ページの削除](#)
- [全て削除](#)
- [項目の追加](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ページの削除

MENUの★（マイメニュー）に登録したメニュー項目を、ページごと一括で削除します。

- 1 MENU → ★（マイメニュー） → [ページの削除] を選ぶ。
- 2 左/右ボタンで削除したいページを選び、●（決定）ボタンを押して削除する。

### 関連項目

- [項目の追加](#)
- [全て削除](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 全て削除

---

MENUの★（マイメニュー）に登録したメニュー項目をすべて削除します。

- 1 MENU → ★（マイメニュー） → [全て削除] を選ぶ。
  - 2 [OK] を選ぶ。
- 


### 関連項目

- [項目の追加](#)
- [ページの削除](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 個人顔登録（新規登録）

あらかじめ顔情報を登録しておくことで、登録された顔を優先してピント合わせを行います。撮影時は、[顔/瞳AF設定]の[AF時の顔優先]と、[登録顔優先]を[入]に設定してください。

- 1 MENU →  1 (撮影設定1) → [個人顔登録] → [新規登録] を選ぶ。
- 2 登録したい顔をガイド枠内に合わせて、SHUTTER/MOVIEボタンを押して撮影する。
- 3 確認メッセージが表示されるので、[実行] を選ぶ。

### ご注意

- 最大8人の顔を登録できます。
- 明るい場所で、正面を向いて撮影してください。帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れると、正しく登録できない場合があります。


### 関連項目

- [顔/瞳AF設定](#)
- [登録顔優先](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 個人顔登録（優先順序変更）

複数の顔を登録したときは、登録した順で優先順位が設定されます。優先順を変更することができます。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→ [個人顔登録] → [優先順序変更] を選ぶ。
- 2 優先度を変更したい顔を選ぶ。
- 3 移動先を選ぶ。


### 関連項目

- [顔/瞳AF設定](#)
- [登録顔優先](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 個人顔登録（削除）

登録した顔を削除できます。

① MENU→1（撮影設定1）→ [個人顔登録] → [削除] を選ぶ。

[全て削除] を選ぶと、すべての顔をまとめて削除できます。

### ご注意


- [削除] を行ってもカメラ内には登録した顔のデータが残っています。カメラ内からも削除したい場合は、[全て削除] を行ってください。



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 登録顔優先

〔顔/瞳AF設定〕の〔AF時の顔優先〕が〔入〕のとき、〔個人顔登録〕で登録した顔を優先してピント合わせを行うかどうかを設定します。

① MENU→1 (撮影設定1) → 〔登録顔優先〕 → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

入：

〔個人顔登録〕で登録した顔を優先してピントを合わせる。

切：

登録した顔を優先せずにピントを合わせる。


### 関連項目

- [顔/瞳AF設定](#)
- [個人顔登録 \(新規登録\)](#)
- [個人顔登録 \(優先順序変更\)](#)

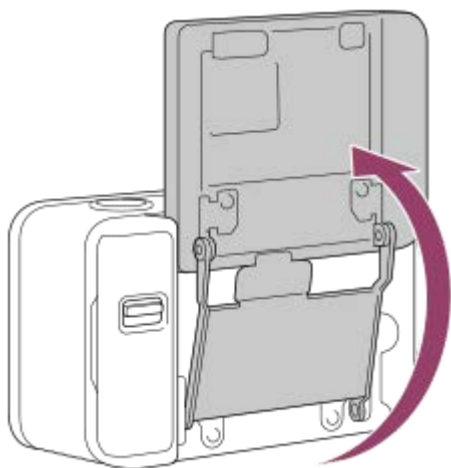
デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 自分撮りセルフタイマー

モニターを回転させて、画面をチェックしながら撮影できます。

① MENU→1 (撮影設定1) → [自分撮りセルフタイマー] → [入] を選ぶ。

② モニターを上側へ約180度回転させてレンズを自分に向ける。



③ SHUTTER/MOVIEボタンを押す。  
3秒後にセルフタイマーで撮影します。

### ヒント

- 3秒セルフタイマー以外のドライブモードを使用したい場合は、モニターを上側へ約180度回転させる前に [自分撮りセルフタイマー] を [切] に設定してください。

### ご注意

- モニターの回転中は、本機の上/下ボタン、左/右ボタンの役割が逆転します。  
例：通常は上ボタンにDISP (画面表示切換) 機能が割り当てられていますが、モニターを上側へ約180度回転させると、下ボタンにDISP機能が移動します。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 高感度NR（静止画）

ISO感度を高感度に設定して撮影した場合のノイズ軽減処理を設定します。処理中はメッセージが表示される場合があります、その間は撮影できません。

① MENU→ 1（撮影設定1）→ [ 高感度NR] →希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

**標準：**

高感度ノイズリダクションの処理を標準的に行う。





**弱：**

高感度ノイズリダクションの処理を弱めに行う。

**切：**

高感度ノイズリダクションの処理を行わない。撮影タイミングを優先するときを選ぶ。

#### ご注意


- 以下の場合、 [ 高感度NR] は [標準] に固定されます。
  - 撮影モードが [おまかせオート]、 [プレミアムおまかせオート]
- [ ファイル形式] が [RAW] のときは設定できません。
- [ ファイル形式] が [RAW+JPEG] のとき、RAW画像には [ 高感度NR] は働きません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 電子音

---

本機の電子音を鳴らすかどうかを設定します。

**1** MENU→ **2** (撮影設定2) → [電子音] →希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

**入：**

SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてピントが合ったときなどに操作音が鳴る。

**シャッター：**

シャッター音のみ鳴る。

**切：**

操作音/シャッター音は鳴らない。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 日付書き込み（静止画）

撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定します。

① MENU →  2（撮影設定2） → [ 日付書き込み] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

入：

日付を記録する。

切：

日付を記録しない。



#### ご注意

- 画像に入れた日付表示は消せません。
- パソコンやプリンターで印刷時に日付を入れる設定にすると、二重で日付が印刷されます。
- 時刻は記録できません。
- RAW画像には、日付書き込みできません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 色空間（静止画）

色を数値の組み合わせによって表現するための方法、あるいは表現できる色の範囲のことを色空間といいます。画像の用途によって色空間を変更できます。

① MENU →  1（撮影設定1） → [ 色空間] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### sRGB：

デジタルカメラの標準となっている色空間。画像調整を行わずに印刷する場合など、一般的な撮影では[sRGB]を使う。

#### AdobeRGB：

より広い色再現範囲を持っている色空間。鮮やかな緑色や赤色の多い被写体をプリントする場合に効果がある。撮影した画像のファイル名は、“\_”（アンダーバー）で始まる。


#### ご注意

- [AdobeRGB] は、カラーマネジメントおよびDCF2.0オプション色空間に対応したアプリケーションソフトやプリンター用です。非対応のソフトやプリンターでは、正しい色での表示、印刷ができないことがあります。
- [AdobeRGB] で撮影した画像は、Adobe RGB非対応機器で表示すると、低彩度になります。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## グリッドライン

構図合わせのための補助線であるグリッドライン表示の設定をします。

**1** MENU →  **2** (撮影設定2) → [グリッドライン] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 3分割：

3分割の線の近くに主要な被写体を配置すると、バランスのよい構図になる。

#### 方眼：

方眼線により構図の傾きが確認しやすく、風景写真や接写、複写などの構図決定に適している。

#### 対角+方眼：

対角線上に被写体を配置することで、躍動感や力強さなどを表現できる。


#### 切：

グリッドラインを表示しない。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## オートレビュー

撮影直後に、撮影した画像を確認することができます。オートレビューの表示時間を設定します。

① MENU →  ② (撮影設定2) → [オートレビュー] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 10秒/5秒/2秒：

設定した秒数だけ表示する。

オートレビュー中に  (決定) ボタンを押すと、撮影した画像を拡大再生して確認することができる。

#### 切：

オートレビューしない。

#### ご注意

- 画像処理をする機能を使用している場合、画像処理をする前の画像を一時的に表示してから、画像処理が適用された画像を表示することがあります。
- オートレビューは、DISP (画面表示切換) で設定した方法で表示されます。

### 関連項目

- [再生画像を拡大する \(拡大\)](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ライブビュー表示

モニターの表示に、露出補正やホワイトバランス、[クリエイティブスタイル]、[ピクチャーエフェクト]の設定値を反映させるかどうかを設定します。

1 MENU →  2 (撮影設定2) → [ライブビュー表示] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 設定効果反映On :

すべての設定を反映させ、撮影結果に近い状態でライブビュー表示をする。撮影結果をライブビュー画面で確認しながら撮影する場合に有効。




#### 設定効果反映Off :

露出やホワイトバランス、[クリエイティブスタイル]、[ピクチャーエフェクト]などの設定を反映させずにライブビュー表示をする。エフェクトをかけて撮影する場合などにも、見やすい状態でライブビューが表示され、構図確認が容易になる。

[マニュアル露出] 時のライブビュー画像も常に適正な明るさで表示される。

[設定効果反映Off] が選ばれているとき、ライブビュー画面上には **VIEW** アイコンが表示される。

#### ご注意

- 撮影モードが [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]、 おまかせオート]、 プログラムオート]、 マニュアル露出]、[ハイフレームレート] 時は [設定効果反映Off] に設定できません。
- [設定効果反映Off] 設定時は、表示されるライブビューと撮影した画像の明るさなどが一致しません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## メモリーカードなしリリース

メモリーカードが入っていない状態で、シャッターが切れるかどうかを設定します。

① MENU →  2 (撮影設定2) → [メモリーカードなしリリース] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 許可：

メモリーカードが入っていてもシャッターが切れる。

#### 禁止：

メモリーカードが入っていないとシャッターが切れない。

#### ご注意

- メモリーカードを入れていない状態では、撮影した画像は保存されません。
- お買い上げ時の設定は [許可] になっていますので、実際の撮影のときは [禁止] にしておくことをおすすめします。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 静止画再生

撮影した静止画を再生します。

1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。

2 左/右ボタンで画像を選ぶ。


- 連続撮影した画像やインターバル撮影で撮影した画像は、1つのグループとして表示されています。グループ内の画像を再生する場合は、下ボタンを押してください。

### 撮影に戻るには

MENU →  (再生) → [撮影/再生切換] で撮影モードに戻る。

- SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししても撮影モードに戻ります。

### ヒント

- 本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して、画像を記録し再生します。管理ファイルに未登録の画像は正しく表示されないことがあります。他機で撮影した画像を見るときは、MENU →  (セットアップ) → [管理ファイル修復] で管理ファイルに画像を登録してください。

### ご注意

- 連続撮影後に画像をすぐに再生すると、モニターにデータ書き込み中/書き込み残り枚数を示すアイコンが表示されることがあります。書き込み中は、一部の機能を使用できません。






### 関連項目

- [管理ファイル修復](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 再生画像を拡大する（拡大）

再生した画像を拡大します。写真のピントの具合を確認したいときなどに使います。

- 1 （再生）ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 拡大したい画像を表示して、MENU → （再生） → [ 拡大] を選ぶ。
  - 1枚再生画面では、（決定）ボタンを押すことでも拡大できます。
- 3 上/下/左/右ボタンで表示する場所を移動する。
- 4 MENUボタンまたは （決定）ボタンを押して、拡大再生を終了する。

### ヒント

- MENU → （再生） → [ 拡大の初期位置] で、拡大初期位置を変更できます。

### ご注意

- 動画は拡大できません。
- 拡大倍率は変更できません。

### 関連項目



- [拡大の初期位置](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 一覧表示

---

再生時、複数の画像を同時に表示できます。

- 1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU →  (再生) → [一覧表示] → 希望の設定を選ぶ。


## メニュー項目の詳細

9枚 / 25枚

### 1枚再生画面に戻すには

表示したい画像を選んでいる状態で、 (決定) ボタンを押す。

### 希望の画像をすばやく表示するには

左側のバーを選び、上/下ボタンでページを送ることができます。バーを選んでいる状態で、 (決定) ボタンを押すと、カレンダー画面、またはフォルダー選択画面が表示されます。アイコンを選んでビューモードを切り換えることもできます。

---

## 関連項目

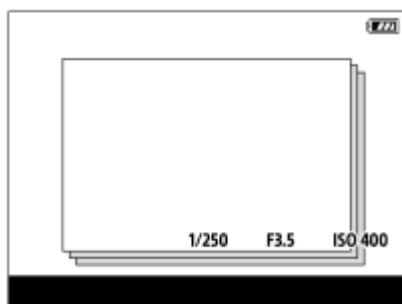
- [ビューモード](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## グループ表示

連続撮影した画像やインターバル撮影で撮影した画像をグループ化して表示するかどうかを設定します。

- 1 MENU →  (再生) → [グループ表示] → 希望の設定を選ぶ。



### メニュー項目の詳細



入：

画像をグループ化して表示する。

切：

画像をグループ化して表示しない。

### ヒント

- 以下の画像がグループ表示されます。
  - [ドライブモード] が [連続撮影] で撮影された画像（連続撮影でシャッターボタンを押し続けて撮影されたひと続きの画像が、ひとつのグループになります。）
  - [ インターバル撮影機能] で撮影された画像（1回のインターバル撮影で撮影された画像が、ひとつのグループになります。）
- 一覧表示画面では、グループには  が表示されます。



### ご注意

- 画像をグループ化して表示できるのは、[ビューモード] を [日付ビュー] にしているときのみです。[日付ビュー] 以外のときは、[グループ表示] を [入] に設定しても、画像はグループ化して表示できません。
- グループを削除すると、グループ内のすべての画像が削除されます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 動画再生

撮影した動画を再生します。

- 1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 左/右ボタンで再生したい動画を選ぶ。
- 3  (決定) ボタンを押して再生する。













### 撮影に戻るには

MENU →  (再生) → [撮影/再生切換] で撮影モードに戻る。

- SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししても撮影モードに戻ります。

### 動画再生中にできること

下ボタンを押すと、スロー再生、音量調整などの操作を行えます。

-  : 再生
-  : 一時停止
-  : 早送り
-  : 早戻し
-  : スロー再生
-  : スロー逆再生
-  : 次の動画
-  : 前の動画
-  : コマ送り
-  : コマ戻し
-  : 音量設定
-  : 操作パネルを閉じる

### ヒント

- スロー再生、スロー逆再生、コマ送り、コマ戻しは、一時停止中に選ぶことができます。
- 本機以外で撮影された動画ファイルは再生できない場合があります。



### 関連項目

- [ビューモード](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 削除






不要な画像を選んで削除できます。一度削除した画像は、元に戻せません。削除してよいか、事前に確認してください。

- 1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU →  (再生) → [削除] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 画像選択：

画像を何枚か選んで削除する。

- (1) 削除したい画像を選び、 (決定) ボタンを押す。チェックボックスに  マークが付く。解除したいときはもう一度  (決定) ボタンを押して  マークを消す。
- (2) ほかの画像も削除するときは、手順 (1) を繰り返す。
- (3) MENU → [確認] →  (決定) ボタンを押す。

#### このフォルダーの全画像：

選択しているフォルダー内すべての画像をまとめて削除する。

#### この日付の全画像：

選択している日付内すべての画像をまとめて削除する。


#### この画像以外の全画像：

グループ内の、選択している画像をのぞくすべての画像をまとめて削除する。

#### このグループの全画像：

選択しているグループ内すべての画像をまとめて削除する。

#### ヒント

- プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータを消去するには [フォーマット] を行ってください。
- 希望のフォルダーまたは日付を表示するには、MENU →  (再生) → [一覧表示] で一覧画面を表示し、左側のバーを選び、上/下ボタンで希望のフォルダーまたは日付を選びます。
- [画像選択] でグループを選ぶと、グループ内のすべての画像が削除されます。グループ内の任意の画像を選んで削除したい場合は、グループ内の画像を表示させた状態で [画像選択] を実行してください。

#### ご注意

- プロテクトされている画像は削除できません。
- [ビューモード] の設定や選択しているコンテンツによって、選べる項目が異なります。

#### 関連項目



- [フォーマット](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## プリント指定

どの画像をプリントするかを、あらかじめメモリーカード上に指定できます。指定した画像には**DPOF**（プリント予約）マークが表示されます。DPOFとは「Digital Print Order Format」の略です。  
DPOF指定は、印刷後も残ったままとなります。印刷が終了したあとは、解除することをおすすめします。

- 1 （再生）ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU → （再生） → [プリント指定] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 画像選択：

画像を何枚か選んでプリント指定する。

- (1) プリントしたい画像を選び、●（決定）ボタンを押す。チェックボックスに✓マークが付く。解除したいときはもう一度●（決定）ボタンを押して✓マークを消す。
- (2) 他の画像もプリントするときは、手順(1)を繰り返す。
- (3) MENU → [確認] → ●（決定）ボタンを押す。

#### 全画像解除：

すべてのプリント指定を解除する。

#### 印刷設定：

プリント指定した画像に日付を入れて印刷するか設定する。

- 日付の入る場所（画像内/画像外、サイズなど）は、お使いのプリンターによって異なります。



#### ご注意

- 以下の画像にはプリント予約指定できません。
  - 動画
  - RAW画像
- プリントの枚数指定はできません。
- プリンターによっては、日付プリントの機能に対応していないものもあります。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ビューモード

再生する画像の表示方法（ビューモード）を設定します。

- 1 （再生）ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU → （再生） → [ビューモード] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

 **日付ビュー：**

日付ごとに表示する。

 **フォルダービュー（静止画）：**

静止画のみを表示する。

 **AVCHD AVCHDビュー：**

AVCHD動画のみを表示する。

 **XAVC S HDビュー：**

XAVC S HD動画のみを表示する。



 **XAVC S 4Kビュー：**

XAVC S 4K動画のみを表示する。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## スライドショー

画像を自動的に連続再生します。

- 1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU →  (再生) → [スライドショー] → 希望の設定を選ぶ。
- 3 [実行] を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### リピート：

繰り返し再生する（[入]）か、すべての画像を再生したら停止する（[切]）か選ぶ。

#### 間隔設定：

画像が切り替わる間隔を、[1秒] / [3秒] / [5秒] / [10秒] / [30秒] から選ぶ。

### 途中で終了するには

MENUボタンを押して終了します。一時停止はできません。

#### ヒント


- スライドショー再生中に、左/右ボタンで画像を戻す/送ることができます。
- [スライドショー] が実行できるのは、[ビューモード] が [日付ビュー] と [フォルダービュー（静止画）] のときのみです。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 画像を回転する（回転）

撮影した画像を回転して表示します。

1 （再生）ボタンを押して、再生モードにする。

2 MENU→（再生）→〔回転〕を選ぶ。

3 ●（決定）ボタンを押す。

画像が左に回転します。●（決定）ボタンを押すたびに、回転が繰り返されます。  
回転した画像は、本機の電源を切った後も回転した状態のまま保持されます。



### ご注意

- 動画は回転できません。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見ると、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 記録画像を自動的に回転させる（記録画像の回転表示）

画像を再生するときの向きを設定できます。

- 1 （再生）ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU → （再生） → [記録画像の回転表示] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### オート：

本機を回転させると、本機の縦横を判断し、再生している画像が自動で回転する。

#### マニュアル：

縦位置で撮影した画像を縦向きに表示する。また回転機能で表示する向きを設定した場合はその向きに表示する。

#### 切：

記録画像を常に横向きに表示する。

### 関連項目

- [画像を回転する（回転）](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 拡大の初期位置

---

画像を再生し拡大表示する（再生ズーム）ときの、拡大の初期位置を選びます。

① MENU → （再生） → [ 拡大の初期位置] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### ピント位置：

撮影時にピントを合わせた位置から拡大する。

#### 画面中央：

画面の中央から拡大する。


---



### 関連項目

- [再生画像を拡大する（拡大）](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## プロテクト






撮影した画像を誤って消さないように保護（プロテクト）します。プロテクトされた画像には  マークが表示されます。

- 1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU →  (再生) → [プロテクト] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 画像選択:

画像を何枚か選んでプロテクトする。

1. 画像を選び、 (決定) ボタンを押す。チェックボックスに  マークが付く。解除したいときはもう一度  (決定) ボタンを押して  マークを消す。
2. ほかの画像もプロテクトするときは、手順1を繰り返す。
3. MENU → [確認] →  (決定) ボタンを押す。

#### このフォルダーの全画像:

選択しているフォルダー内すべての画像をまとめてプロテクトする。

#### この日付の全画像:

選択している日付内すべての画像をまとめてプロテクトする。

#### このフォルダーを全て解除:

選択しているフォルダー内すべての画像のプロテクトをまとめて解除する。

#### この日付を全て解除:

選択している日付内すべての画像のプロテクトをまとめて解除する。

#### このグループの全画像:

選択しているグループ内すべての画像をまとめてプロテクトする。

#### このグループ画像全て解除:

選択しているグループ内すべての画像のプロテクトをまとめて解除する。

### ヒント

- [画像選択] でグループを選ぶと、グループ内のすべての画像がプロテクトされます。グループ内の任意の画像を選んでプロテクトしたい場合は、グループ内の画像を表示させた状態で [画像選択] を実行してください。


### ご注意

- [ビューモード] の設定や選択しているコンテンツによって、選べる項目が異なります。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## レーティング

撮影した画像に ★ ～ ☆☆☆ でレーティング（ランク分け）を設定することで、画像を探しやすくします。

- 1 MENU → （再生） → [レーティング] を選ぶ。  
レーティング画像選択画面が表示される。
- 2 左/右ボタンでレーティングを設定したい画像を表示させ、●（決定）ボタンを押す。
- 3 左/右ボタンで ★（レーティング）の数を選び、●（決定）ボタンを押す。
- 4 MENUボタンを押して、レーティング設定画面を終了する。

### ご注意





- レーティングを設定できるのは静止画のみです。





デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## インターバル連続再生

インターバル撮影で撮影した画像を、連続再生します。  
パソコン用ソフトウェアImaging Edgeを使うと、インターバル撮影で撮影した静止画から動画を作成することができます。本機では静止画から動画を作成することはできません。

- 1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU →  (再生) → [ インターバル連続再生] を選ぶ。
- 3 再生したい画像グループを選んで、 (決定) ボタンを押す。

### ヒント


- 再生中は、下ボタンで再生/一時停止できます。
- MENU →  (再生) → [ インターバル再生速度] で再生速度を変更できます。
- 連続撮影した画像も連続再生できます。

### 関連項目

- [インターバル撮影機能](#)
- [インターバル再生速度](#)
- [Imaging Edgeについて](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## インターバル再生速度

[ インターバル連続再生] で静止画を連続再生するときの速度を設定します。

① MENU →  (再生) → [ インターバル再生速度] → 希望の設定を選ぶ。

### 関連項目

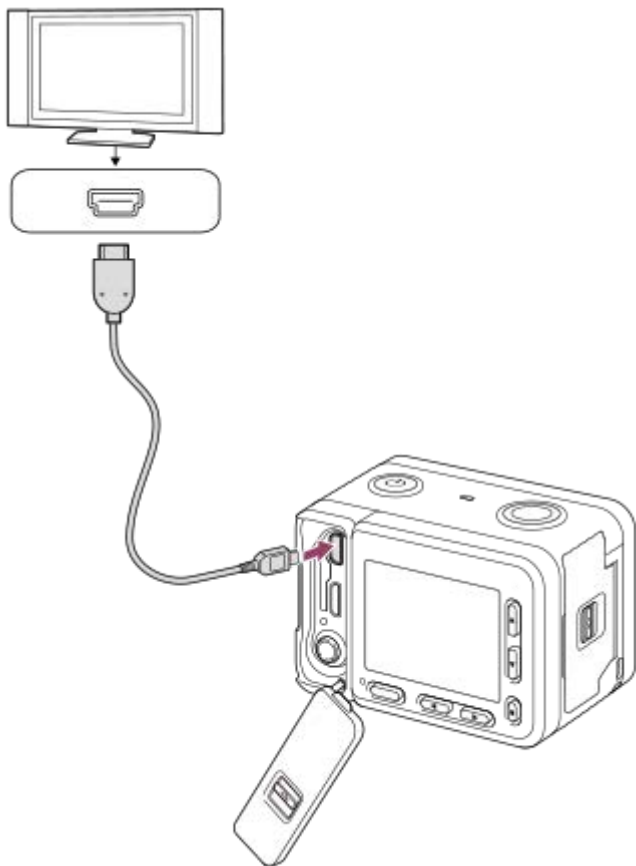
- [インターバル連続再生](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## HDMIケーブルを使ってテレビで見る

本機の画像をテレビで見るには、HDMIケーブル（別売）とHDMI端子のあるハイビジョンテレビが必要です。



- 1 本機とテレビの電源を切る。
- 2 本機のHDMIマイクロ端子とテレビのHDMI端子をHDMIケーブル（別売）で接続する。



- 3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする。
- 4 本機の電源を入れる。  
撮影した画像がテレビに表示されます。
- 5 左/右ボタンで画像を選ぶ。
  - 再生画面では本機のモニターは点灯しません。
  - 再生画面になっていないときは、▶（再生）ボタンを押してください。

### ブラビアリンク





ブラビアリンク（リンクメニュー対応）のテレビをご利用の場合、HDMIケーブル（別売）で接続すると、テレビに付属のリモコンで再生操作ができます。

1. 上記の手順で本機とテレビを接続し、MENU→  (セットアップ) → [HDMI設定] → [HDMI機器制御] → [入] を選ぶ。
2. テレビのリモコンのリンクメニューボタンを押し、好みのモードを選ぶ。
  - HDMIケーブルで本機とテレビを接続する場合、操作できる項目が制限されます。
  - 2008年以降に発売されたブラビアリンク対応テレビで使用できます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
  - 他社のテレビとHDMI接続する際、テレビのリモコン操作でカメラが不要な動きをする場合は、MENU→  (セットアップ) → [HDMI設定] → [HDMI機器制御] を [切] にしてください。

## ヒント

- 本機はブラビア プレミアムフォトに対応しています。ブラビア プレミアムフォトに対応したソニー製テレビにHDMIケーブル(別売)で接続すると、写真を今までになかった感動の高画質で快適にお楽しみいただけます。
- ブラビア プレミアムフォト対応のUSB端子つきソニー製テレビでは、USBケーブルでも接続できます。
- ブラビア プレミアムフォトとは、写真らしい高精細で微妙な質感や色合いの表現を可能にする機能です。
- 詳しくは、対応テレビの取扱説明書をご覧ください。


## ご注意

- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- HDMIロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。
- 本機側はHDMIマイクロ端子、テレビ側はテレビの端子に合ったタイプのHDMIケーブルをお使いください。
- [  TC出力 ] が [入] のときに、テレビや録画機器に正常に映像が出力されない場合があります。その場合は、[  TC出力 ] を [切] にしてください。
- テレビに正しく画面が表示されない場合は、 (セットアップ) → [HDMI設定] → [HDMI解像度] を接続するテレビに合わせて、[2160p/1080p]、[1080p] または [1080i] にしてください。
- HDMI出力中に4K動画とハイビジョン画質 (HD) の動画を切り換えたり、異なるフレームレートの動画に切り換えたりすると、一時的に画面が暗くなる場合がありますが、故障ではありません。
- [  記録方式 ] を [XAVC S 4K] に設定し、本機をHDMI機器に接続しながら動画を撮影すると、モニターには画像が表示されません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## モニター明るさ

モニターの明るさを調整します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [モニター明るさ] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細




マニュアル：

-2 ~ +2の範囲で明るさを選ぶ。

屋外晴天：

屋外の使用に適した明るさに設定する。

#### ご注意

- 室内で [屋外晴天] にすると明るすぎるため、室内での使用時は [マニュアル] に設定してください。
- 下記の場合は、モニターの明るさは調整できません。最大で [±0] の明るさとなります。
  - [  記録方式 ] が [XAVC S 4K] のとき
  - [  記録方式 ] が [XAVC S HD] で、[  記録設定 ] が [120p] のとき
- Wi-Fi機能使用時はモニターの明るさは [-2] に固定されます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ガンマ表示アシスト

S-Logを適用した動画は、広いダイナミックレンジを活用するために、撮影後の編集を前提としています。このため、撮影時の画像は低コントラストとなりモニタリングがしにくくなりますが、[ガンマ表示アシスト]機能を使うことで、通常のガンマと同等のコントラストを再現することができます。また再生時にも、[ガンマ表示アシスト]を適用した動画をモニターで見ることができます。

① MENU →  (セットアップ) → [ガンマ表示アシスト] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

Assist  
OFF 切 :

[ガンマ表示アシスト]を適用しない。

Assist  
AUTO オート :

[ピクチャープロファイル]で設定されたガンマが[S-Log2]の場合は[S-Log2→709(800%)]に変換して表示し、[S-Log2]以外の場合は[ガンマ表示アシスト]を適用しない。

Assist  
S-Log2 S-Log2→709(800%) :

S-Log2をITU709(800%)相当に変換して表示する。

#### ご注意

- 再生時に[オート]を選択している場合も、再生する動画のガンマ値を自動判別するのではなく、[ピクチャープロファイル]で現在設定しているガンマ設定によって画像が表示されます。
- 本機に接続されたテレビやモニターでは、[ガンマ表示アシスト]は適用されません。

### 関連項目


- [ピクチャープロファイル](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 音量設定

---

動画再生時の音量を設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [音量設定] → 希望の設定を選ぶ。

### 再生中に音量を変えるには


動画再生中に、下ボタンを押して、操作パネルから音量設定できます。実際に音量を聞きながら調整できます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## タイルメニュー

---

MENUボタンを押したときに、タイルメニューを表示するかを設定します。

**1** MENU →  (セットアップ) → [タイルメニュー] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

**入：**  
タイルメニュー表示を有効にする。

**切：**  
タイルメニュー表示を無効にする。



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## パワーセーブ開始時間

自動的に電源が切れるまでの時間を設定できます。

① MENU →  (セットアップ) → [パワーセーブ開始時間] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

30分/5分/2分/1分

#### ご注意

- USB給電時、スライドショー中、動画撮影中、パソコンやテレビと接続しているときなどは、パワーセーブ機能は働きません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 自動電源OFF温度

撮影時に本機の電源が自動で切れる温度を設定します。

〔高〕に設定すると、本機の温度が高くなっても撮影することができます。

① MENU →  (セットアップ) → [自動電源OFF温度] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

標準：

本機の電源が切れる温度を標準に設定する。

高：

本機の電源が切れる温度を標準より高めに設定する。

#### [自動電源OFF温度] が [高] のときのご注意

- 手持ちで撮影せずに三脚などをご使用ください。
- 手持ちで長時間ご使用になると低温やけどの原因となる可能性があります。

#### [自動電源OFF温度] が [高] のときの連続動画撮影時間

しばらく電源を切った状態から出荷時設定で撮影を開始した場合、下記の連続動画撮影が可能です（記録開始から停止するまでの時間です）。

環境温度：20℃：

連続動画撮影時間（HD）：約60分

連続動画撮影時間（4K）：約45分

環境温度：30℃

連続動画撮影時間（HD）：約60分

連続動画撮影時間（4K）：約35分

環境温度：40℃

連続動画撮影時間（HD）：約30分

連続動画撮影時間（4K）：約15分

HD：XAVC S HD（60p 50M、Wi-Fi非接続時）

4K：XAVC S 4K（30p 60M、Wi-Fi非接続時）

#### ご注意

- [自動電源OFF温度] を [高] にしても、環境やカメラの温度によっては撮影可能時間が変わらないことがあります。


### 関連項目

- [動画の記録可能時間](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 上下反転

画像の上下を反転して記録します。本機を上下逆さに取り付けたときに便利です。

① MENU →  (セットアップ) → [上下反転] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

入：

画像を上下反転して記録する。記録される音声も左右反転する。

切：

画像を上下反転しない。通常通りに画像と音声を記録する。

#### ご注意

- [上下反転] を [入] にすると、本機の上/下ボタン、左/右ボタンの役割が逆転します。  
例：通常は上ボタンにDISP（画面表示切替）機能が割り当てられていますが、[上下反転] を [入] にすると、下ボタンにDISP機能が移動します。
- モニターを回転させたときも画面表示が反転し、上/下ボタン、左/右ボタンの役割が逆転します。本機の設置の向きやモニターの開閉状態に応じて、操作がしやすいように [上下反転] 機能を設定してください。
- 外部マイクで記録される音声も左右反転します。


### 関連項目

- [上下左右ボタン/決定ボタンの使いかた](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## デモモード

本機の「デモモード」とは、一定時間以上の操作をしないと、自動的にメモリーカード内に記録されている動画のスライドショー（デモンストレーション）が始まる機能です。通常は、[切] に設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [デモモード] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

**入：**  
約1分間操作をしないと、自動的に動画でデモンストレーションが始まる。対象はプロテクトがかかっているAVCHD動画のみ。

[AVCHDビュー] で撮影日時が一番古い動画にプロテクトをかけてください。

**切：**  
デモンストレーションを表示しない。

#### ご注意

- 付属のACアダプターで接続しているときのみ、設定できます。
- メモリーカード内にプロテクトがかけられたAVCHD動画がないときは、[入] に設定できません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## TC/UB設定

本機には、映像に付随するデータとしてタイムコード (TC) とユーザービット (UB) を記録できます。

- 1 MENU→ (セットアップ) → [TC/UB設定] →変更したい設定値を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### TC Preset :

タイムコードを設定する。

#### TC Reset :

タイムコードをリセットする。

#### UB Preset :

ユーザービットを設定する。

#### UB Reset :

ユーザービットをリセットする。

#### TC Format :

タイムコードの記録方式を選ぶ。

#### TC Run :

タイムコードの歩進方法を選ぶ。



#### TC Make :

タイムコードを記録メディアに記録する方法を選ぶ。

#### UB Time Rec :


時刻をユーザービットコードとして記録する/しないを選ぶ。

### タイムコードを設定するには (TC Preset)

1. MENU→ (セットアップ) → [TC/UB設定] → [TC Preset] を選び、 (決定) ボタンを押す。
2. 上/下ボタンで最初の2桁の数値を選ぶ。

- タイムコードは以下の範囲で設定できます。  
[60i] 選択時 : 00:00:00:00 ~ 23:59:59:29



\*24p設定時は末尾2桁を0 ~ 23のうちの4の倍数のフレームで設定できます。

3. 手順2と同様に、他の桁の数値を選び、 (決定) ボタンを押す。




#### ご注意

- 自分撮り用にモニターを反転させているとき、タイムコードとユーザービットは表示されません。



### タイムコードをリセットするには

1. MENU→ (セットアップ) → [TC/UB設定] → [TC Reset] を選び、 (決定) ボタンを押す。  
別売のリモコン (RMT-VP1K) でも、タイムコードリセット(00:00:00:00)を行うことができます。



### ユーザービットを設定するには (UB Preset)

1. MENU→ (セットアップ) → [TC/UB設定] → [UB Preset] を選び、 (決定) ボタンを押す。
2. 上/下ボタンで最初の2桁の数値を選ぶ。
3. 手順2と同様に、他の桁の数値を選び、 (決定) ボタンを押す。

## ユーザービットをリセットするには

1. MENU→ (セットアップ) → [TC/UB設定] → [UB Reset] を選び、 (決定) ボタンを押す。

## タイムコードの記録方式を選ぶには (TC Format)

1. MENU→ (セットアップ) → [TC/UB設定] → [TC Format] を選び、 (決定) ボタンを押す。

### DF :

タイムコードをドロップフレーム\*方式で記録する。



### NDF :

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

\* タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

- 4K/24p、1080/24pで記録するときは、[NDF] に固定されます。

## タイムコードの歩進を選ぶには (TC Run)

1. MENU→ (セットアップ) → [TC/UB設定] → [TC Run] を選び、 (決定) ボタンを押す。

### Rec Run :



記録中のみタイムコードが歩進する。最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。

### Free Run :

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。

- [Rec Run] モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。
  - 記録方式を切り換えたとき
  - 記録メディアを取りはずしたとき

## タイムコードを記録メディアに記録する方法を選ぶには (TC Make)

1. MENU→ (セットアップ) → [TC/UB設定] → [TC Make] を選び、 (決定) ボタンを押す。

### Preset :

新たに設定したタイムコードを記録メディアに記録する。

### Regenerate :

記録メディアに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。[TC Run] の設定に関係なく、タイムコードは [Rec Run] モードで歩進する。

### ご注意

- 本機のモニターにはタイムコード/ユーザービットは表示されません。外部録画再生機器で確認してください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## HDMI設定 : HDMI解像度

本機とHDMI端子のあるハイビジョンテレビをHDMIケーブル（別売）で接続して見る場合に、HDMI端子からテレビに出力する解像度を選びます。

① MENU → （セットアップ） → [HDMI設定] → [HDMI解像度] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### オート :

本機がハイビジョンテレビを自動認識し、出力する解像度を決定する。

#### 2160p/1080p :

2160p/1080pで出力する。

#### 1080p :

HD画質（1080p）で出力する。

#### 1080i :




HD画質（1080i）で出力する。




#### ご注意

- [オート] で正しく画面が表示されない場合は、接続するテレビに合わせて、[1080i]、[1080p] または [2160p/1080p] を選んでください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## HDMI設定 : 24p/60p出力切換 (動画)

[ 記録設定] で [24p 50M]、[24p 60M] または [24p 100M] を選んでいるとき、または、[ HFR ハイフレームレート設定] の [ HFR 記録設定] で [24p 50M] を選んでいるときに、HDMIで1080/24p、1080/60pのどちらで出力するかを設定します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [HDMI設定] → [HDMI解像度] → [1080p] または [2160p/1080p] を選ぶ。
- 2 MENU →  (セットアップ) → [HDMI設定] → [ 24p/60p出力切換] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

**60p :**

60pで出力する。

**24p :**

24pで出力する。

#### ご注意

- 手順1、2は順不同で設定可能です。

### 関連項目

- [記録設定 \(動画\)](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## HDMI設定 : HDMI情報表示

HDMIケーブル（別売）で本機とテレビを接続したとき、画像情報をテレビに表示するかどうかを切り換えます。

① MENU→（セットアップ）→ [HDMI設定] → [HDMI情報表示] →希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### あり：

テレビに画像情報が表示される。

テレビにはカメラ映像および画像情報が表示されるが、本体のモニターには何も表示されない。

#### なし：

テレビに画像情報が表示されない。

テレビにはカメラ映像のみ表示され、本体のモニターにはカメラ映像および画像情報が表示される。

#### ご注意

- 4K対応テレビに接続時は、[なし] になります。
- [ 記録方式] を [XAVC S 4K] に設定し、本機をHDMI機器に接続しながら動画を撮影すると、モニターには画像が表示されません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## HDMI設定 : TC出力 (動画)

HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定します。  
タイムコード情報をHDMI出力信号に乗せます。画面に出す映像としてではなく、デジタルデータとして伝送し、接続先の機器がそのデータを参照することでタイムデータを知ることができます。

1 MENU →  (セットアップ) → [HDMI設定] → [ TC出力] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細



入 :

タイムコード情報を他の機器に出力する。

切 :

タイムコード情報を他の機器に出力しない。



#### ご注意

- [ TC出力] が [入] のときに、テレビや録画機器に正常に映像が出力されない場合があります。その場合は、 [ TC出力] を [切] にしてご使用ください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## HDMI設定 : レックコントロール (動画)

本機と外部録画再生機器をつなぐと、本機の操作で外部録画再生機器へ録画の開始/停止を行えます。

① MENU →  (セットアップ) → [HDMI設定] → [ レックコントロール] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

入 :









 STBY 外部録画再生機器へ記録指示を出せる状態

 REC 外部録画再生機器へ記録指示を出している状態

切 :

本機の操作で外部録画再生機器の録画開始/停止を行わない。


### ご注意

- [ レックコントロール] 機能に対応している外部録画再生機器で使用できます。
- [ レックコントロール] 使用時は、撮影モードを [ おまかせオート]、 [ プログラムオート] または [ マニュアル露出] にしてください。
- [ TC出力] が [切] のときは、 [ レックコントロール] は設定できません。
-  REC が表示されている場合でも、外部録画再生機器側の設定・状態により、外部録画再生機器が正しく動作しない場合がありますので、事前に動作確認をしてご使用ください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## HDMI設定 : HDMI機器制御

HDMIケーブル（別売）を使ってブラビアリンク対応テレビをつないだ場合に、テレビのリモコンをテレビに向けて、本機を操作できます。


- 1 MENU→ （セットアップ）→ [HDMI設定] → [HDMI機器制御] → 希望の設定を選ぶ。
- 2 ブラビアリンクに対応したテレビと本機を接続する。  
テレビの入力が自動で切り替わり、本機の画像が表示される。
- 3 リモコンの「リンクメニュー」ボタンを押す。
- 4 リモコンのボタンで操作する。

### メニュー項目の詳細

入：  
テレビのリモコンで操作する。

切：  
テレビのリモコンで操作しない。







#### ご注意

- HDMIケーブルで本機とテレビを接続する場合、操作できる項目が制限されます。
- 2008年以降に発売された「ブラビアリンク（リンクメニュー対応）」に対応したテレビで使用できます。また、リンクメニュー操作はお使いのテレビによって異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- 他社のテレビとHDMI接続する場合、テレビのリモコン操作で本機が不要な動きをする場合は、MENU→ （セットアップ）→ [HDMI設定] → [HDMI機器制御] を [切] にしてください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 4K映像の出力先

本機を4K対応の外部録画再生機器などと接続するときに、どのように記録、HDMI出力するかを設定します。

- 1 MENU→ 1 (撮影設定1) → [撮影モード] → [ おまかせオート]、 [ プログラムオート] または [ マニュアル露出] を選ぶ。
- 2 本機と接続したい機器をHDMIケーブルで接続する。
- 3 MENU→ (セットアップ) → [ 4K映像の出力先] →希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### メモリーカード+HDMI：

本機のメモリーカードに記録し、外部録画再生機器にも同時に出力する。



#### HDMIのみ(30p)：

本機のメモリーカードには記録せず、外部録画再生機器に4K動画を30pで出力する。

#### HDMIのみ(24p)：

本機のメモリーカードには記録せず、外部録画再生機器に4K動画を24pで出力する。

#### ご注意

- 動画撮影モードで、4K対応機器に接続中のみメニュー設定が可能です。
- [メモリーカード+HDMI] に設定したときは、Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作することはできません。
- [HDMIのみ(30p)] または [HDMIのみ(24p)] に設定したときは、[HDMI情報表示] は一時的に [なし] になります。
- [HDMIのみ(30p)] または [HDMIのみ(24p)] に設定すると、外部録画再生機器に記録中は本機のカウンター（動画の撮影実時間）は進みません。
- [ 記録方式] が [XAVC S 4K] でHDMI接続しているときは、下記の機能は使用できません。
  - AF時の顔優先
  - マルチ測光時の顔優先
  -  ボタン押しトラッキング


### 関連項目


- [HDMI設定：レックコントロール（動画）](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## USB接続

USB接続の方法を接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定します。

あらかじめ、MENU →  (ネットワーク) → [スマートフォン操作設定] → [スマートフォン操作] を [切] に設定してください。

① MENU →  (セットアップ) → [USB接続] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### オート：

接続するパソコンやその他USB機器に応じて、マストレージとMTPを自動で切り換える。Windows 7、Windows 8.1またはWindows 10の場合にはMTPで接続され、特有の機能が使用できる。

#### マストレージ：

本機とパソコン、その他USB機器と接続するときに使う。

#### MTP：

本機とパソコン、その他USB機器をMTP接続する。Windows 7、Windows 8.1またはWindows 10の場合はMTP接続され、特有の機能が使用できる。

#### PCリモート：

「Imaging Edge」を使って、パソコンから撮影したり、撮影した画像をパソコン内に保存したりする。

#### ご注意

- [USB接続] を [オート] に設定しているときは、接続に時間がかかる場合があります。

### 関連項目


- [PCリモート設定：静止画の保存先](#)
- [PCリモート設定：RAW+J時のPC保存画像](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## USB LUN設定

---

USB接続の機能を制限して互換性を高めます。

**1** MENU→ (セットアップ) → [USB LUN設定] →希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### マルチ：

通常は [マルチ] のまま使う。


#### シングル：

どうしても接続できない場合のみ、 [シングル] にする。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## USB給電

本機とパソコン、またはUSB機器をマイクロUSBケーブルで接続するとき、USB給電するかどうかを設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [USB給電] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

入：

マイクロUSB ケーブルでパソコンなどと接続したときに給電する。

切：

マイクロUSBケーブルでパソコンなどと接続したときに給電しない。付属のACアダプターをお使いの場合、[切] にしていても給電されます。

### USB給電時にできること

USB給電時に行える操作と行えない操作は、以下の通りです。

行える操作は○で、行えない操作は×で表しています。

操作	行える/行えない
撮影	○
再生	○
Wi-Fi/Bluetooth接続	○
バッテリーの充電	×
バッテリーを入れずにカメラの電源を入れる	×

### ご注意

- USB給電を行うには、バッテリーを本機に挿入してください。




デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## PCリモート設定：静止画の保存先

PCリモート撮影中にカメラ本体側にも静止画を保存するかどうか設定します。カメラから離れることなく、カメラ本体で画像を確認したい場合に便利です。

\* PCリモートとは：「Imaging Edge」を使って、パソコンから撮影指示を出したり、撮影した画像をパソコン内に保存したりする機能。

**1** MENU →  (セットアップ) → [PCリモート設定] → [静止画の保存先] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### PCのみ：

パソコンのみに静止画を保存する。

#### PC+カメラ本体：

パソコンとカメラの両方に静止画を保存する。

#### カメラ本体のみ：

カメラのみに静止画を保存する。

#### ご注意

- PCリモート撮影中は、[静止画の保存先] の設定値変更はできません。撮影開始前に設定を行ってください。
- 記録できないメモリーカードをカメラに挿入しているときは、[カメラ本体のみ] または [PC+カメラ本体] を選んでも静止画を撮影できません。
- [カメラ本体のみ] または [PC+カメラ本体] 選択時、カメラにメモリーカードが挿入されていない場合は、[メモリーカードなしリリース] が [許可] になっていてもシャッターは切れません。
- カメラ側で静止画を再生している間は、PCリモートによる撮影はできません。

### 関連項目

- [USB接続](#)
- [メモリーカードなしリリース](#)
- [PCリモート設定：RAW+J時のPC保存画像](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## PCリモート設定 : RAW+J時のPC保存画像

PCリモート撮影中に、パソコンに転送する画像ファイルを設定します。

PCリモートで静止画を撮影したとき、パソコン側のアプリケーションは、撮影した画像の転送が終了するまで画像を表示しません。RAW+JPEG撮影を行うとき、RAWとJPEG両方をパソコンへ転送するのではなく、JPEGのみを転送することでパソコン側での表示スピードを上げることができます。

\* PCリモートとは : 「Imaging Edge」を使って、パソコンから撮影指示を出したり、撮影した画像をパソコン内に保存したりする機能。

**1** MENU →  (セットアップ) → [PCリモート設定] → [RAW+J時のPC保存画像] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### RAW+JPEG :

RAWとJPEGをパソコンに転送する。


#### JPEGのみ :

JPEGのみパソコンに転送する。

#### RAWのみ :

RAWのみパソコンに転送する。

#### ご注意

- PCリモート撮影中は、[RAW+J時のPC保存画像] の設定値は変更できません。撮影開始前に設定を行ってください。
- [RAW+J時のPC保存画像] は [ ファイル形式] の設定が [RAW+JPEG] のときのみ設定できます。


### 関連項目

- [USB接続](#)
- [ファイル形式 \(静止画\)](#)
- [PCリモート設定 : 静止画の保存先](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 日時設定

日時設定画面は、初めて電源を入れたときや、内蔵バックアップ電池が消耗したときは自動で開きます。2回目以降に設定するとき、このメニューをお使いください。

**1** MENU →  (セットアップ) → [日時設定] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### サマータイム：

サマータイムの [入] / [切] を選ぶ。日本国内で使用するときは、[切] を選ぶ。

#### 日時：

日時を設定する。

#### 表示形式：

日付表示順を選ぶ。

### ヒント


- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時刻より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機でサマータイムを [入] にすると、時計が1時間進みます。
- 内蔵バックアップ電池を充電するには、本機に充電されたバッテリーを入れ、電源を切ったまま24時間以上放置してください。
- バッテリー充電のたびにリセットされる場合は、内蔵充電式バックアップ電池が消耗している場合があります。相談窓口にお問い合わせください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## エリア設定

---


本機を使用するエリアを設定します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [エリア設定] → 希望のエリアを選ぶ。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 著作権情報


静止画を撮影したとき、ファイルに著作権情報を書き込むことができます。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [著作権情報] → 希望の設定項目を選ぶ。
- 2 [撮影者名設定]、[著作権者名設定] を選ぶと、画面にキーボードが表示されるので、希望の名前を入力する。

### メニュー項目の詳細

#### 著作権情報書き込み：

静止画に著作権情報を書き込むかどうか設定する。（[入] / [切]）

- [入] を選ぶと、撮影画面に  が表示されます。

#### 撮影者名設定：

撮影者名を設定する。

#### 著作権者名設定：

著作権者名を設定する。

#### 著作権情報表示：

現在設定されている著作権情報を表示する。

### キーボードの使いかた

手動で文字入力が必要な場合は、キーボード画面が表示されます。



#### 1. 入力ボックス

入力した文字が表示されます。


#### 2. 文字種切り換え

● (決定) ボタンを押すたびに、アルファベット/数字/記号に切り換えられます。

#### 3. キーボード

● (決定) ボタンを押すたびに、表示されている文字が順番に表示されます。

#### 例：「abd」と入力したい場合

「abc」のキーを選び、● (決定) ボタンを1回押して「a」を表示→カーソル移動 (5) の「」を選び、● (決定) ボタンを押す→「abc」のキーを選び、● (決定) ボタンを2回押して「b」を表示→「def」のキーを選び、● (決定) ボタンを1回押して「d」を表示

#### 4. 確定

入力内容を確定します。

#### 5. カーソル移動

入力ボックス内のカーソルを左右に移動します。

## 6. 削除

カーソルの直前の文字を削除します。

## 7. ↑

アルファベットの大文字/小文字を切り換えます。

## 8. ⏏

空白をあけます。

- 途中で入力をやめる場合は、[キャンセル] を選択してください。

### ご注意

- [撮影者名設定]、[著作権者名設定] に入力できるのは、アルファベット、数字、記号のみです。最大46文字入力できます。
- 再生時、著作権情報が書き込まれた画像は、画面に © アイコンが表示されます。
- [著作権情報] の不正使用を未然に防ぐため、カメラを貸したり譲渡するときは、[撮影者名設定] と [著作権者名設定] 欄は必ず空欄にしてください。
- [著作権情報] の使用によってトラブルや損害が生じてても、弊社では一切の責任を負いかねます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

① MENU →  (セットアップ) → [フォーマット] を選ぶ。

### ご注意


- フォーマットすると、プロテクトしてある画像や登録情報（M1～M4）も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。
- フォーマット中はアクセスランプが点灯します。点灯中はメモリーカードを抜かないでください。
- メモリーカードのフォーマットは、本機で行ってください。パソコンでメモリーカードのフォーマットを行うと、フォーマットの形式によってはメモリーカードが使えなくなることがあります。
- メモリーカードによっては、フォーマットに数分かかる場合があります。
- バッテリー残量が1%未満のときは、フォーマットできません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ファイル番号

---

静止画のファイル番号の付けかたを設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [ファイル番号] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 連番：

ファイル番号をリセットせず、9999まで続けてファイル番号を付ける。

#### リセット：

フォルダーごとにファイル番号を0001から付ける。


(記録フォルダー内にファイルがある場合は、既存の最大番号+1のファイル番号を付ける。)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ファイル名設定

撮影する静止画のファイル名の先頭3文字を変更します。

- 1 MENU→ (セットアップ) → [ファイル名設定] を選ぶ。
- 2 ファイル名の入力欄を選ぶと、画面にキーボードが表示されるので、希望の3文字を入力する。

### ご注意

- 入力できるのは、大文字のアルファベット、数字、アンダーバーのみです。ただし、1文字目にアンダーバーは使用できません。
- [ファイル名設定] で設定したファイル名3文字は、設定後に撮影した画像にのみ適用されます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 記録フォルダー選択

【フォルダー形式】が【標準形式】に設定されていて、フォルダーが2つ以上存在する場合、撮影した画像を保存するフォルダー（記録フォルダー）を選べます。

① MENU → （セットアップ） → 【記録フォルダー選択】 → 希望のフォルダーを選ぶ。


### ご注意

- 【フォルダー形式】が【日付形式】に設定されているときは、記録フォルダーの選択はできません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## フォルダー新規作成

メモリーカードの中に、静止画を記録するための新しいフォルダーを作成します。既存番号+1のフォルダーが作成されます。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダーに記録されます。

① MENU→ (セットアップ) → [フォルダー新規作成] を選ぶ。


### ご注意

- 他機で使用していたメモリーカードを本機に入れて撮影すると、自動的に新しいフォルダーが作成される場合があります。
- 1つのフォルダー番号に記録できる画像は最大4000枚です。容量を超えると、自動的に新しいフォルダーが作成される場合があります。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## フォルダー形式

撮影した静止画は、メモリーカードの中のDCIMフォルダーの下に自動生成されたフォルダーに保存されます。そのフォルダー名の付けかたを変更します。

① MENU →  (セットアップ) → [フォルダー形式] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 標準形式：

フォルダー名が、フォルダー番号+MSDCFになる。

例：100MSDCF

#### 日付形式：

フォルダー名が、フォルダー番号+年月日（西暦下1桁月日4桁）になる。

例：10090405（100フォルダー、2019年4月5日）


#### ご注意

- 動画のフォルダー形式は変更できません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 管理ファイル修復

パソコンでファイルを操作したなどの原因で、画像を管理しているファイルに何らかの異常が発生すると、メモリーカード内の画像が再生できなくなります。そのような場合に管理ファイルの修復を行います。

① MENU →  (セットアップ) → [管理ファイル修復] → [実行] を選ぶ。

### ご注意

- 十分に充電したバッテリーをお使いください。残量の少ないバッテリーを使用して行くと、データを破損するおそれがあります。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## メディア残量表示

---

現在撮影できる動画の撮影可能時間を表示します。静止画の枚数も表示されます。

① MENU →  (セットアップ) → [メディア残量表示] を選ぶ。


デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## バージョン表示

本機のソフトウェアのバージョンを表示します。本機のファームウェアのアップデートがリリースされたときなどに確認します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [バージョン表示] を選ぶ。

### ご注意

- バッテリー残量が  (残量が3個) 以上でないと、アップデートは行えません。十分に充電したバッテリーをお使いください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 認証マーク表示

---

本機が対応している認証表示の一部を確認できます。


**1** MENU →  (セットアップ) → [認証マーク表示] を選ぶ。



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。 [設定リセット] を実行しても、画像は削除されません。

① MENU→ (セットアップ) → [設定リセット] →希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### 撮影設定リセット：

主な撮影モードの設定のみを初期値に戻す。

#### 初期化：

カメラのすべての設定を初期化する。

#### ご注意

- 設定リセット中はバッテリーを抜かないでください。
- [ピクチャープロファイル] で設定した値は、[撮影設定リセット]、[初期化] のいずれを行った場合もリセットされません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## Imaging Edge Mobileについて

スマートフォン用アプリケーションImaging Edge Mobileを使って、スマートフォンから本機を操作して画像を撮影したり、本機で撮影した画像をスマートフォンに転送することができます。Imaging Edge Mobileは、お使いのスマートフォンのアプリケーションストアからインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

Imaging Edge Mobileの詳細は、Imaging Edge Mobileのサポートページ (<https://www.sony.net/iem/>) をご覧ください。

### ご注意

- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。
- アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する機能（マルチ接続）を利用する場合は、Imaging Edge Mobile Ver. 7.2以上にアップデートが必要です。


### 関連項目

- [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## スマートフォン操作設定

本機とスマートフォンをWi-Fiで接続して、スマートフォンから本機を操作して画像を撮影したり、本機で撮影した画像をスマートフォンに転送することができます。

**1** MENU →  (ネットワーク) → [スマートフォン操作設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### スマートフォン操作：

本機とスマートフォンをWi-Fiで接続するかどうかを設定する。（[入] / [切]）

#### 接続方式：

本機とスマートフォンをWi-Fiで接続するときの接続方式を設定する。（[シングル] / [マルチ(グループオーナー)] / [マルチ(クライアント)]）

#### 接続情報：

本機とスマートフォンを接続するためのSSIDとQRコードを表示する。

#### WPSプッシュ：

マルチ接続で、本機がグループオーナーのときにクライアントと接続する。

#### クライアント時のアクセスポイント：

マルチ接続で、本機がクライアントのときのグループオーナーまたはアクセスポイントを確認・変更する。

### 関連項目


- [Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)
- [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)
- [スマートフォン転送機能：スマートフォン転送](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）

スマートフォン（またはタブレット）とカメラをWi-Fiで接続して、構図やカメラの設定をスマートフォンの画面で確認しながら撮影できます。



- 1 お使いのスマートフォンに、Imaging Edge Mobileをインストールする。
  - インストール済みの場合は、最新版にアップデートします。
- 2 MENU→（ネットワーク）→ [スマートフォン操作設定] を選び、以下のように設定する。
  - [スマートフォン操作] : [入]
  - [ 接続方式] : [シングル]
- 3 [スマートフォン操作設定] の [ 接続情報] を選ぶ。  
シングル接続専用のQRコードとSSIDが表示される。
- 4 スマートフォンでImaging Edge Mobileを起動して、[カメラのQRコード読取り] を選ぶ。
- 5 スマートフォンの画面で [OK] を選ぶ。
- 6 カメラに表示されたQRコードをスマートフォンで読み取る。
  - メッセージが表示されたら、再度 [OK] を選んでください。スマートフォンが本機に接続される。
- 7 スマートフォンの画面で構図を確認して、スマートフォンのシャッターボタンを押して撮影する。
  - [セルフタイマー] やスマートフォンへの画像保存の設定ができます。

### QRコードで接続できない場合

SSIDとパスワードを使ってスマートフォン（またはタブレット）と本機を接続します。

#### Androidの場合：

1. 上記の手順1～3のあと、本機の上ボタンを押す。  
本機の画面に本機のSSIDとパスワードが表示される。
2. スマートフォンでImaging Edge Mobileを起動する。
3. 本機（DIRECT-xxxx : xxxx）を選ぶ。

4. 本機に表示されているパスワードを入力する。  
スマートフォンが本機に接続される。






#### iPhone/iPadの場合：

1. 上記の手順1～3のあと、本機の上ボタンを押す。  
本機の画面に本機のSSIDとパスワードが表示される。
2. iPhoneまたはiPadのWi-Fi設定画面で本機（DIRECT-xxxx:xxxx）を選ぶ。
3. 本機に表示されているパスワードを入力する。  
iPhoneまたはiPadが本機に接続される。

#### ヒント

- QRコードを読み込むと、本機のSSID（DIRECT-xxxx）とパスワードがスマートフォンに登録され、2回目以降のWi-Fi接続時にSSIDを選ぶだけで本機とスマートフォンを接続できるようになります。

#### ご注意

- 以下の場合、Wi-Fi機能は無効になります。
  - [  記録方式 ] が [XAVC S 4K] のとき
  - [  記録方式 ] が [XAVC S HD] で [  記録設定 ] が [120p] のとき
  - [インターバル撮影] で撮影中
- 本機は [スマートフォン操作] の接続情報を、接続許可した機器と共有します。接続許可した機器を変更したい場合は、MENU→（ネットワーク）→ [Wi-Fi設定] → [SSID・PWリセット] で接続情報をリセットしてください。リセット後は、スマートフォンの再設定が必要です。
- 本機で [SSID・PWリセット] や [機器名称変更] を行った後は、以前読み取ったQRコードの情報ではWi-Fi接続ができなくなります。このときは、[  接続情報 ] で新しいQRコードを表示させてから再度読み取ってください。
- [飛行機モード] が [入] のときは接続できません。[飛行機モード] を [切] にしてください。
- 電波環境やスマートフォンの性能によっては、スマートフォン上でライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。
- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。

#### 関連項目

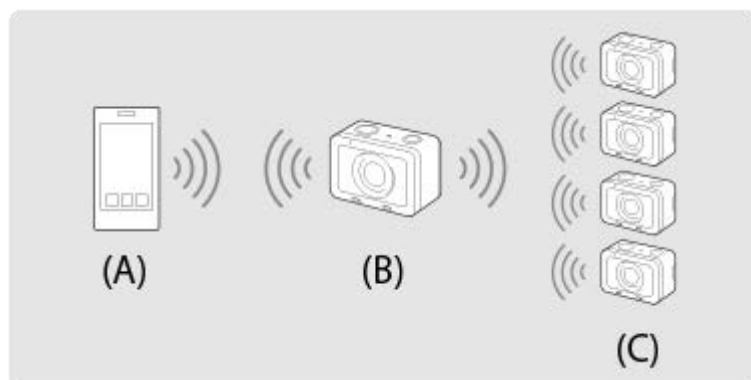
- [Imaging Edge Mobileについて](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)
- [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）

Imaging Edge Mobileを使って、スマートフォンから複数のカメラを操作することができます。最大で5台のカメラを同時に操作できます。

マルチ接続では、1台のカメラを「グループオーナー」に設定してスマートフォンにWi-Fiで接続します。そのほかのカメラは「クライアント」としてグループオーナーにWi-Fiで接続します。クライアントは、グループオーナーを通してスマートフォンと通信します。



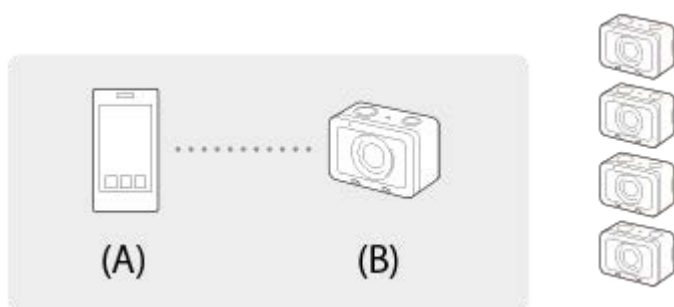
- (A) : スマートフォン
- (B) : グループオーナー
- (C) : クライアント

- グループオーナーまたはクライアントとして接続できるカメラは、「DSC-RX0M2」のみです。

### 1 グループオーナーとして接続するカメラで、MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン操作設定] を選び、以下のように設定する。

- [スマートフォン操作] : [入]
- [ 接続方式] : [マルチ(グループオーナー)]


### 2 スマートフォンとグループオーナーを接続する。




- (A) : スマートフォン
- (B) : グループオーナー

以下の手順でスマートフォンに接続してください。

1. **グループオーナーで、[スマートフォン操作設定] の [ 接続情報] を選ぶ。**  
マルチ接続専用のQRコードとSSIDが表示される。
2. **スマートフォンにインストールしたImaging Edge Mobileで、グループオーナーに表示されたQRコードを読み取る。**  
シングル接続時と同様の方法でQRコードを読み取ってください。

- カメラがグループオーナーとしてスマートフォンに接続されると、グループオーナーの撮影画面に  が白で表示されます。

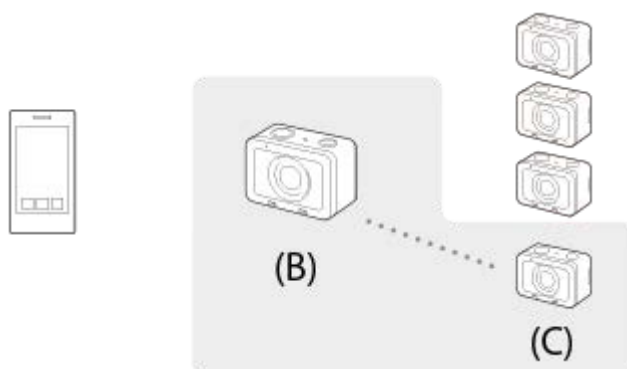
**3 クライアントとして接続するカメラで、MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン操作設定]を選び、以下のように設定する。**

- [スマートフォン操作] : [入]
- [ 接続方式] : [マルチ(クライアント)]

一度クライアントとして接続されたことがある場合は、前回接続したグループオーナーに自動的に接続されます。初めてクライアントとして接続する場合や前回接続したグループオーナーと接続できない場合は、アクセスポイントの設定が必要です。







以下の手順に進んでください。

**4 グループオーナーとクライアントを接続する。（初回のみ）**




- (B) : グループオーナー  
(C) : クライアント

以下の手順でグループオーナーに接続してください。

- 1. クライアントで [クライアント時のアクセスポイント] の [ WPSプッシュ] を実行する。**
  - クライアントの [ WPSプッシュ] は、MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン操作設定] → [クライアント時のアクセスポイント] → [確認] を選ぶことでも実行できます。
- 2. グループオーナーで、MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン操作設定] → [ WPSプッシュ] を選ぶ。**
  - MENUを開くと、一時的にスマートフォンとグループオーナー、クライアントの接続が切断されます。撮影画面に戻ると、自動的に再接続されます。
- 3. クライアントがグループオーナーのSSIDを検出したら、[確認] を選ぶ。**
  - カメラがクライアントとしてグループオーナーに接続されると、クライアントの撮影画面に  が白で表示されます。
  - さらにクライアントを追加する場合は、手順 3 と 4 を繰り返し行ってください。
  - すべてのクライアントの接続が終わったら、グループオーナーを撮影画面に戻してください。

## ヒント

- マルチ接続を2回目以降行うときは、前回グループオーナーとして接続したカメラをグループオーナーにすると、前回の設定のまま接続することができます。グループオーナーのカメラを変更する場合は、スマートフォンとグループオーナーの接続とグループオーナーとクライアントの接続を再度行う必要があります。
- クライアントで、MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン操作設定] → [クライアント時のアクセスポイント] を選ぶと、マルチ接続のグループオーナーを確認、変更できます。
- 6台以上のカメラをスマートフォンから操作するには、アクセスポイントを使ったマルチ接続を行ってください。

## ご注意

- 以下の場合、Wi-Fi機能は無効になります。
  - [記録方式] が [XAVC S 4K] のとき
  - [記録方式] が [XAVC S HD] で [記録設定] が [120p] のとき
  - [インターバル撮影] で撮影中
- 通信環境や相手機器によって通信距離は変わります。
- 水中ではWi-Fi接続はできません。
- 電波環境やスマートフォンの性能によっては、スマートフォン上でライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。
- [スマートフォン操作] が [入] のとき、カメラのバッテリー消費は早くなります。[スマートフォン操作] を使わないときは、[切] に設定してください。
- グループオーナーで [SSID・PWリセット] や [機器名称変更] を行った後は、以前マルチ接続を行ったスマートフォンやクライアントからグループオーナーへのWi-Fi接続ができなくなります。このときは、手順 ② ~ ④ を再度行って、スマートフォンとグループオーナー、グループオーナーとクライアントを接続し直してください。
- MENU操作中はWi-Fi機能が一時的に無効になります。そのため、グループオーナーでMENU操作を行うと、すべてのクライアントとの接続またはスマートフォンとの接続が切断されます。一定時間内にMENUを閉じると、自動的に再接続されます。
- カメラを設置するときは、グループオーナーと最も遠くにあるクライアントとの距離がなるべく短くなるように設置してください。

## 関連項目

- [Imaging Edge Mobileについて](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）](#)
- [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)



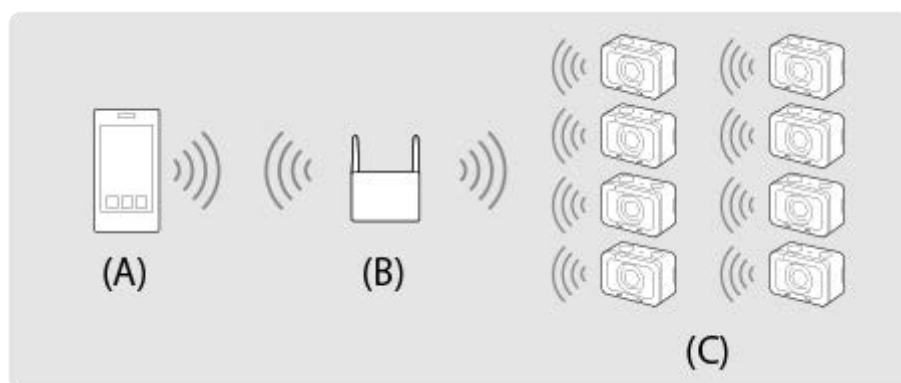
デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）

Imaging Edge Mobileを使って、スマートフォンから複数のカメラを操作することができます。6台以上のカメラでも同時に操作できます。最大50台のカメラを操作することができます。

本機能を利用するにはImaging Edge Mobile Ver. 7.2以上にアップデートする必要があります。

アクセスポイントを使用したマルチ接続では、すべてのカメラを「クライアント」としてアクセスポイントにWi-Fiで接続します。スマートフォンもアクセスポイントにWi-Fiで接続することで、アクセスポイントを経由してカメラと通信します。



- (A) : スマートフォン  
(B) : アクセスポイント  
(C) : カメラ（クライアント）

- クライアントとして接続できるカメラは、「DSC-RX0M2」のみです。

### 1 接続するすべてのカメラで、MENU→（ネットワーク）→ [スマートフォン操作設定] を選び、以下のように設定する。

- [スマートフォン操作] : [入]
- [ 接続方式] : [マルチ(クライアント)]

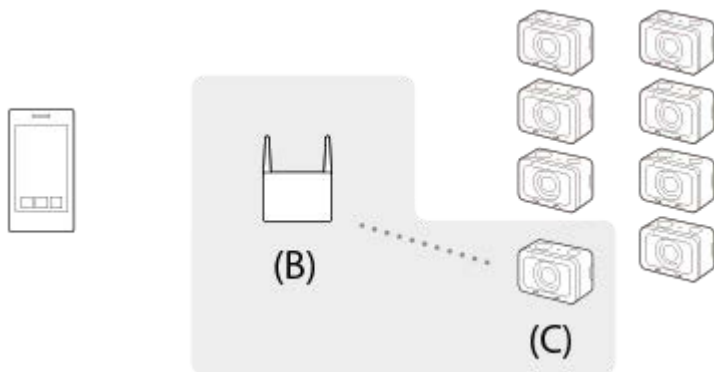
一度クライアントとしてアクセスポイントに接続されたことがある場合は、前回接続したアクセスポイントに自動的に接続されます。

初めてクライアントとして接続する場合や前回接続したアクセスポイントと接続できない場合は、アクセスポイントの設定が必要です。

以下の手順に進んでください。

### 2 カメラをアクセスポイントに接続する。（初回のみ）

- [パソコン保存] や [テレビ鑑賞] を行うためのアクセスポイント設定とは別に、スマートフォン操作を行うためのアクセスポイント設定が必要です。



- (B) : アクセスポイント  
 (C) : カメラ (クライアント)

以下の手順でアクセスポイントに接続してください。

#### 接続するアクセスポイントにWi-Fi Protected Setup (WPS) ボタンがある場合

##### 1. カメラで [クライアント時のアクセスポイント] の [ WPSプッシュ ] を実行する。

- [  WPSプッシュ ] は、MENU→ (ネットワーク) → [スマートフォン操作設定] → [クライアント時のアクセスポイント] → [確認] を選ぶことでも実行できます。

##### 2. アクセスポイントのWPSボタンを押す。

#### 接続するアクセスポイントにWi-Fi Protected Setup (WPS) ボタンがない場合

##### 1. カメラで [クライアント時のアクセスポイント] の [ アクセスポイント手動登録 ] を実行する。

- [  アクセスポイント手動登録 ] は、MENU→ (ネットワーク) → [スマートフォン操作設定] → [クライアント時のアクセスポイント] → [確認] を選ぶことでも実行できます。

##### 2. 接続したいアクセスポイントを選ぶ。

- 接続したいアクセスポイントが表示されない場合は [手動設定] を選び、アクセスポイントのSSIDを入力し、セキュリティ方法を選んでください。

##### 3. パスワードを入力して、[OK] を選ぶ。

- がないアクセスポイントは、パスワード入力が不要です。

##### 4. [IPアドレス設定] を [オート] または [マニュアル] から選んで、[OK] を選ぶ。

- [マニュアル] を選んだ場合は、ネットワーク環境に合わせて [IPアドレス] / [サブネットマスク] / [デフォルトゲートウェイ] を入力してください。

### 3 スマートフォンでアクセスポイントに接続し、Imaging Edge Mobileを起動する。

#### ヒント

- MENU→ (ネットワーク) → [スマートフォン操作設定] → [クライアント時のアクセスポイント] を選ぶと、接続先のアクセスポイントを確認、変更できます。
- MENU→ (ネットワーク) → [機器名称変更] を選ぶと、スマートフォンに表示されるカメラ名を変更できます。カメラを区別したいときに行ってください。

#### ご注意

- 以下の場合、Wi-Fi機能は無効になります。
  - [ 記録方式 ] が [XAVC S 4K] のとき
  - [ 記録方式 ] が [XAVC S HD] で [ 記録設定 ] が [120p] のとき
  - [インターバル撮影] で撮影中

- 通信環境や相手機器によって通信距離/接続可能台数は変わります。
- 水中ではWi-Fi接続はできません。
- 電波環境やスマートフォンの性能によっては、スマートフォン上でライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。
- [スマートフォン操作] が [入] のとき、カメラのバッテリー消費は早くなります。[スマートフォン操作] を使わないときは、[切] に設定してください。
- [ WPSプッシュ] は、お使いのアクセスポイントのセキュリティがWPAもしくはWPA2に設定されていて、Wi-Fi Protected Setup (WPS) プッシュボタン方式に対応している必要があります。セキュリティがWEPに設定されている場合やWi-Fi Protected Setup (WPS) プッシュボタン方式に未対応の場合は、[ アクセスポイント手動登録] を行ってください。
- お使いのアクセスポイントの対応機能や設定に関しては、アクセスポイントの取扱説明書をご参照いただくか、アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。
- 本機とアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、接続できなかつたり通信可能な距離が短くなることがあります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイント間の距離を近づけてください。
- 無線アクセスポイントがAOSSとWi-Fi Protected Setup (WPS) の両方に対応している場合は、AOSSボタンを押してください。

---

## 関連項目

- [Imaging Edge Mobileについて](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)
- [機器名称変更](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## Bluetooth機能でスマートフォンからカメラの電源を入/切する

本機とスマートフォンをBluetooth通信で接続して、本機の電源の入/切をスマートフォンから操作できます。複数のカメラを同時に接続できます。Wi-Fiのマルチ接続とは異なり、複数のカメラが直接スマートフォンに接続されます。

### 対応するスマートフォン

- Android端末：Android 5.0以降でBluetooth 4.0以降対応\*
- iPhone/iPad：iPhone 4S以降/iPad（第3世代）以降

\* 最新の情報はサポートページでご確認ください。

\* Bluetooth規格のバージョンは、お使いのスマートフォンの製品サイトでご確認ください。




### 事前に準備すること

事前に、以下の手順を行ってください。

1. スマートフォンにImaging Edge Mobileをインストールする。
2. Imaging Edge Mobileに [カメラのリモート電源ON/OFF] 機能を追加する。  
スマートフォンとカメラをWi-Fiで接続してください。  
一度Wi-Fiで接続すると、Imaging Edge Mobileに [カメラのリモート電源ON/OFF] 機能が追加されます。次回以降はWi-Fiでの接続は必要ありません。

### Bluetooth接続（ペアリング）




カメラとスマートフォンをBluetooth通信で接続（ペアリング）します。初回のみ必要な操作です。

1. スマートフォンのBluetooth機能が有効になっていることを確認する。
  - ここでは、Bluetooth機能のペアリング操作は不要です。
2. カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [Bluetooth設定] → [Bluetooth機能] → [入] を選ぶ。
  - このとき、カメラの [ リモート電源設定] も [入] になっていることを確認してください。
3. カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [Bluetooth設定] → [ペアリング] を選ぶ。
  - 本機の機器名称「DSC-RX0M2」がカメラのモニターに表示されます。
  - すでにBluetooth接続が完了している場合は、接続済みのスマートフォンの機種名が表示されます。
4. スマートフォンでImaging Edge Mobileを起動して、[カメラのリモート電源ON/OFF] を選ぶ。
  - [スキャン中...] と表示され、接続できる機器のリストが表示されます。
  - [カメラのリモート電源ON/OFF] が表示されていない場合は、「[事前に準備すること](#)」を行ってください。
5. スマートフォンに表示されたリストで、「DSC-RX0M2」の右側の [ペアリング] を選ぶ。
6. カメラに表示されたペアリングの確認画面で [確認] を選ぶ。
7. スマートフォンに表示されたペアリングの確認画面で [ペアリング] を選ぶ。
8. カメラに表示されたBluetooth接続の完了画面で [確認] を選ぶ。

- [Bluetooth設定] の画面に戻ります。

## スマートフォンからカメラの電源を入/切する

「Bluetooth接続（ペアリング）」の手順8まで完了していれば、次回からは以下の手順のみでスマートフォンからカメラの電源を入/切することができます。

1. スマートフォンでImaging Edge Mobileを起動して、[カメラのリモート電源ON/OFF] を選ぶ。
2. スマートフォンに表示されたリストで、「DSC-RX0M2」の右側の「」（電源マーク）を選ぶ。
  - カメラの電源が入っていない場合は電源が入り、「」（電源マーク）が緑色に変わります。
  - カメラの電源が入っている場合は電源が切れ、「」（電源マーク）が白色に変わります。

### ヒント

- スマートフォンには、Bluetooth接続されたカメラの台数分の機器名称が表示されます。電源の入/切を操作したいカメラを選択してください。

### ご注意

- カメラを初期化すると、ペアリング情報も削除されます。再度ペアリングするには、スマートフォン側のペアリング情報を削除し、「Bluetooth接続（ペアリング）」を行ってください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、カメラとスマートフォンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- 水中ではBluetooth機能は使えません。
- [Bluetooth機能] を [入] に設定しているときは、カメラの電源が入っていても少しずつバッテリーを消耗します。Bluetooth機能を使わないときは [切] に設定してください。
- 使用する環境によっては、Bluetooth機能とWi-Fi機能の通信距離が異なることがあります。


### 関連項目

- [Imaging Edge Mobileについて](#)
- [Bluetooth設定](#)
- [リモート電源設定](#)
- [機器名称変更](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## スマートフォン転送機能：スマートフォン転送

スマートフォンに静止画、XAVC S動画、ハイフレームレート動画を表示、転送します。お使いのスマートフォンにスマートフォン対応アプリImaging Edge Mobileをインストールする必要があります。

- 1 MENU→ (ネットワーク) → [スマートフォン転送機能] → [スマートフォン転送] →希望の設定を選ぶ。
- 2 接続可能な状態になると表示される画面の情報を使って、スマートフォンから本機に接続する。
  - 接続するための設定方法はスマートフォンによって異なります。




### メニュー項目の詳細

#### カメラから選ぶ：

スマートフォンに転送する画像を本機で選択する。

- (1) [この画像]、[この日付の全画像]または[画像選択]から選択する。


- カメラで選択しているビューモードによって、表示される選択肢が変わることがあります。

- (2) [画像選択]の場合は、 (決定) ボタンで画像を選択後、MENU→[実行]を選ぶ。

#### スマートフォンから選ぶ：

本機のメモリーカードに保存されているすべての画像を、まとめてスマートフォンに表示する。

#### ご注意

- 本機のメモリーカードに保存されていない画像は、スマートフォン転送できません。
- スマートフォンに転送する画像サイズは、[オリジナル]、[2M]または[VGA]から選べます。以下の手順で変更してください。
  - Android搭載のスマートフォンの場合  
Imaging Edge Mobileを起動し、[設定] → [コピー画サイズ] で変更する。
  - iPhoneまたはiPadの場合  
設定内のImaging Edge Mobileを選び、[コピー画サイズ]から変更する。
- RAW画像は、JPEG画像に変換して転送します。
- AVCHD動画は転送できません。
- スマートフォンによっては、動画を滑らかに再生できなかつたり音声が出ないなど、正しく再生できない場合があります。
- 静止画/動画/ハイフレームレート動画の形式によっては、スマートフォンで再生できないことがあります。
- 本機は[スマートフォン転送]の接続情報を、接続許可した機器と共有します。接続許可した機器を変更したい場合は、MENU→ (ネットワーク) → [Wi-Fi設定] → [SSID・PWリセット] で接続情報をリセットしてください。リセット後は、スマートフォンの再設定が必要です。

- [飛行機モード] が [入] のときは接続できません。[飛行機モード] を [切] にしてください。
- 多くの画像や長時間の動画を転送するときは、ACアダプター（付属）で外部電源から電力を供給しながら転送することをおすすめします。

---

#### 関連項目

- [Imaging Edge Mobileについて](#)
- [スマートフォン転送機能：転送対象（プロキシー動画）](#)
- [飛行機モード](#)

4-748-164-01(1) Copyright 2019 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## スマートフォン転送機能：転送対象（プロキシー動画）

［スマートフォン転送］でXAVC S動画をスマートフォンに転送するとき、低ビットレートのプロキシー動画と高ビットレートのオリジナル動画のどちらを転送するかを設定します。

- 1 MENU → （ネットワーク） → [スマートフォン転送機能] → [**Px** 転送対象] → 希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### プロキシーのみ：

プロキシー動画のみ転送する。

#### オリジナルのみ：

オリジナル動画のみ転送する。

#### プロキシー+オリジナル：

プロキシー動画とオリジナル動画を転送する。

#### ご注意

- 多くの画像や長時間の動画を転送するときは、ACアダプター（付属）で外部電源から電力を供給しながら転送することをおすすめします。

### 関連項目

- [スマートフォン転送機能：スマートフォン転送](#)
- [プロキシー記録](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 位置情報連動設定

Imaging Edge Mobileアプリを使って、Bluetooth通信で接続しているスマートフォンから位置情報を取得して、画像撮影時に位置情報を記録します。

### 事前準備


カメラの位置情報連動機能を使用するためには、Imaging Edge Mobileアプリが必要です。













Imaging Edge Mobileアプリのトップ画面に「位置情報連動」が表示されていない場合は、下記の事前準備が必要となります。


1. お使いのスマートフォンにImaging Edge Mobileアプリをインストールする。
  - Imaging Edge Mobileアプリは、お使いのスマートフォンのアプリケーションストアからインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
2. カメラの [スマートフォン転送] を使って、あらかじめ撮影した画像をスマートフォンに転送する。
  - カメラで撮影した画像をスマートフォンに転送すると、Imaging Edge Mobileアプリのトップ画面に「位置情報連動」が表示されるようになります。

### 実際の操作

 : スマートフォンでの操作

 : カメラでの操作

1.  : スマートフォンのBluetooth機能が有効になっていることを確認する。
  - このとき、スマートフォンの設定画面ではBluetooth機能のペアリング操作を行わないでください。手順2～7で、カメラとImaging Edge Mobileアプリを使ってペアリング操作を行います。
  - 手順1でペアリングを行ってしまった場合は、スマートフォンの設定画面でペアリングを一度解除し、カメラとImaging Edge Mobileアプリを使ってペアリング操作を行ってください（手順2～7）。
2.  : カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [Bluetooth設定] → [Bluetooth機能] → [入] を選ぶ。
3.  : カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [Bluetooth設定] → [ペアリング] を選ぶ。
4.  : スマートフォンでImaging Edge Mobileアプリを起動して、「位置情報連動」をタップする。
  - 「位置情報連動」が表示されていない場合は、事前準備を参照してください。
5.  : Imaging Edge Mobileアプリの [位置情報連動] の設定画面で [位置情報連動] を有効にする。
6.  : Imaging Edge Mobileアプリの [位置情報連動] の設定画面で指示に従って操作し、一覧からカメラを選ぶ。
7.  : カメラの画面にメッセージが表示されるので、[確認] を選択する。
  - カメラとImaging Edge Mobileアプリのペアリングが完了します。
8.  : カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [ 位置情報連動設定] → [位置情報連動] を [入] にする。

- カメラに  (位置情報取得アイコン) が表示され、スマートフォンがGPSなどで取得した位置情報が撮影時に記録されます。

## メニュー項目の詳細

### 位置情報連動：

スマートフォンと連動して位置情報を取得するかどうかを設定する。

### 自動時刻補正：


スマートフォンと連動した情報を使って、カメラの日付設定を自動で補正するかどうかを設定する。

### 自動エリア補正：

スマートフォンと連動した情報を使って、カメラのエリア設定を自動で補正するかどうかを設定する。

## 位置情報取得時のアイコンについて

 (位置情報取得)：位置情報を取得できています。

 (位置情報取得無効)：位置情報を取得できません。

 (Bluetooth接続中)：スマートフォンとBluetooth接続されています。

 (Bluetooth未接続)：スマートフォンとBluetooth接続されていません。

## ヒント

- スマートフォンの画面がOFFの場合でも、Imaging Edge Mobileが起動していれば位置情報連動します。ただし、本機の電源がしばらく切れていた場合、電源を入れても位置情報がすぐには連動しないことがあります。このようなときは、スマートフォンでImaging Edge Mobileアプリの画面を表示させるとすぐに位置情報が連動します。
- スマートフォンの再起動後などImaging Edge Mobileアプリが動作していない場合は、Imaging Edge Mobileアプリを起動すると位置情報連動が再開します。
- 位置情報連動機能が正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
  - スマートフォンのBluetooth機能が有効になっていることを確認する。
  - カメラが他の機器とBluetooth接続中でないことを確認する。
  - カメラの【飛行機モード】が【切】になっていることを確認する。
  - Imaging Edge Mobileアプリに登録されているカメラのペアリング情報を削除する。
  - カメラの【ネットワーク設定リセット】を実行する。

## ご注意

- カメラを初期化するとペアリング情報も削除されます。再度ペアリングするには、Imaging Edge Mobileアプリに登録されているカメラのペアリング情報を削除してから、もう一度ペアリングしてください。
- Bluetooth接続が切断されたときなど位置情報が取得できない場合、位置情報が記録されないことがあります。
- カメラはBluetooth機器を15台までペアリングできますが、同時に位置情報連動できるスマートフォンは1台のみです。ほかのスマートフォンと位置情報連動をする場合は、連動中のスマートフォンのImaging Edge Mobileアプリの【位置情報連動】をオフにしてください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、カメラとスマートフォンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- カメラとスマートフォンのペアリングは、必ずImaging Edge Mobileアプリの【位置情報連動】メニューから行ってください。
- 水中ではBluetooth機能は使えません。
- 【Bluetooth機能】を【入】に設定しているときは、カメラの電源が入っていても少しずつバッテリーを消耗します。Bluetooth機能を使わないときは【切】に設定してください。
- 使用する環境によっては、Bluetooth機能とWi-Fi機能の通信距離が異なることがあります。

## 対応するスマートフォン

- Android端末：Android 5.0以降でBluetooth 4.0以降対応\*
- iPhone/iPad：iPhone 4S以降/iPad（第3世代）以降

\* 最新の情報はサポートページでご確認ください。

\* Bluetooth規格のバージョンは、お使いのスマートフォンの製品サイトでご確認ください。

## 関連項目


- [PlayMemories Homeでできること](#)
- [Imaging Edge Mobileについて](#)
- [スマートフォン転送機能：スマートフォン転送](#)
- [Bluetooth設定](#)

4-748-164-01(1) Copyright 2019 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## パソコン保存

本機の画像を無線アクセスポイントまたは無線対応ブロードバンドルーターにつないだパソコンに転送し、簡単にバックアップを取ることができます。事前にPlayMemories Homeのインストールと、無線アクセスポイントの登録を行ってください。

- 1 パソコンを起動する。
- 2 MENU→ (ネットワーク) → [パソコン保存] を選ぶ。

### ご注意

- パソコンのアプリケーションの設定によっては、画像の保存が終わった後にカメラの電源が自動で切れます。
- 同時に画像を転送できるパソコンは、1台までです。
- 別のパソコンに転送したい場合は、お使いになりたいパソコンに本機をUSB接続して、PlayMemories Homeに従って操作してください。
- プロキシ動画は保存できません。

### 関連項目

- [PlayMemories Homeをインストールする](#)
- [Wi-Fi設定：アクセスポイント簡単登録](#)
- [Wi-Fi設定：アクセスポイント手動登録](#)

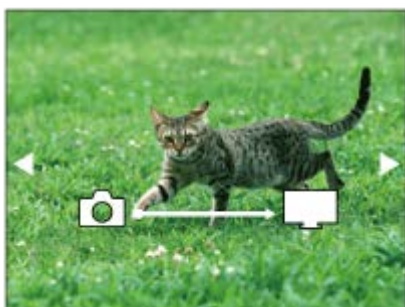
デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## テレビ鑑賞

本機とテレビをケーブルでつながなくても、本機から画像を転送して、Network対応のテレビで画像を見ることができます。お使いのテレビによってはあらかじめテレビ側の操作も必要になります。詳しくはテレビの取扱説明書をご参照ください。

① MENU→ (ネットワーク) → [テレビ鑑賞] →接続したい機器を選択する。

② スライドショー形式で再生したい場合は、 (決定) ボタンを押す。



- 手動で画像を送る場合は左/右ボタンを押す。
- 接続する機器を変更する場合は下ボタンを押して、[機器リスト] を選ぶ。

## スライドショーの設定項目

下ボタンを押してスライドショーの設定を変更できます。

### 再生対象：

再生する画像のグループを設定する。

### フォルダービュー（静止画）：

[全て] または [フォルダー内全て] から選択

### 日付ビュー：

[全て] または [日付内全て] から選択

### 間隔設定：

[短い] または [長い] から選択

### エフェクト\*：

[入] または [切] から選択

### 再生画像サイズ：

[HD] または [4K] から選択

\* 対応しているブラビアでのみ設定が有効です。

## ご注意

- DLNAレンダラーに対応しているテレビで使えます。
- Wi-Fi Direct対応、またはネットワーク機能（有線含む）に対応しているテレビで見ることができます。
- Wi-Fi Direct以外で接続する場合は、アクセスポイントの登録が必要です。
- 画像をテレビに映すまでに時間がかかることがあります。
- 動画はWi-Fi経由でテレビに転送できません。HDMIケーブル（別売）をお使いください。

---

---

## 関連項目


- [Wi-Fi設定 : アクセスポイント簡単登録](#)
- [Wi-Fi設定 : アクセスポイント手動登録](#)

4-748-164-01(1) Copyright 2019 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 飛行機モード

飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fiなど無線に関する機能の設定を一時的にすべて無効にできます。


**1** MENU→ (ネットワーク) → **【飛行機モード】** → **希望の設定を選ぶ。**

設定を [入] にすると、モニターに飛行機マークが表示されます。


デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## Wi-Fi設定 : アクセスポイント簡単登録

Wi-Fi Protected Setup (WPS)ボタンがあるアクセスポイントの場合は、簡単にアクセスポイントを登録できます。

- 1 MENU→ (ネットワーク) → [Wi-Fi設定] → [アクセスポイント簡単登録] を選ぶ。
- 2 登録したいアクセスポイントのWPSボタンを押す。

### ご注意

- [アクセスポイント簡単登録] は、お使いのアクセスポイントのセキュリティがWPAもしくはWPA2に設定されていて、Wi-Fi Protected Setup (WPS)プッシュボタン方式に対応している必要があります。セキュリティがWEPに設定されている場合やWi-Fi Protected Setup (WPS)プッシュボタン方式に未対応の場合は、[アクセスポイント手動登録]を行ってください。
- お使いのアクセスポイントの対応機能や設定に関しては、アクセスポイントの取扱説明書をご参照いただくか、アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。
- 本機とアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、接続できなかつたり通信可能な距離が短くなる場合があります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイント間の距離を近づけてください。
- 無線アクセスポイントがAOSSとWi-Fi Protected Setup (WPS)の両方に対応している場合は、AOSSボタンを押してください。
- アクセスポイントを使ったマルチ接続でスマートフォンからカメラを操作するときに接続するアクセスポイントは、MENU→ (ネットワーク) → [スマートフォン操作設定] → [クライアント時のアクセスポイント] で設定してください。

### 関連項目

- [Wi-Fi設定 : アクセスポイント手動登録](#)
- [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する \(マルチ接続\)](#)



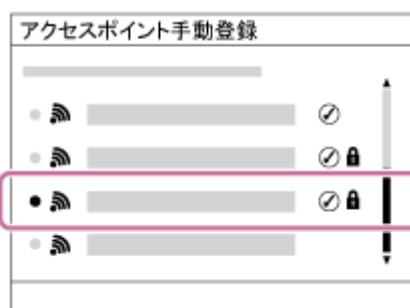
デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## Wi-Fi設定 : アクセスポイント手動登録

手動でアクセスポイントを登録できます。お手持ちのアクセスポイントのSSIDとセキュリティ方式、パスワードをあらかじめご確認ください。機器によってはあらかじめパスワードが設定されている場合があります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。

① MENU→ (ネットワーク) → [Wi-Fi設定] → [アクセスポイント手動登録] を選ぶ。

② 登録したいアクセスポイントを選ぶ。



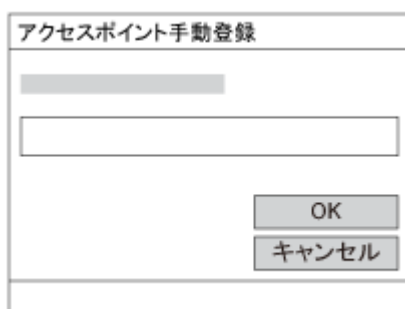
登録したいアクセスポイントが表示される場合：アクセスポイント名を選ぶ。


登録したいアクセスポイントが表示されない場合：[手動設定] を選び、アクセスポイントを設定する。

\* 入力方法については、「[キーボードの使いかた](#)」をご覧ください。

- [手動設定] を選択した場合は、アクセスポイントのSSID名を入力→セキュリティ方式を選択する。

③ パスワードを入力して、[OK] を選ぶ。



-  がないアクセスポイントは、パスワード入力が必要ありません。

④ [OK] を選ぶ。

### キーボードの使いかた

手動で文字入力が必要な場合は、キーボード画面が表示されます。



### 1. 入力ボックス

入力した文字が表示されます。

### 2. 文字種切り換え

● (決定) ボタンを押すたびに、アルファベット/数字/記号に切り換えられます。

### 3. キーボード

● (決定) ボタンを押すたびに、表示されている文字が順番に表示されます。

#### 例：「abd」と入力したい場合

「abc」のキーを選び、● (決定) ボタンを1回押して「a」を表示→カーソル移動 (5) の「➡」を選び、● (決定) ボタンを押す→「abc」のキーを選び、● (決定) ボタンを2回押して「b」を表示→「def」のキーを選び、● (決定) ボタンを1回押して「d」を表示

### 4. 確定

入力内容を確定します。

### 5. カーソル移動

入力ボックス内のカーソルを左右に移動します。

### 6. 削除

カーソルの直前の文字を削除します。

### 7. ⬆

アルファベットの大文字/小文字を切り換えます。

### 8. ⏎

空白をあけます。

- 途中で入力をやめる場合は、[キャンセル] を選択してください。

## その他の設定項目

アクセスポイントの状態や設定方法によっては、設定を決める項目が増えることがあります。

### WPS PIN方式：

接続機器側に入力するPINコードを表示する。

### 優先接続：

[入] または [切] を選ぶ。

### IPアドレス設定：

[オート] または [マニュアル] を選ぶ。


### IPアドレス：

手動で入力する場合は、固定アドレスを入力する。

### サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ：

[IPアドレス設定] を [マニュアル] とした場合、ネットワークの環境に合わせて入力する。

### ご注意

- 登録したアクセスポイントに今後も優先的に接続したい場合は、[優先接続] を [入] に設定してください。
- アクセスポイントを使ったマルチ接続でスマートフォンからカメラを操作するときに接続するアクセスポイントは、MENU→ (ネットワーク) → [スマートフォン操作設定] → [クライアント時のアクセスポイント] で設定してください。

## 関連項目

- [Wi-Fi設定 : アクセスポイント簡単登録](#)
- [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する \(マルチ接続\)](#)

4-748-164-01(1) Copyright 2019 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## Wi-Fi設定 : MACアドレス表示


---

本機のMACアドレスを表示します。

**1** MENU →  (ネットワーク) → [Wi-Fi設定] → [MACアドレス表示] を選ぶ。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## Wi-Fi設定 : SSID・PWリセット

本機は [スマートフォン転送]、[スマートフォン操作設定] の [ 接続情報] の接続情報を、接続許可した機器と共有します。接続許可した機器を変更したい場合は、接続情報をリセットしてください。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [Wi-Fi設定] → [SSID・PWリセット] → [確認] を選ぶ。

### ご注意

- 接続情報のリセット後に再度本機とスマートフォンを接続する場合は、スマートフォンの再設定が必要です。

### 関連項目

- [スマートフォン転送機能 : スマートフォン転送](#)
- [スマートフォン操作設定](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## Bluetooth設定

カメラとスマートフォンをBluetooth接続するための設定をします。スマートフォンからカメラの電源を入/切する機能、または位置情報連動機能を使うためには、あらかじめカメラとスマートフォンをペアリングする必要があります。ペアリングする方法は、使いたい機能に応じて「[Bluetooth機能でスマートフォンからカメラの電源を入/切する](#)」または「[位置情報連動設定](#)」をご覧ください。

① MENU→ (ネットワーク) → **[Bluetooth設定]** →希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

#### Bluetooth機能（入/切）：

カメラのBluetooth機能を有効にするかどうかを設定する。

#### ペアリング：

Imaging Edge Mobileアプリを使ってカメラとスマートフォンをペアリングする画面になる。

#### 機器アドレス表示：

カメラのBDアドレスを表示する。

### 関連項目

- [Bluetooth機能でスマートフォンからカメラの電源を入/切する](#)
- [位置情報連動設定](#)
- [リモート電源設定](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## リモート電源設定

Bluetooth接続されたスマートフォンから本機の電源を入/切する機能を設定します。

① MENU→ (ネットワーク) → [ リモート電源設定] →希望の設定を選ぶ。

### メニュー項目の詳細

切：

Bluetooth接続されたスマートフォンから本機の電源を入/切する機能を使用しない。

入：

Bluetooth接続されたスマートフォンから本機の電源を入/切する機能を有効にする。


### 関連項目

- [Bluetooth機能でスマートフォンからカメラの電源を入/切する](#)
- [Bluetooth設定](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 機器名称変更

Wi-Fi DirectなどのWi-Fi接続時、Bluetooth接続時の機器名称を変更します。

- 1 MENU→ (ネットワーク) → [機器名称変更] を選ぶ。
- 2 入力ボックスを選択して、機器名称を入力→ [OK] を選ぶ。
  - 入力方法については、「[キーボードの使いかた](#)」をご覧ください。

### 関連項目

- [Wi-Fi設定 : アクセスポイント簡単登録](#)
- [Wi-Fi設定 : アクセスポイント手動登録](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ネットワーク設定リセット

---

ネットワークに関する設定をお買い上げ時の設定に戻します。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [ネットワーク設定リセット] → [実行] を選ぶ。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## パソコンの推奨環境

---

ソフトウェアのパソコン環境は以下のURLよりご確認ください。

<https://www.sony.net/pcenv/>

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## Mac用ソフトウェアについて

---

Mac用ソフトウェアの詳細は以下のURLをご覧ください。

<https://www.sony.net/disoft/>

### ご注意

- 地域によって使用できるソフトウェアが異なります。

---

### 関連項目

- [パソコン保存](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## PlayMemories Homeでできること

---

PlayMemories Homeをご利用になると、次のことなどができます。

- 本機で撮影した画像をパソコンに取り込めます。
- パソコンに取り込んだ画像を再生できます。
- PlayMemories Onlineを使って画像をシェアできます。
- 動画のカットや結合などの編集ができます。
- 動画にBGMやテキストの効果を加えることができます。
- 動画やスローモーション動画に変速効果を加えることができます。

Windowsでは次のこともできます。

- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上で表示できます。
- 静止画の切り抜き（トリミング）、サイズ変更（リサイズ）などの編集や補正ができます。
- パソコンに取り込んだ動画から、ディスクを作成できます。  
XAVC S動画からは、ブルーレイディスクまたはAVCHDディスクを作成できます。
- 画像をネットワークサービスにアップロードできます（インターネット接続環境が必要です）。
- その他詳しくは、PlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## PlayMemories Homeをインストールする

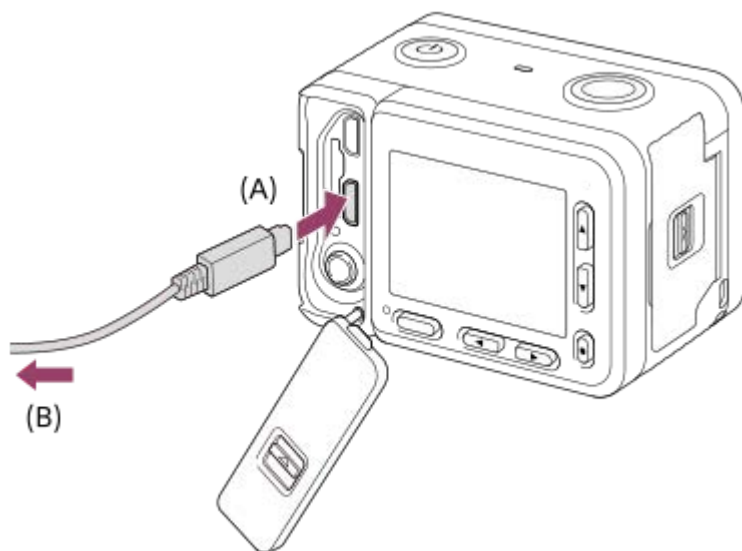
### 1 パソコンのインターネットブラウザで以下のURLにアクセスし、画面の指示に従ってダウンロードする。

<https://www.sony.net/pm/>

- インターネット接続が必要です。
- 詳しい操作方法は、PlayMemories Homeのサポートページをご覧ください。  
<https://www.sony.co.jp/pmh-sj/>

### 2 本機とパソコンを付属のマイクロUSBケーブルで接続し、本機の電源を入れる。

- PlayMemories Homeに新たに機能が追加されることがあります。すでにPlayMemories Homeがインストールされている場合でも、本機とパソコンを接続してください。
- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマイクロUSBケーブル（付属）をはずさないでください。データが壊れることがあります。



A : マルチ/マイクロUSB端子へ  
B : パソコンのUSB端子へ

### ご注意

- パソコンにはコンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- パソコンの再起動が必要な場合があります。再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。
- 使用環境によっては、DirectXが引き続きインストールされることがあります。


### ヒント

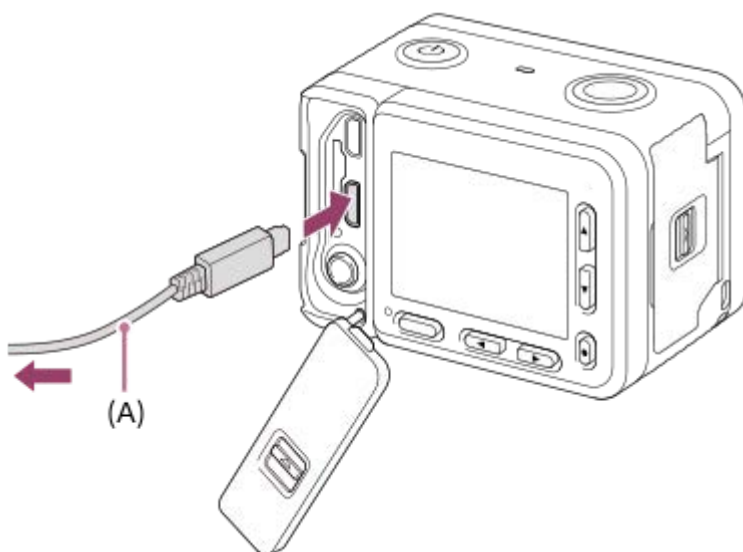
- PlayMemories Homeについて詳しくはPlayMemories Homeのヘルプ、またはPlayMemories Homeサポートページ (<https://www.sony.co.jp/pmh-sj/>) をご覧ください。



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 本機とパソコンを接続する

- 1 十分に充電したバッテリーを本機に入れる。
- 2 本機とパソコンの電源を入れる。
- 3  (セットアップ) の [USB接続] が [マスメージ] になっていることを確認する。
- 4 本機をマイクロUSBケーブル (付属) (A) で接続する。



- 初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。
- [USB給電] が [入] になっているとき、パソコンと本機をマイクロUSBケーブルでつなぐとパソコンから給電が始まります。(初期設定は [入] です。)

### ご注意

- 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。

### 関連項目

- [USB接続](#)
- [USB LUN設定](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## PlayMemories Homeを使わずに画像をパソコンに取り込む

PlayMemories Homeを使うと、簡単に画像を取り込めます。PlayMemories Homeの機能について詳しくは、PlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

### PlayMemories Homeを使わずに、Windowsに画像を取り込むには

本機とパソコンを接続して自動再生ウィザードが起動したら、[フォルダを開いてファイルを表示] → [OK] → [DCIM] をクリックして、取り込みたい画像をパソコン内にコピーしてください。

### PlayMemories Homeを使わずに、Macに画像を取り込むには

本機とMacを接続したら、デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン→取り込みたい画像の入ったフォルダの順にダブルクリックして、画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ&ドロップしてください。

#### ご注意

- XAVC S動画やAVCHD動画を取り込むなどの操作はPlayMemories Homeを使用してください。
- 本機とパソコンを接続した状態で、パソコンから本機のAVCHD動画ファイルやフォルダを操作した場合、動画ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。パソコンから本機のメモリーカード上のAVCHD動画を削除したりコピーしたりしないでください。このような操作をした結果に対し、当社は責任を負いかねます。



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## パソコンとの接続を切断する

USB接続された本機とパソコンの接続を切断します。

以下の操作を行いたいときは、1～2の手順をあらかじめ行ってください。

- USBケーブルを抜く
- メモリーカードを取り出す
- 本機の電源を切る

**1** タスクトレイの  (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す) をクリックする。

**2** 表示されたメッセージをクリックする。

### ご注意

- Mac使用時は、あらかじめメモリーカード、またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。
- Windows 7、Windows 8使用時は、切断アイコンが出ない場合があります。その場合は上の手順は行わずに切断できます。
- アクセスランプが点灯しているときは、マイクロUSBケーブルを抜かないでください。データが壊れることがあります。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## Imaging Edgeについて

Imaging Edgeは、パソコンから本機を操作するリモート撮影や、本機で撮影したRAW画像の調整・現像などの機能を含む、ソフトウェアシリーズです。


### Viewer :

画像の閲覧や検索を行います。

### Edit :

画像をトーンカーブやシャープネスなど多彩な補正機能で編集したり、RAW画像を現像したりすることができます。

### Remote :

USBケーブルで本機と接続したパソコンから本機の設定をしたり撮影するなどのコントロールができます。パソコンから本機をコントロールするときは、USBケーブルで本機をパソコンに接続する前に、MENU →  (セットアップ) → [USB接続] → [PCリモート] を選んでください。

詳しい使いかたは、Imaging Edgeのサポートページをご覧ください。

<https://www.sony.net/disoft/help/>

## Imaging Edgeをパソコンにインストールするには

以下のURLからソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。

<https://www.sony.net/disoft/d/>

### 関連項目

- [USB接続](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 作成するディスクを決める

本機で記録した動画から、他の機器で再生できるディスクを作成することができます。  
ディスクの種類によって、再生可能な機器が異なります。お使いの再生機器に合わせて、作成するディスクの種類を選択してください。

動画の種類によって、ディスク作成時にフォーマットが変換されます。



### ハイビジョン画質 (HD) (ブルーレイディスク)

ハイビジョン画質 (HD) の動画をブルーレイディスクに記録して、ディスクを作成します。  
ブルーレイディスクには、ハイビジョン画質 (HD) の動画をDVDディスクに比べ長時間記録できます。

記録できる動画フォーマット： XAVC S、AVCHD

再生機器： ブルーレイディスク再生機器 (ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、「プレイステーション4」など)



### ハイビジョン画質 (HD) (AVCHD記録ディスク)

ハイビジョン画質 (HD) の動画をDVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

記録できる動画フォーマット： XAVC S、AVCHD

再生機器： AVCHD規格対応再生機器 (ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、「プレイステーション4」など)。一般的なDVDプレーヤーでは再生できません。



### 標準画質 (STD)

ハイビジョン画質 (HD) の動画を標準画質 (STD) に変換し、DVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

記録できる動画フォーマット： AVCHD

再生機器： 一般的なDVD再生機器 (DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど)

### ヒント

- PlayMemories Homeでは以下の12cmのディスクが使えます。  
**BD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL**：書き換えできません。  
**BD-RE/DVD-RW/DVD+RW**：書き換えて再利用できます。  
追加記録はできません。
- 「プレイステーション4」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントのウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.jp.playstation.com/ps4/update/>

### ご注意

- 4K動画は、4K画質のままディスクに書き込むことはできません。

### 関連項目

- [ハイビジョン画質でブルーレイディスクを作成する](#)

- ハイビジョン画質でDVD（AVCHD記録ディスク）を作成する
- 標準画質でDVDを作成する

4-748-164-01(1) Copyright 2019 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ハイビジョン画質でブルーレイディスクを作成する

ブルーレイディスク再生機器（ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション4など）で再生できるブルーレイディスクを作ります。

### A. パソコンで作成する

パソコンに取り込んだ動画から、PlayMemories Homeを使ってブルーレイディスクを作成できます（Windowsのみ）。

お使いのパソコンがブルーレイディスク作成に対応している必要があります。


初めてご使用になる際は、パソコンにUSBケーブルでカメラを接続してください。必要なソフトウェアが自動で追加されます。（インターネット接続が必要です。）

PlayMemories Homeを使ったディスクの作りかたについての詳細はPlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

### B. パソコン以外の機器で作成する

ブルーレイディスクレコーダーなどでもブルーレイディスクを作成できます。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

#### ご注意

- [  記録方式 ] をXAVC Sにして撮影した動画はPlayMemories Homeでのディスク作成時、1920×1080/60iに変換されます。そのままの画質でディスクを作成することはできません。そのままの画質で保存したいときは、パソコンまたは外付けメディアに保存してください。

#### 関連項目

- [作成するディスクを決める](#)
- [ハイビジョン画質でDVD（AVCHD記録ディスク）を作成する](#)
- [標準画質でDVDを作成する](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ハイビジョン画質でDVD（AVCHD記録ディスク）を作成する

AVCHD規格対応再生機器（ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション4など）で再生できるDVD（AVCHD記録ディスク）を作ります。

### A. パソコンで作成する

パソコンに取り込んだ動画から、PlayMemories Homeを使ってDVD（AVCHD記録ディスク）を作成できます（Windowsのみ）。

お使いのパソコンがDVD（AVCHD記録ディスク）作成に対応している必要があります。




初めてご使用になる際は、パソコンにUSBケーブルでカメラを接続してください。必要なソフトウェアが自動で追加されます。（インターネット接続が必要です。）

PlayMemories Homeを使ったディスクの作りかたについての詳細はPlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

### B. パソコン以外の機器で作成する

ブルーレイディスクレコーダーなどでもDVD（AVCHD記録ディスク）を作成できます。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

#### ご注意

- [  記録方式 ] をXAVC Sにして撮影した動画はPlayMemories Homeでのディスク作成時、1920×1080/60iに変換されます。そのままの画質でディスクを作成することはできません。そのままの画質で保存したいときは、パソコンまたは外付けメディアに保存してください。
- [  記録方式 ] をAVCHD、[  記録設定 ] を[60i 24M(FX)]にして撮影した動画は、PlayMemories HomeでのAVCHD記録ディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。そのままの画質で保存したいときは、ブルーレイディスクに保存してください。

#### 関連項目

- [作成するディスクを決める](#)
- [ハイビジョン画質でブルーレイディスクを作成する](#)
- [標準画質でDVDを作成する](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 標準画質でDVDを作成する

一般的なDVD再生機器（DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど）で再生できるDVDを作ります。

### A. パソコンで作成する

パソコンに取り込んだ動画から、PlayMemories Homeを使ってDVDを作成できます（Windowsのみ）。

お使いのパソコンがDVD作成に対応している必要があります。

初めてご使用になる際は、パソコンにUSBケーブルでカメラを接続し、画面の指示に従って専用のアドオンソフトウェアをインストールしてください。（インターネット接続が必要です。）

PlayMemories Homeを使ったディスクの作りかたについての詳細はPlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

### B. パソコン以外の機器で作成する

ブルーレイレコーダーやHDDレコーダーなどでもDVDを作成できます。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

### 関連項目

- [作成するディスクを決める](#)
- [ハイビジョン画質でブルーレイディスクを作成する](#)
- [ハイビジョン画質でDVD（AVCHD記録ディスク）を作成する](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2


## カメラコントロールボックスについて

カメラコントロールボックスCCB-WD1（別売）を使うと、パソコンのウェブブラウザから次のことができます。


- 複数のカメラを使って同時に撮影
- 複数のカメラの設定を一括で変更

カメラコントロールボックスを使った撮影について詳しくは、カメラコントロールボックスの取扱説明書をご覧ください。

### ヒント

- カメラコントロールボックスを使った撮影で、設置したカメラを長時間使用する場合は、MENU→（セットアップ）→ [自動電源OFF温度] を [高] に設定することをおすすめします。

### ご注意

- カメラコントロールボックスをお使いになるときは、MENU→（セットアップ）→ [USB接続] を [PCリモート] に設定してください。



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 使用上のご注意

スタートガイド（付属）の「お使いになる前に必ずお読みください」もあわせてお読みください。

### 数値について

- 性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温（25℃）下でのものです。
- バッテリーについては、充電ランプ消灯まで充電した状態のバッテリーを使用したときのものです。

### 動作温度についてのご注意

- 動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。十分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

### 長時間撮影および4K動画撮影についてのご注意

特に4K動画撮影では低温環境下において撮影時間が短くなる場合があります。バッテリーを温めるか新しいバッテリーをお使いください。

### 他機での動画再生に際してのご注意

XAVC Sの動画は、対応機器以外では再生できません。

### 撮影・再生に際してのご注意

- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機で撮影した画像や動画の他機での再生、他機で撮影/修正した画像や動画の本機での再生は保証いたしません。あらかじめご了承ください。
- 万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声など記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。
- フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

### メモリーカードのバックアップについて

以下の場合など、データが破壊されることがあります。データ保護のために必ずバックアップをお取りください。

- 読み込み中または書き込み中にメモリーカードを取り出したり、USBケーブルを抜いたり、本機の電源を切った場合
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

### 管理ファイルエラーについて

- 管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成するため、次の操作まで時間がかかることがあります。
- 管理ファイルエラーが発生したときは、PlayMemories Homeですべての画像をパソコンに取り込んでから、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。

## 使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所  
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管  
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所  
誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- 強力な磁気のある場所
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所  
正しく撮影・再生ができないことがあります。

## 結露について

- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。
- 結露を起こりにくくするために本機を寒い所から急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。
- 結露が起きたときは、電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

## 持ち運び時のご注意

- 次の機構を搭載している機種は、その部分を持ったり、ぶついたり、無理な力を加えないでください。
  - レンズ部
  - 可動式モニター部
  - 可動式フラッシュ部
  - 可動式ファインダー部
- 本機に三脚を取り付けたまま、持ち運ばないでください。三脚取り付け部が破損するおそれがあります。
- ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

## 本機の取り扱いについてのご注意

- 端子にケーブルを接続する際は、必ず端子の向きを確認してから、ケーブルをまっすぐに差ししてください。無理に抜き差しすると、端子部の破損の原因になります。
- 本機は磁石など磁気がある部品を使用しています。本機にクレジットカードやフロッピーディスクなど磁気の影響を受ける物を近づけないでください。
- 撮影する前に確認する画像は、実際の撮影結果と異なることがあります。

## 保管方法

- レンズ一体型カメラのとき  
使用しないときは、必ずレンズキャップを付けてください。（付属品にレンズキャップのある機種のみ）
- レンズ交換式カメラのとき  
使用しないときは、必ずレンズフロントキャップまたはボディキャップを付けてください。ボディキャップを付ける際には、本機内部にほこりが入るのを防ぐため、ボディキャップのほこりを落としてから付けてください。
- 使用後に汚れた場合は、本機を清掃してください。水、砂、ほこり、塩分などが本機に残っていると、故障の原因になります。

## レンズについてのご注意

- 電動ズーム使用時に物や指を引き込まれないように注意してください。（電動ズーム機構搭載機種またはレンズ交換式カメラのみ）
- やむを得ず太陽光などの光源下におく場合は、レンズキャップを取り付けてください。（付属品にレンズキャップのある機種またはレンズ交換式カメラのみ）

- 逆光での撮影時は、太陽を画角から充分にずらしてください。太陽光がカメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となることがあります。また、太陽を画角からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがあります。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- 被写体までの距離が短い場合、レンズに付着したごみや指紋が写り込むことがあります。柔らかい布などを使って、レンズを拭いてください。

## フラッシュについてのご注意（フラッシュ搭載機種のみ）

- フラッシュ部の近くに指を置かないでください。発光部が高温になるため危険です。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。フラッシュ表面の汚れが発光による熱で発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布などで清掃してください。
- フラッシュ使用後は、フラッシュを元の位置に戻してください。このときフラッシュ部に浮きがないように注意してください。（可動式フラッシュ搭載機種のみ）

## マルチインターフェースシューについてのご注意（マルチインターフェースシュー搭載機種のみ）

- フラッシュなどのアクセサリを本機のマルチインターフェースシューに取り付け/取りはずしする場合は、電源を「OFF」にしてから行ってください。取り付けの際は、本機にしっかり固定されていることを確認してください。
- マルチインターフェースシューに、250V以上の電圧がかかる市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。故障の原因になります。

## ファインダー、フラッシュについてのご注意（ファインダー/フラッシュ搭載機種のみ）

- ファインダー部やフラッシュ部を下げるときは、指や手を挟まないように注意してください。（可動式ファインダー/フラッシュ搭載機種のみ）
- 上がったファインダー部やフラッシュ部に水滴や砂埃が入ると故障の原因になります。（可動式ファインダー/可動式フラッシュ搭載機種のみ）

## ファインダーについてのご注意（ファインダー搭載機種のみ）

- ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出る場合があります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。
- 接眼部を引き出した状態で無理にファインダーを押し込まないでください。故障の原因になります。（可動式ファインダー搭載機種で、さらに接眼部が引き出す構造の機種のみ）
- ファインダーをのぞきながらパンしたり、視線を上下左右に動かすと、ファインダーの画像が歪んだり、色合いが変わって見える場合があります。これはレンズや表示デバイスの特性によるもので、故障ではありません。なるべくファインダーの中央付近を見るようにして撮影してください。
- ファインダーの周辺部分の画像が少し歪んで見える場合がありますが、故障ではありません。構図の隅々まで確認して撮影したいときは、モニターも使用してください。
- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

## モニターについてのご注意

- モニターを強く押さないでください。モニターにムラが出たり、モニターの故障の原因になります。
- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

## 画像の互換性について

本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”（DCF）に対応しています。

## 他社のサービス/ソフトウェアについて

本製品に搭載され、又は本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツおよびソフトウェア（オペレーションシステム含む）には、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了したり、内容が変更されたり、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

---

## 関連項目

- [防水/防じん・耐衝撃性能について](#)

4-748-164-01(1) Copyright 2019 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

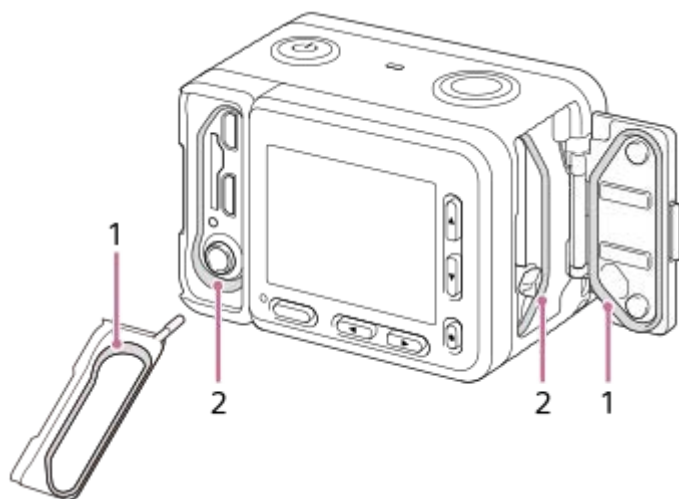
## 防水/防じん・耐衝撃性能について

本機は防水/防じん性能、耐衝撃性能を強化していますが、誤った使いかたによる故障は保証の対象外となります。

- JIS保護等級IP68相当の防水/防じん性能があります。水深10 m/60分までの撮影が可能です。
  - 高い水圧がかかることがあるため、水道などからの勢いのある水を、直接あてないでください。
  - 温泉で使用しないでください。
  - 推奨動作温度0℃から+40℃の水温でご使用ください。
- 耐衝撃性能はMIL-STD810G C1 Method 516.7-Shock (米・国防省衝撃テスト基準) に準拠した厚さ5 cmの合板上での2.0 mからの落下にて当社内部テストをクリアしております。\*
  - \* カメラのモニター位置を閉じた状態にて実施。モニターを引き出したときなど、すべての状態において無破損・無故障・防水/防じん性能を保証するものではありません。
  - 耐衝撃性能については、傷やへこみが見つからないことを保証するものではありません。
  - 落下などの強い衝撃を与えた場合は、防水/防じん性能を保証しません。修理相談窓口での点検をおすすめします (有料)。
- 付属品は防水/防じん・耐衝撃仕様ではありません。

## 水中・水辺で使用する前のご注意

- バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーについて
  - 砂、髪の毛、ほこりなどの異物を、バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーに挟み込まないようにしてください。わずかな異物でも浸水の原因となります。
  - 必ずバッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーが確実にロックされていることを確認してください。バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーを開いた状態では、防水/防じん性能は保証されません。
  - バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーの開け閉めは、カメラ全体が完全に乾いた状態で行ってください。
  - 水中・水辺での使用中や、手に水や砂がついているときは、絶対にバッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーの開け閉めを行わないでください。水や砂が本機の中に入って故障の原因となります。カバーを開ける前に必ず「水中・水辺で使用した後のお手入れ」を行ってください。
- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面について



- 1 防水パッキン
- 2 防水パッキンの当たる面

- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面に傷がついていないことを確認してください。わずかな傷でも浸水の原因になります。傷がついてしまった場合は、修理相談窓口にご相談いただき、防水パッキンを交換してください（有料）。
- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面にゴミや砂がついているときは、繊維の残らない柔らかい布等で拭き取ってください。
- バッテリー充電時やケーブル使用時に、防水パッキンに触れて傷をつけないようにしてください。

## 水中・水辺で使用中的ご注意

- バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーを開けた状態では、防水/防じん性能は保証されません。
- 水中・水辺で、バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーの開け閉めを行わないでください。
- 水中に飛び込むなど、カメラに衝撃を与えないでください。
- 本機は水中で沈みます。水没防止のためにストラップなどをご使用ください。
- 水深10m付近では水圧によりモニターの表面がたわむことがあります。故障ではありません。
- 水中に適した設定については「[水中で撮る](#)」もあわせてご確認ください。

## 水中・水辺で使用した後のお手入れ

- バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーを開ける前に必ず水洗いしてください。見えないところに水や砂が入り込んでいることがあり、塩、砂等を付着したままにしておくと防水性能が劣化します。
- 必ず使用後60分以内に、次のお手入れを行ってください。
  - 容器にためた真水に5分程度つけ置いてから、水の中で本体を揺すったり、各ボタンを動かして、ボタンのすきまに入った塩、砂等をしっかりと洗い流してください。水につけた際には泡が出ることがありますが、故障ではありません。



- 洗ったあと、柔らかい布で水滴を拭き取り、しばらく乾いた布の上に本機のレンズ面を下にして置き、水を抜いてから、風通しの良い日陰で十分に乾かしてください。
  - バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーの内側に水滴や異物が残っていたら、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
  - ドライヤーの熱風で乾燥させると、変形により、防水性能が劣化するおそれがあるため行わないでください。
- お手入れのあと、撮影時に音声録音されていなかったり、小さい音で録音されてしまう場合は、内蔵マイクから水が抜け切れていない可能性があります。十分に水抜きしてからご使用ください。
  - 日焼け止めやサンオイルが付着すると、カメラの表面が変色することがあります。また、防水パッキン部に付着するとパッキンが劣化することがあります。付着させてしまった場合は速やかに拭き取ってください。
  - 塩水に浸した状態や塩水が付着した状態で放置しないでください。腐食や変色、防水性能の劣化の原因になります。
  - 防水性能を維持するために、1年に1回はお買い上げ時の販売店か修理相談窓口にご相談いただき、バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーの防水パッキンを交換することをおすすめします（有料）。

## 関連項目

- [水中で撮る](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切や電池の有無に関係なく保持するために充電式バックアップ電池を内蔵しています。充電式バックアップ電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式バックアップ電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。バッテリー充電のたびにリセットされる場合は、内蔵充電式バックアップ電池が消耗している場合があります。相談窓口にお問い合わせください。

### 内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れるか、ACアダプター（付属）を使ってコンセントにつないで、電源を切ったまま24時間以上放置する。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## お手入れについて

---

### 表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下のことは行わないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類の使用
- 上記が手に付いたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

### モニターをきれいにする

- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のゴミなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにするをおすすめします。

---

### 関連項目

- [防水/防じん・耐衝撃性能について](#)



デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 静止画の記録可能枚数

メモリーカードを入れて電源を入れると、画面に撮影可能枚数（現在の設定で撮影を続けると、あと何枚撮影できるか）が表示されます。


### ご注意


- 撮影可能枚数が「0」でオレンジ色に点滅したときは、メモリーカードの容量がいっぱいです。メモリーカードを交換するか、メモリーカード内の画像を削除してください。
- 「NO CARD」がオレンジ色で点滅したときは、メモリーカードが入っていません。メモリーカードを入れてください。



### 1枚のメモリーカードで撮影できる枚数

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。当社試験基準メモリーカード使用時の枚数です。


撮影状況および使用するメモリーカードによって記録可能枚数は異なります。

[ JPEG画像サイズ] : [L: 15M]

[ 横縦比] が [3:2] のとき\*1

 JPEG画質/  ファイル形式	8GB	32GB	128GB
スタンダード	1450枚	5900枚	23500枚
ファイン	870枚	3500枚	14000枚
エクストラファイン	650枚	2650枚	10500枚
RAW+JPEG*2	300枚	1200枚	4850枚
RAW	460枚	1850枚	7400枚

\*1 [ 横縦比] を [3:2] 以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます（RAW設定時は除く）。



\*2 [RAW+JPEG] 時の [ JPEG画質] : [ファイン]

### ご注意

- 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときでも、「9999」と表示されます。
- 記載の枚数は、当社製メモリーカード使用時の枚数です。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 動画の記録可能時間

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる、動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。記録時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。[  記録方式 ] が [XAVC S 4K] と [XAVC S HD] の数値は、[  プロキシ記録 ] を [切] にして使用したときの数値です。

	8GB	32GB	64GB	128GB
XAVC S 4K 30p 100M	9分	35分	1時間15分	2時間35分
XAVC S 4K 30p 60M	10分	1時間	2時間5分	4時間15分
XAVC S 4K 24p 100M	9分	35分	1時間15分	2時間35分
XAVC S 4K 24p 60M	10分	1時間	2時間5分	4時間15分
XAVC S HD 120p 100M	9分	35分	1時間15分	2時間35分
XAVC S HD 120p 60M	10分	1時間	2時間5分	4時間15分
XAVC S HD 60p 50M	15分	1時間15分	2時間35分	5時間10分
XAVC S HD 60p 25M	30分	2時間25分	5時間	10時間5分
XAVC S HD 30p 50M	15分	1時間15分	2時間35分	5時間10分
XAVC S HD 30p 16M	50分	3時間50分	7時間45分	15時間40分
XAVC S HD 24p 50M	15分	1時間15分	2時間35分	5時間10分
AVCHD 60i 24M(FX)	40分	2時間55分	6時間	12時間5分
AVCHD 60i 17M(FH)	55分	4時間5分	8時間15分	16時間35分

### ご注意

- 動画の連続撮影可能時間は、最大約13時間です。
- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR (Variable Bit-Rate) 方式を採用しているため記録時間が変動します。動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。
- 記載の時間は、当社製メモリーカード使用時の時間です。

### 動画の連続撮影についてのご注意

- 高精細な動画や高速で連写を行うには多くの電力を必要とします。そのため連続して撮影し続けることでカメラ内部、特にイメージセンサーの温度が上昇します。その際、カメラ表面が高温になったり、画質への影響やカメラ内部に対する負荷が生じたりするため、自動的に電源が切れる仕様となっています。
- しばらく電源を切った状態から撮影を開始した場合、下記の連続動画撮影が可能です（記録開始から停止するまでの時間です）。

XAVC S HD (60p 50M) 時  
[自動電源OFF温度] : [標準]

環境温度	[スマートフォン操作] : [切]	[スマートフォン操作] : [入]
------	-------------------	-------------------

環境温度	【スマートフォン操作】：【切】	【スマートフォン操作】：【入】
20℃	約45分	約30分
30℃	約25分	約15分
40℃	約20分	約15分

XAVC S HD (60p 50M) 時  
 [自動電源OFF温度]：[高]



環境温度	【スマートフォン操作】：【切】	【スマートフォン操作】：【入】
20℃	約60分	約50分
30℃	約60分	約50分
40℃	約30分	約20分

XAVC S 4K (30p 60M) 時  
 [自動電源OFF温度]：[標準]

環境温度	【スマートフォン操作】：【切】
20℃	約25分
30℃	約15分
40℃	約10分

XAVC S 4K (30p 60M) 時  
 [自動電源OFF温度]：[高]

環境温度	【スマートフォン操作】：【切】
20℃	約45分
30℃	約35分
40℃	約15分

- 連続動画撮影時間は温度環境や動画の記録方式・記録設定、Wi-Fiの接続環境、動画撮影前の使用状況により変動します。カメラの電源を入れ、構図確認や静止画撮影を繰り返し使用していた場合には、カメラ内部の温度が上昇しますので、上記の動画撮影時間より短くなります。
-  が表示された場合は、本機の温度が上がっています。
- 温度の上昇により動画撮影が停止した場合、電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度が下がってから撮影を再開してください。
- 以下の点に気を付けると、より長く動画を撮影することができます。
  - できるだけ直射日光を避ける
  - 使用しないときはこまめに電源を切る
-  記録方式が【AVCHD】の場合は、1つの動画ファイルは約2GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約2GBになると、自動的に新しいファイルが作成されます。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 海外でACアダプター/バッテリーチャージャーを使う

バッテリーチャージャー（別売）やACアダプター（付属）は全世界（AC100V～240V・50Hz/60Hz）で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

- 主に北米のコンセント形状例：

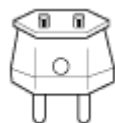


変換プラグアダプターは不要です。

- 主にヨーロッパのコンセント形状例：



変換プラグアダプターが必要です。



### ご注意

- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## AVCHD規格について

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、HD（ハイビジョン）信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラ用に開発された規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、または、リニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがありますが故障ではありません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## ライセンスについて

### ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」 - 「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

### GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）または、GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードするには、以下のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 主な仕様

---

### 本体

#### 【形式】

**カメラタイプ**  
デジタルスチルカメラ

#### 【撮像部】

**撮像素子**  
1.0型(13.2mm × 8.8mm) Exmor RS CMOSセンサー

**カメラ有効画素数**  
約1530万画素

**総画素数**  
約2100万画素

#### 【レンズ】

**ZEISSテッサーT\***  
f=7.7 mm (画角84° (35 mm判相当24 mm) )、F4.0

#### 【手ブレ補正】

**形式**  
電子式

#### 【オートフォーカス】

**検出方式**  
コントラスト検出方式

#### 【モニター】

**液晶モニター**  
3.8 cm (1.5型)

**ドット数**  
230 400ドット

#### 【記録方式】

**静止画記録方式**  
JPEG (DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.31、MPF Baseline) 準拠、RAW (ソニーARW 2.3フォーマット)

**動画記録方式 (XAVC S方式)**  
MPEG-4 AVC/H.264 XAVC S ver.1.0規格準拠

映像 : MPEG-4 AVC/H.264  
音声 : LPCM 2ch (48kHz 16bit)

**動画記録方式 (AVCHD方式)**  
AVCHD規格 Ver2.0準拠

映像 : MPEG-4 AVC/H.264  
音声 : Dolby Digital 2ch ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

## 【記録メディア】

メモリースティック マイクロ、microSD カード

## 【入/出力端子】

### マルチ/マイクロUSB端子\*

USB通信 Hi-Speed USB (USB 2.0)

\* この端子にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

### HDMI端子

HDMIタイプD マイクロ端子

## 【電源・その他】

Model No. WW151602

### 定格

3.7 V 、1.3 W

### 動作温度

0~40℃

### 保存温度

-20~55℃

### 外形寸法（幅×高さ×奥行き）（約）

59.0×40.5×35.0 mm

### 質量

約132 g（バッテリー、microSDカードを含む）

## 【ワイヤレスLAN】

### 対応規格

IEEE 802.11 b/g/n

### 使用周波数帯

2.4 GHz帯

### セキュリティ

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

### 接続方式

Wi-Fi Protected Setup™（WPS）/マニュアル

### アクセス方式

インフラストラクチャーモード

## 【Bluetooth通信】

Bluetooth標準規格Ver. 4.1

### 使用周波数帯

2.4 GHz帯

## ACアダプターAC-UUD12

### 定格入力

100-240 V 、50/60 Hz、0.2 A

### 定格出力

5 V 、1.5 A

## リチャージャブルバッテリーパック NP-BJ1

### 定格

3.7 V 





本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

4-748-164-01(1) Copyright 2019 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 商標について

- メモリースティックおよび  はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- XAVC Sおよび  はソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Android、Google PlayはGoogle LLCの登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 困ったときにすること

困ったときは、下記の流れに従ってください。

① モニターに「C/E : □□ : □□」のような表示が出たときは、「自己診断表示」の項目をチェックする。

② バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

③ 設定リセットをする。

④ サイバーショットの最新サポート情報を確認する。

(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)

<https://www.sony.jp/support/cyber-shot/>

### メモリーカード対応表

使用可能なメモリーカードを確認できます。

また、その他のメモリーカードに関する情報も確認できます。

#### “メモリースティック”対応表

<https://www.sony.jp/rec-media/memorystick/compatibility/>

#### SDカード対応表

<https://www.sony.jp/rec-media/sd/compatibility/>

#### ソフトウェアのサポート情報

<https://www.sony.jp/support/r/disoft/>

⑤ 相談窓口にお問い合わせる。

- 指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。WEBサイトをご覧ください。

[https://www.sony.jp/support/r/cyber-shot/repair\\_service/](https://www.sony.jp/support/r/cyber-shot/repair_service/)

### 関連項目

- [自己診断表示](#)
- [設定リセット](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 自己診断表示

モニターにアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。

下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があるので相談窓口にご相談ください。

### C:32:□□

- ハードウェアの異常です。電源を入れ直してください。

### C:13:□□

- データが読めない/書けない状態です。電源を入れ直すかメモリーカードを数回抜き差ししてください。
- フォーマットしていないメモリーカードが入っています。フォーマットしてください。
- 本機では使えないメモリーカードが入っています。またはデータが壊れています。メモリーカードを交換してください。

### E:61:□□

### E:62:□□

### E:91:□□

- 何らかの異常が起きています。設定リセットしてから、電源を入れてください。

### E:94:□□

- データの書き込み、消去動作不良です。修理が必要です。相談窓口にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

## 関連項目

- [フォーマット](#)
- [設定リセット](#)

デジタルスチルカメラ  
DSC-RX0M2

## 警告表示

### エリア/日付/時刻を設定してください

- エリアと日付、時刻を設定してください。長時間使用していない場合は内蔵の充電式バックアップ電池を充電してください。

### このメモリーカードは使えません フォーマットしますか？

- パソコンでフォーマットを行ったため、ファイルシステムが変更されています。[実行]を選んでフォーマットを行ってください。本機で使用できるようになりますが、カード内のデータはすべて削除されます。また、フォーマットに多少時間がかかることがあります。それでもメッセージが出る場合は、カードを交換してください。

### メモリーカードエラー

- 本機では使えないカードが入っています。
- フォーマットに失敗しています。再度フォーマットを実行してください。

### メモリーカードが正しく読めません メモリーカードを入れ直してください

- 本機では使えないメモリーカードが入っています。
- メモリーカードが壊れています。
- メモリーカード端子が汚れています。
- メモリーカードが正しい向きで挿入されていません。メモリーカードの向きを確認してください。

### メモリーカードが入っていないので シャッターが切れません

- メモリーカードが入っていません。
- 本機にメモリーカードを入れずにシャッターを切る場合は、[メモリーカードなしリリース]を[許可]にしてください。その際、画像は保存されません。

### このメモリーカードは 正常に記録・再生できない可能性があります

- 本機では使えないメモリーカードが入っています。

### ノイズリダクション実行中

- ノイズリダクションが機能した場合、ノイズ軽減処理を行います。この間は次の撮影はできません。

### 表示できない画像です

- 他のカメラで撮影した画像や、パソコンで画像を加工した場合は表示できないことがあります。
- パソコンで画像の削除などを行うと、管理ファイルに不整合が発生する場合があります。管理ファイルの修復を行ってください。

### DPOF指定できません

- RAW画像をDPOF指定しようとしています。

### しばらく使用できません カメラの温度が下がるまで お待ちください

- 連続撮影したため、本機の温度が上がっています。本機の電源を切って、本機の温度が下がり再び撮影可能になるのを待ってから撮影してください。



- 長時間撮影したため、本機の温度が上がっています。



- 本機で日付を管理できる枚数を超えています。



- 本機の管理ファイルへの記録ができません。PlayMemories Homeで、すべての画像をパソコンに取り込み、メモリーカードを修復してください。

### 管理ファイルエラー

- 管理ファイルに何らかの異常が発生しています。[セットアップ] から [管理ファイル修復] を行ってください。

### システムエラー

#### カメラエラー 電源を入れなおしてください

- バッテリーを一度取り出し、入れ直してください。何度も繰り返す場合は相談窓口にお問い合わせください。

#### 管理ファイルに不整合が見つかりました 修復しますか？

- 管理ファイルが破損しているため、AVCHD動画の撮影、再生ができません。画面の指示に従い修復してください。

### 拡大できません

#### 回転できない画像です

- 他のカメラで撮影した画像は、拡大/回転できないことがあります。

### これ以上フォルダー作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダーがメモリーカード内にあります。本機でこれ以上のフォルダーを作成できません。

---

### 関連項目

- [内蔵の充電式バックアップ電池について](#)
- [メモリーカードについてのご注意](#)
- [フォーマット](#)